

人権擁護に関する市民意識調査

～報告書～

令和 8 年 3 月

近江八幡市

目 次

調査実施概要	1
回答者の属性	2
人権侵害を受けた経験や対応について	4
人権尊重と価値観・社会通念について	7
女性の人権について	15
子どもの人権について	22
高齢者の人権について	29
障がいがある人の人権について	36
部落差別（同和問題）について	43
外国人の人権について	56
性的マイノリティについて	64
インターネットにおける人権について	72
患者の人権について	79
人権問題の啓発活動について	83
自由意見の記述	88

調査実施概要

1. 調査目的

○近江八幡市人権施策に関する基本計画等策定のための基礎資料とする。

2. 調査対象

○18歳以上の近江八幡市民 3,000人

3. 調査手法

- 無作為抽出
- 郵送配布・郵送回収または電子回答
- 無記名、多肢選択式、一部記述式

4. 調査期間

○令和7年8月7日～令和7年9月12日

5. 回収状況

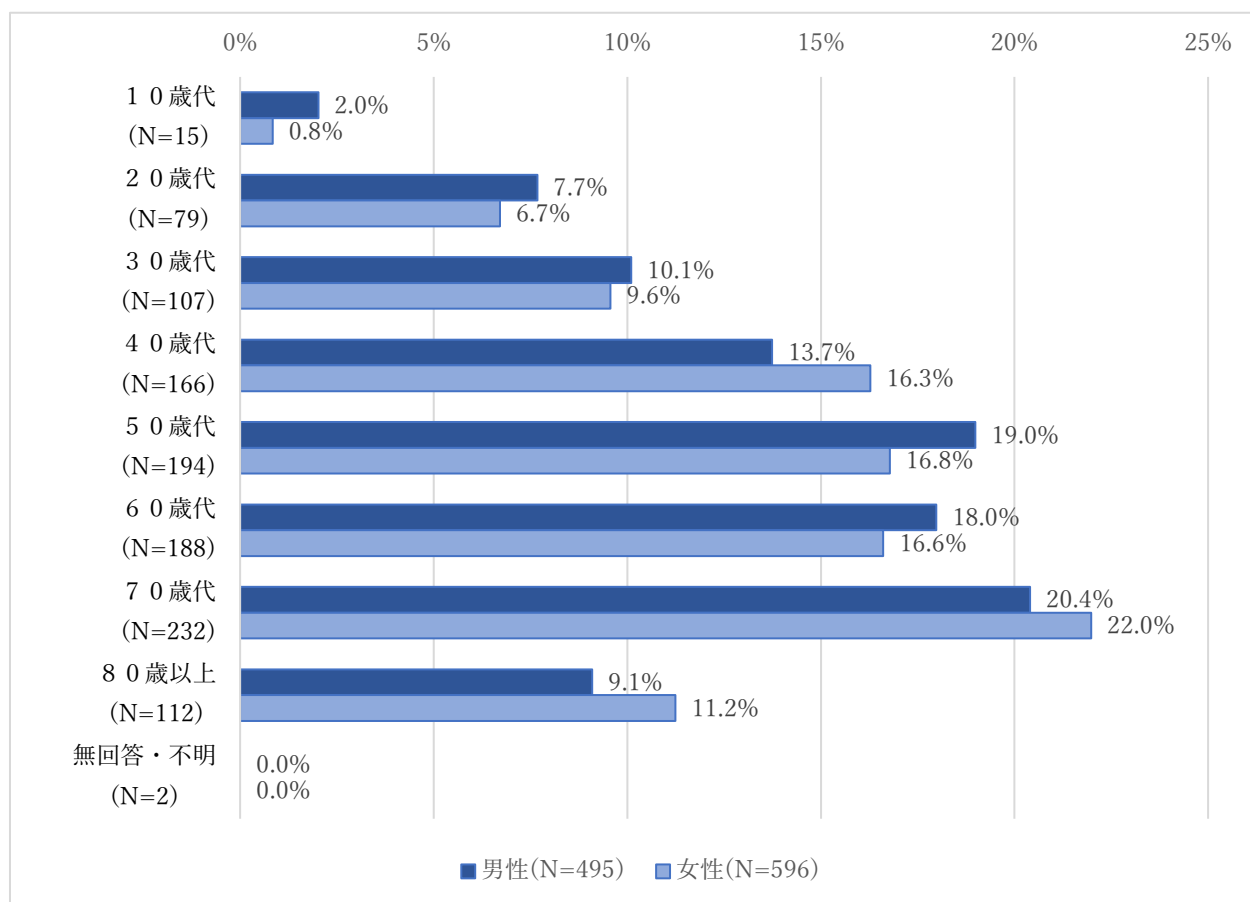
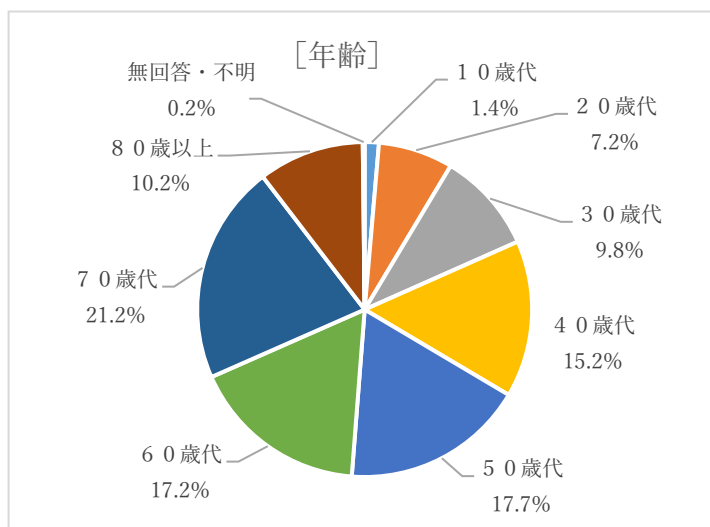
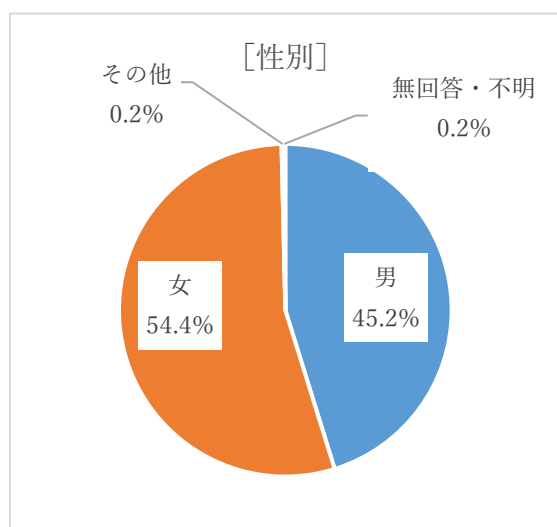
対象者数	回収数	回収率
3,000	1,095	36.5%

6. 報告書の見方

- 本報告書は、それぞれ配布した調査票の設問に沿う形で構成している。
- 回答結果は、少数第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100%にならない場合がある。このことは本報告書内の分析分、グラフ、表においても同様である。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示している。そのため、合計が100%を超える場合がある。このことは本報告書内の分析分、グラフ、表においても同様である。
- 図表中の「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- グラフ及び表のN数(number of case)は、有効標本数(集計対象者数)を表している。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合がある。
- 性別の「その他」及び「無回答・不明」はサンプル数が少ないため、性別比較の際、表示を省略する場合がある。
- 文章中、【新設】とあるものは、今回新たに設定した設問を示す。また、「前回○%」は、令和3年度の調査結果数値を示す。

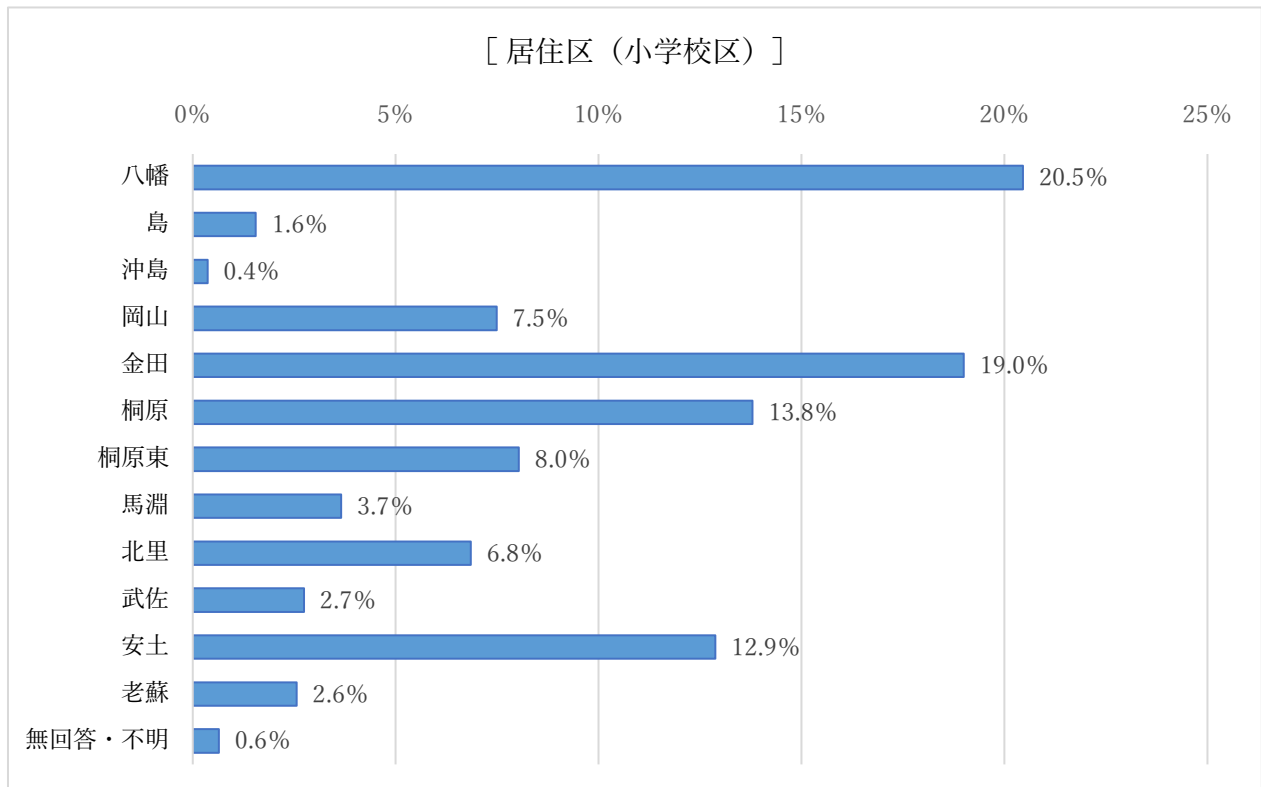
問1 性別、問2 年齢

性別では「男性」が45.2%、「女性」が54.4%となっている。また年齢では「60歳代」「70歳代」「80歳以上」を合わせると48.6%と約半数を占めており、最も回答が多かった年齢層は、男女とも「70歳代」であった。



問 3 居住地

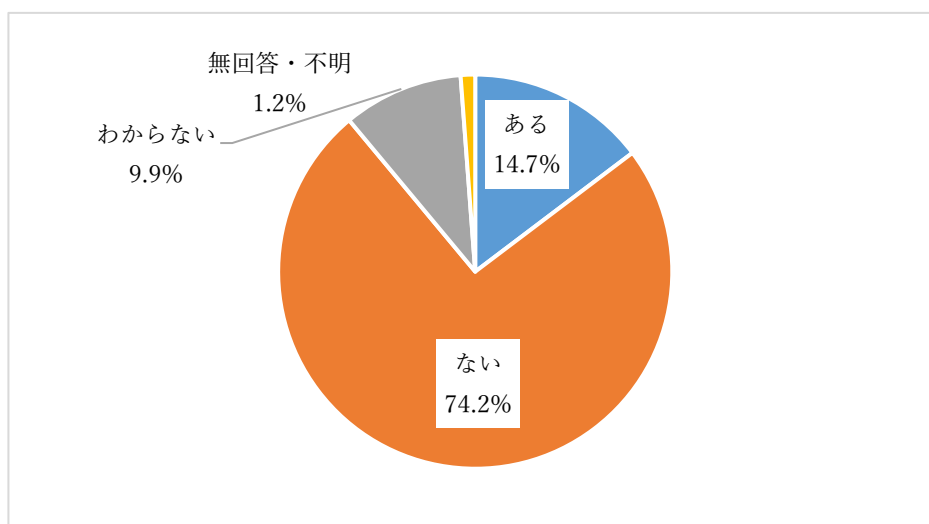
居住地（小学校区）をみると、「八幡」が 20.5%、次いで「金田」19%、「桐原」13.8%、「安土」12.9%と続いている。



人権侵害を受けた経験や対策について

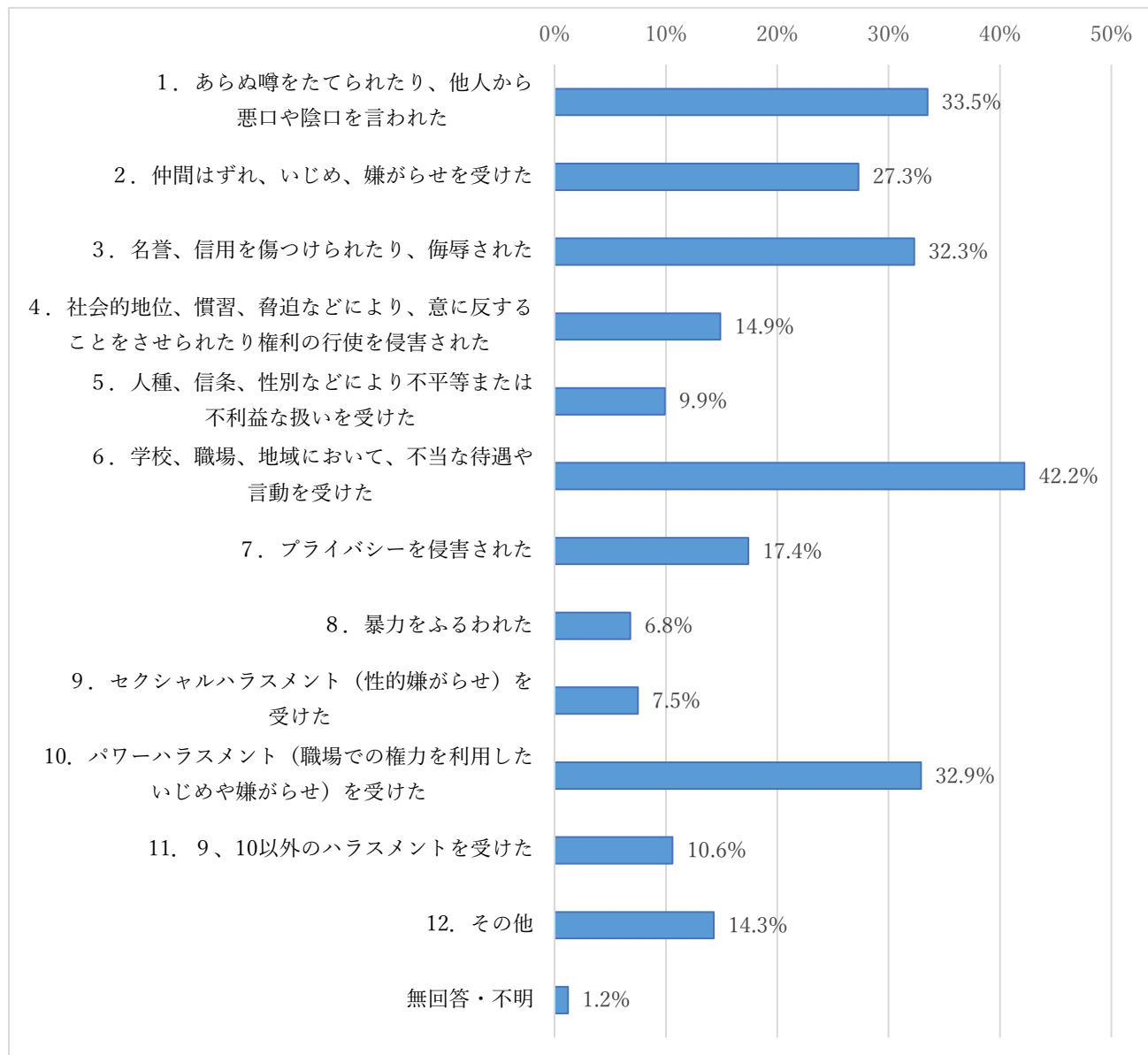
問 4 あなたは、過去5年以内に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
あてはまる番号を1つ記入してください。

「ある」と答えた人が14.7%、「ない」と答えた人が74.2%あった。



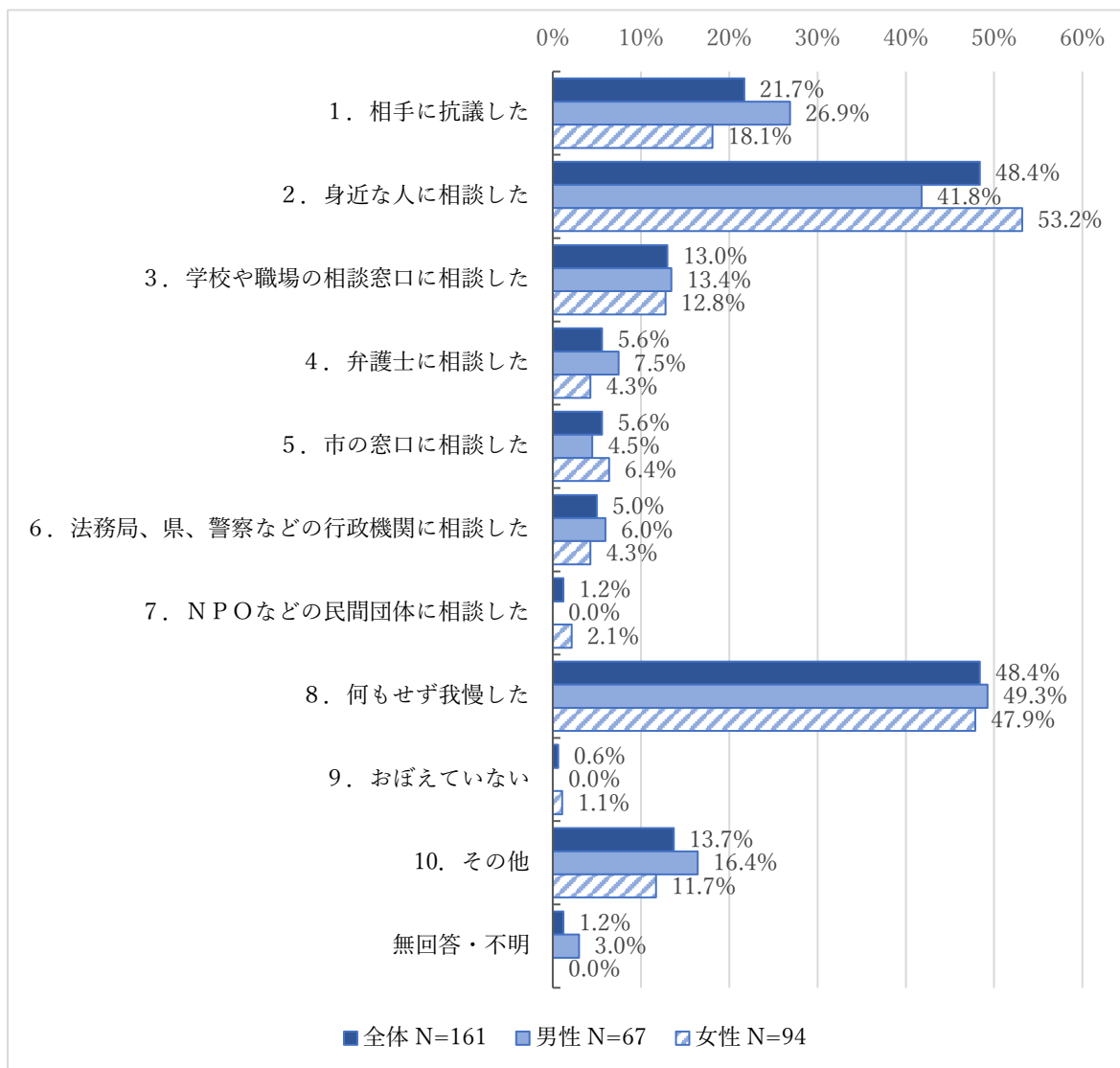
問 5 問 4 で「1.ある」を答えた方におたずねします。どのような人権侵害でしたか。
あてはまる番号すべてを記入してください。

「6. 学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が42.2%で最も高く、次いで「1. あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が33.5%、次いで「10. パワーハラスメント（職場での権力を利用したいじめや嫌がらせ）を受けた」が32.9%であった。



問 6 問 4 で「1.ある」と答えた方におたずねします。人権侵害を受けたときに、どのように対応しましたか。あてはまる番号をすべて記入してください。

対応した内容として、「2.身近な人に相談した」「7.何もせず我慢した」が同率で 48.4%と最も高く、次いで「1.相手に抗議した」が 21.7%、次いで「3.学校や職場の相談窓口相談した」が 13%であった。



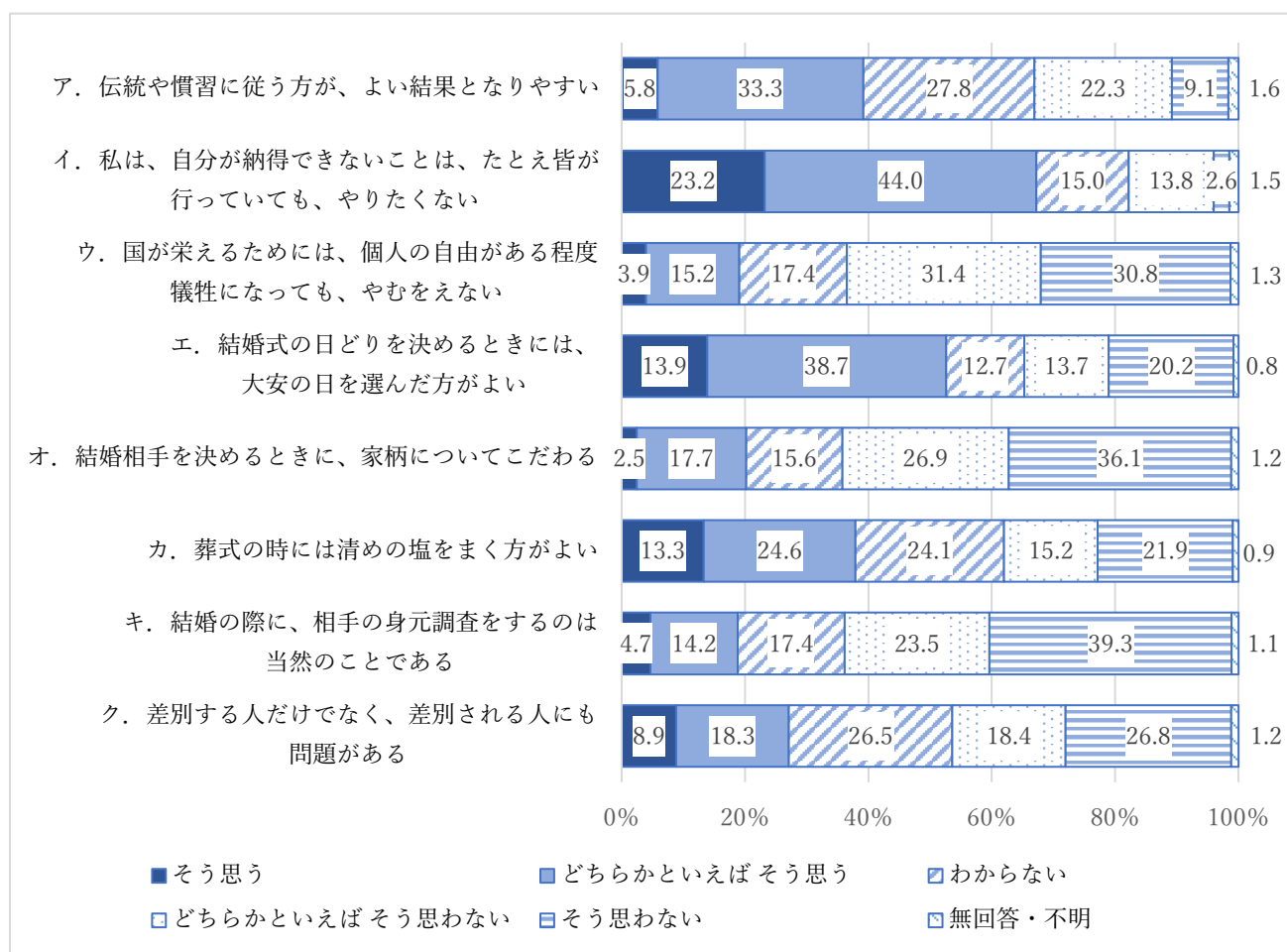
人権尊重と価値観・社会通念について

問7 次のア～クについて、あなたの考え方に最も近いものをそれぞれ選んでください。

1～5の中からそれぞれにあてはまる番号を記入してください。

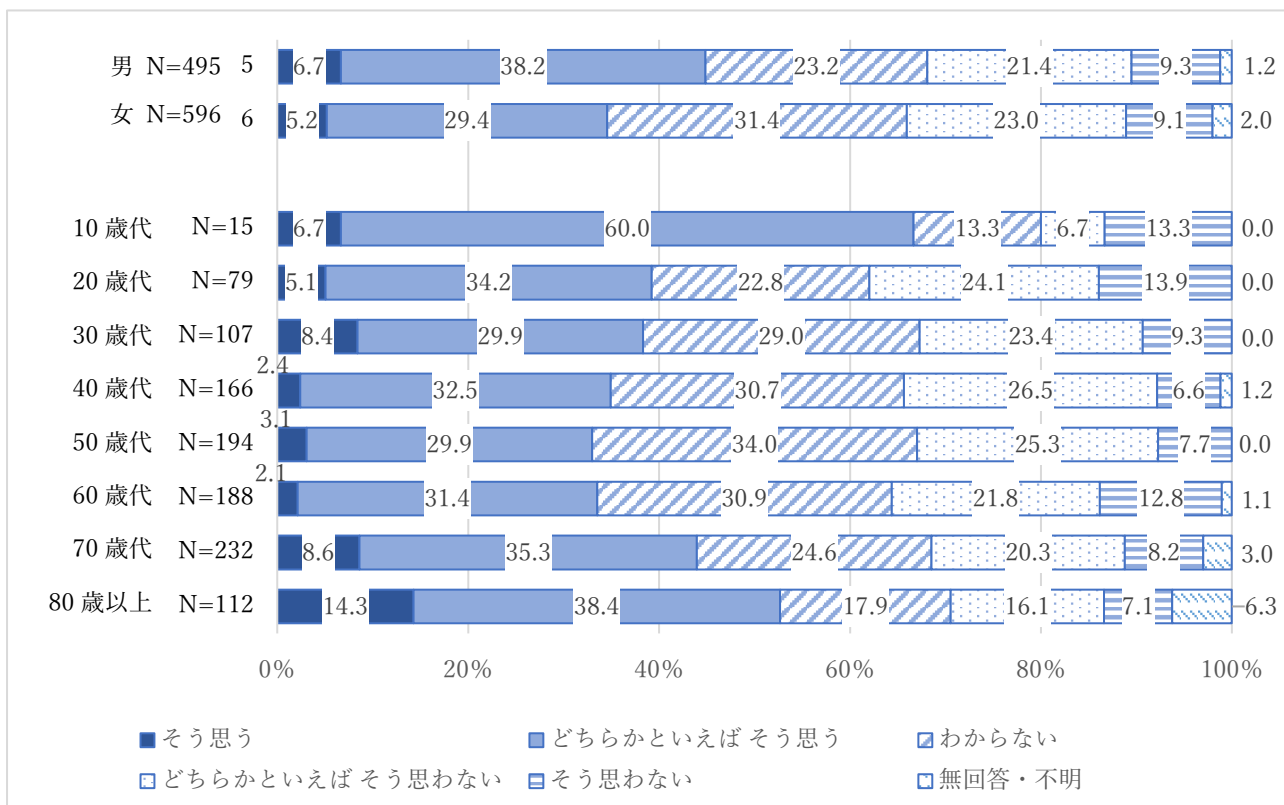
「そう思う（賛成）」の回答比率は、「イ. 私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行っていても、やりたくない」が最も高く23.2%（前回26.7%）となっており、次いで「エ. 結婚式の日どりを決めるときには、大安を選んだほうがよい」が13.9%（前回12.5%）次いで「カ. 葬式の時には清めの塩をまく方がよい」が13.3%（前回15.2%）となっている。

「そう思う（賛成）」、「どちらかといえばそう思う（どちらかといえば賛成）」の合計ポイントと「そう思わない（反対）」、「どちらかといえばそう思わない（どちらかといえば反対）」の合計ポイントで見ると、「ウ. 国が栄えるためには、個人の自由がある程度犠牲になっても、やむをえない」「オ. 結婚相手を決めるときに、家柄についてこだわる」「キ. 結婚の際に相手の身元調査をするのは当然のことである」「ク. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」は反対派が賛成派を大きく上回っている。



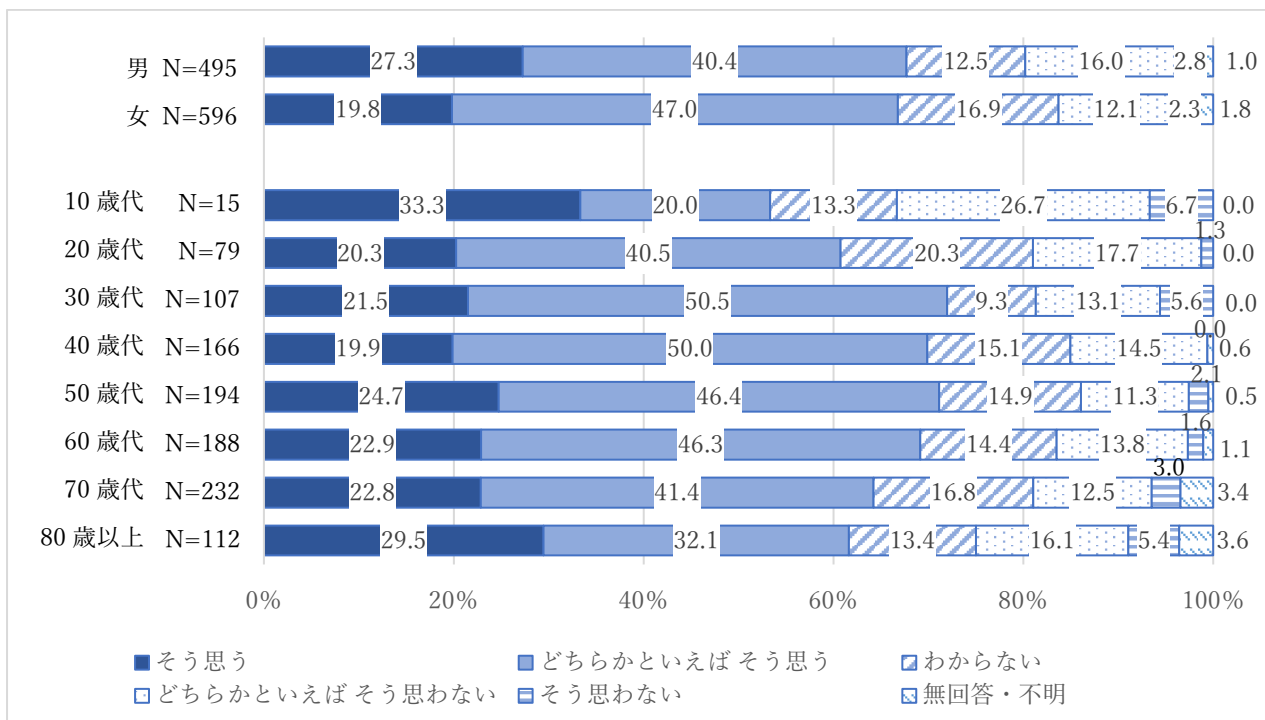
ア. 伝統や慣習に従う方が、よい結果となりやすい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 44.9% (前回 47.8%) で、女性は 34.6% (前回 38.6%) となっている。年代別では、10 歳代で 60%、80 歳以上で 50%を超えている。



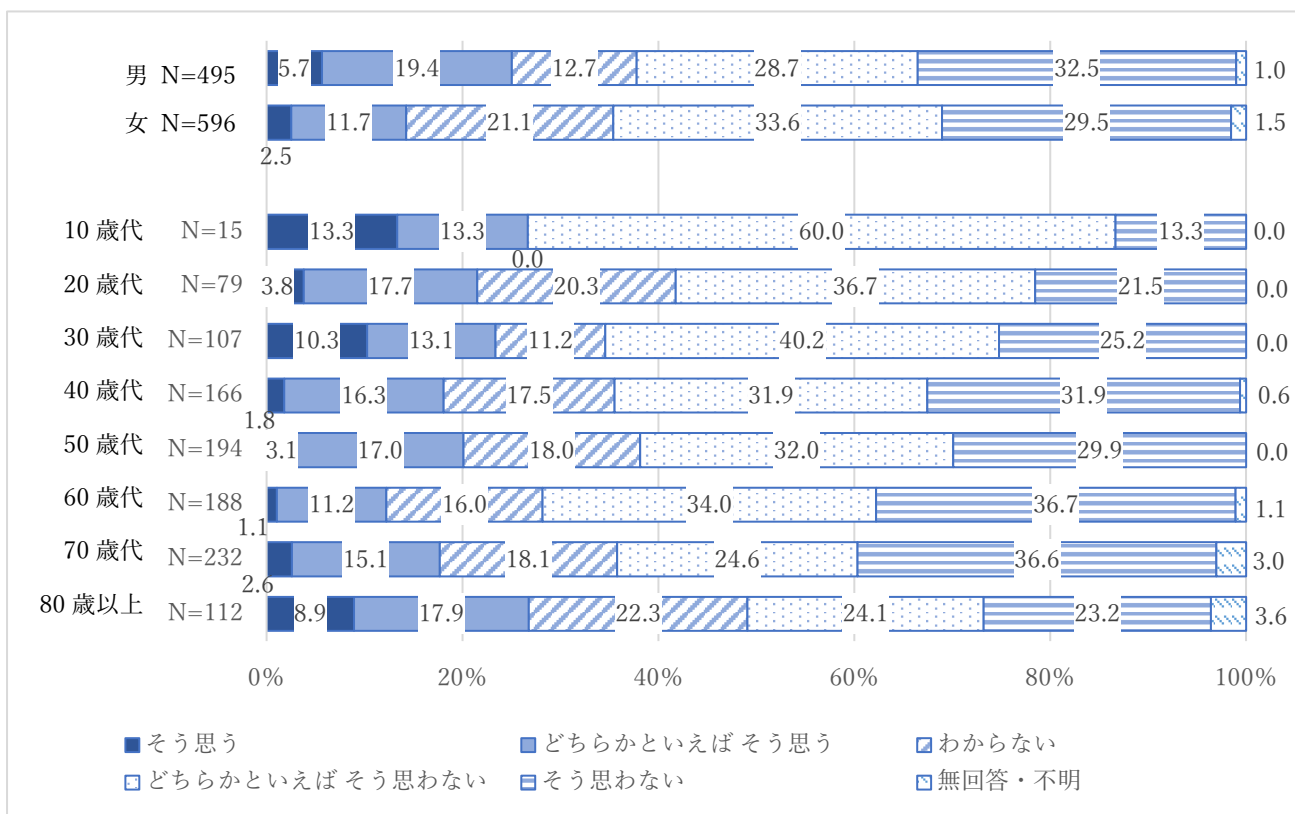
イ. 私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行っていても、やりたくない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 67.7% (前回 70.4%) で、女性は 66.8% (前回 66.4%) となっている。年代別でも、10 歳代 (53.3%) を除く年齢層で 60%を超えている。



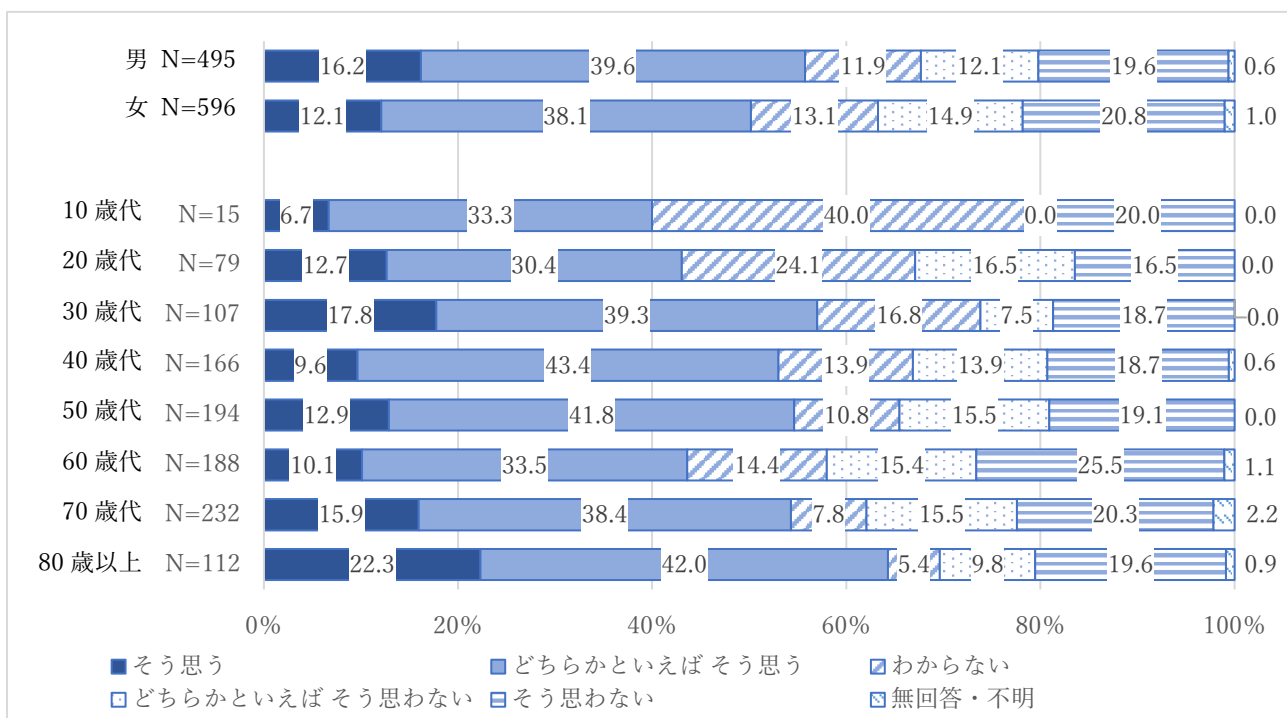
ウ。国が栄えるためには、個人の自由がある程度犠牲になっても、やむをえない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 25.1% (前回 31.5%) で、女性は 14.2% (20.1%) となっている。年代別では、10 歳代と 80 歳以上で 25% を超えている。



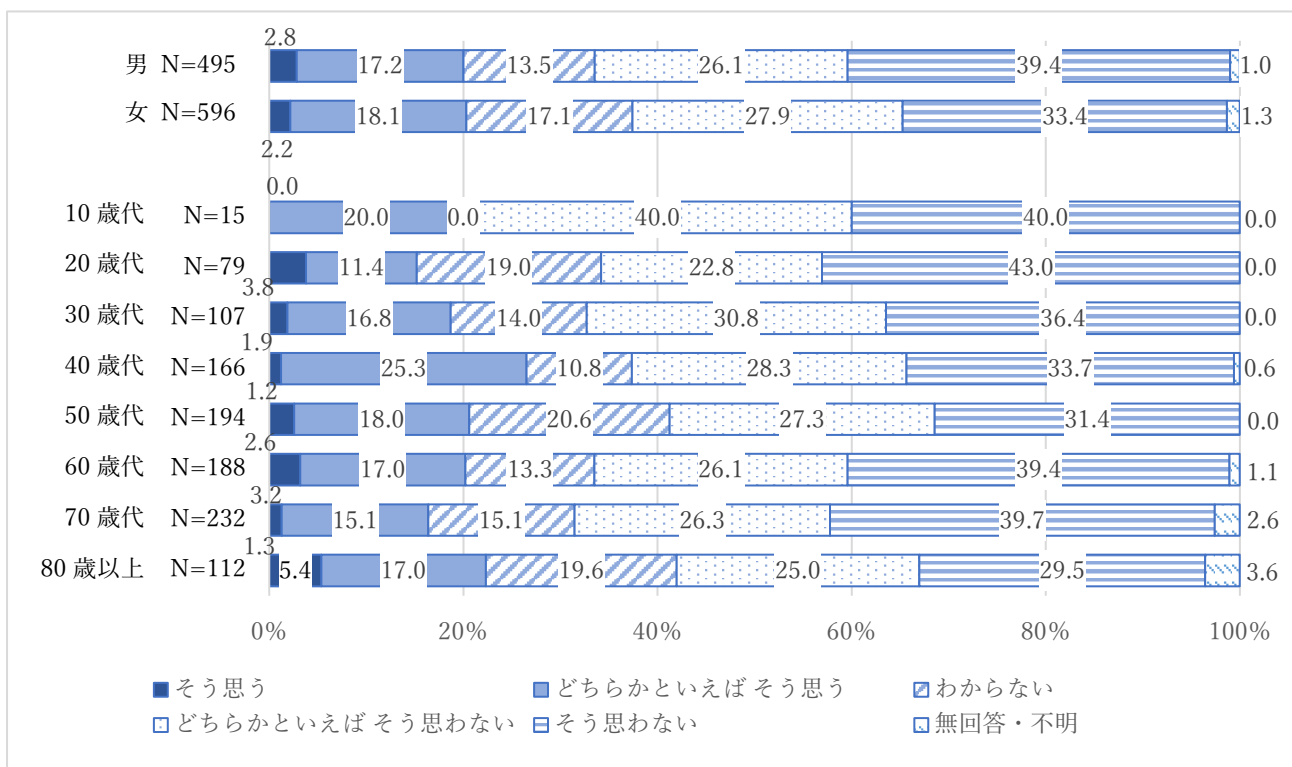
エ。結婚式の日どりを決めるときには、大安の日を選んだ方がよい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 55.8% (前回 53.2%)、女性 50.2% (前回 50.2%) となっている。年代別では、80 歳以上が最も高く (64.3%)、10 歳代が最も低く (40%) になっている。



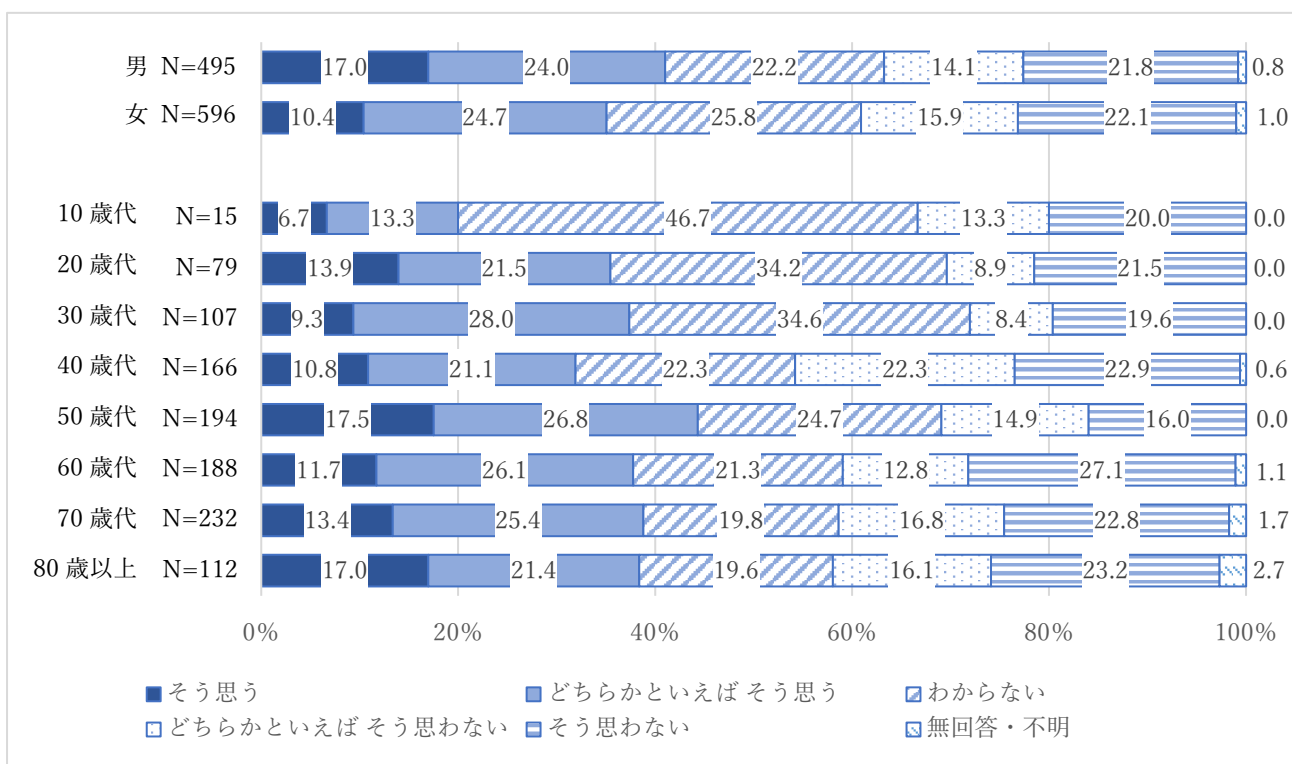
オ. 結婚相手を決めるときに、家柄についてこだわる

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 20%（前回 17.9%）、女性は 20.3%（前回 20.7%）となっている。年代別では、40 歳代が最も高く（26.5%）になっている。



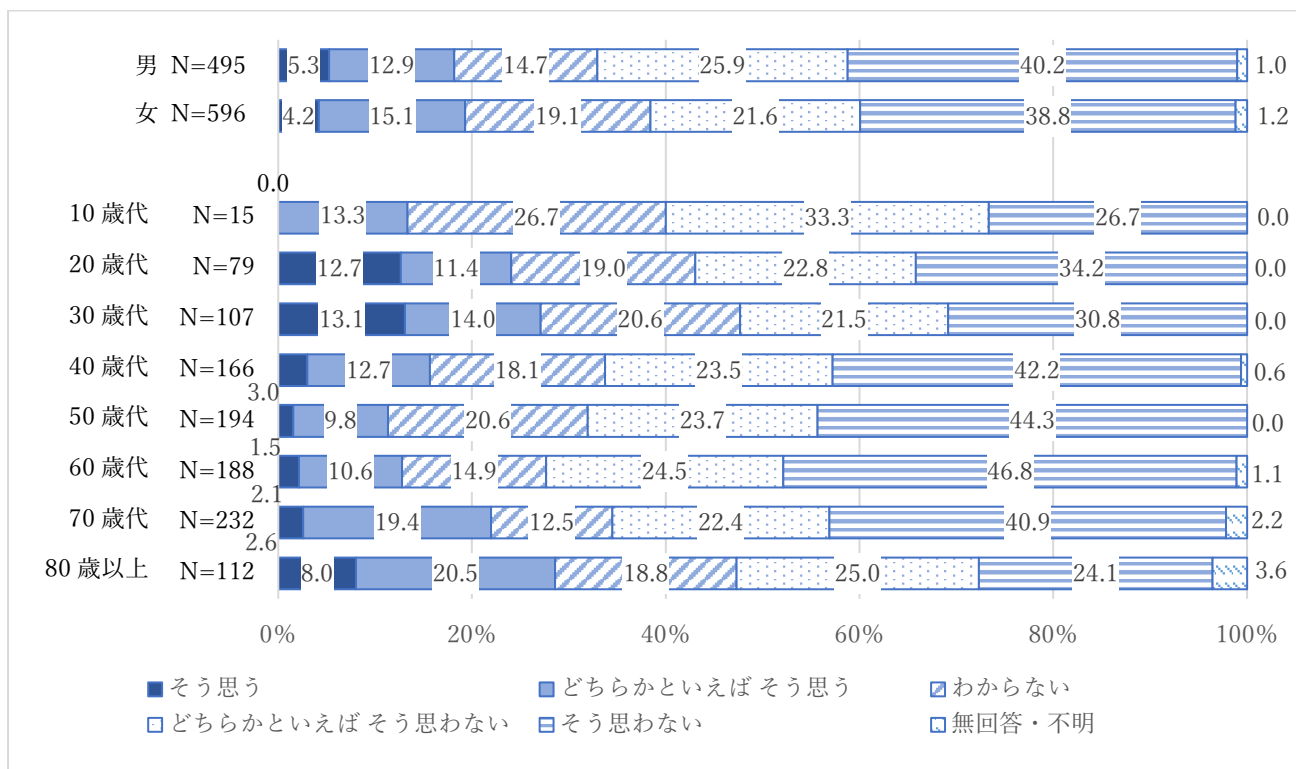
カ. 葬式の時には清めの塩をまく方がよい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 41%（前回 37.8%）、女性は 35.1%（前回 40.6%）となっている。年代別では、50 歳代が最も高く（44.3%）、10 歳代が最も低く（20%）になっている。



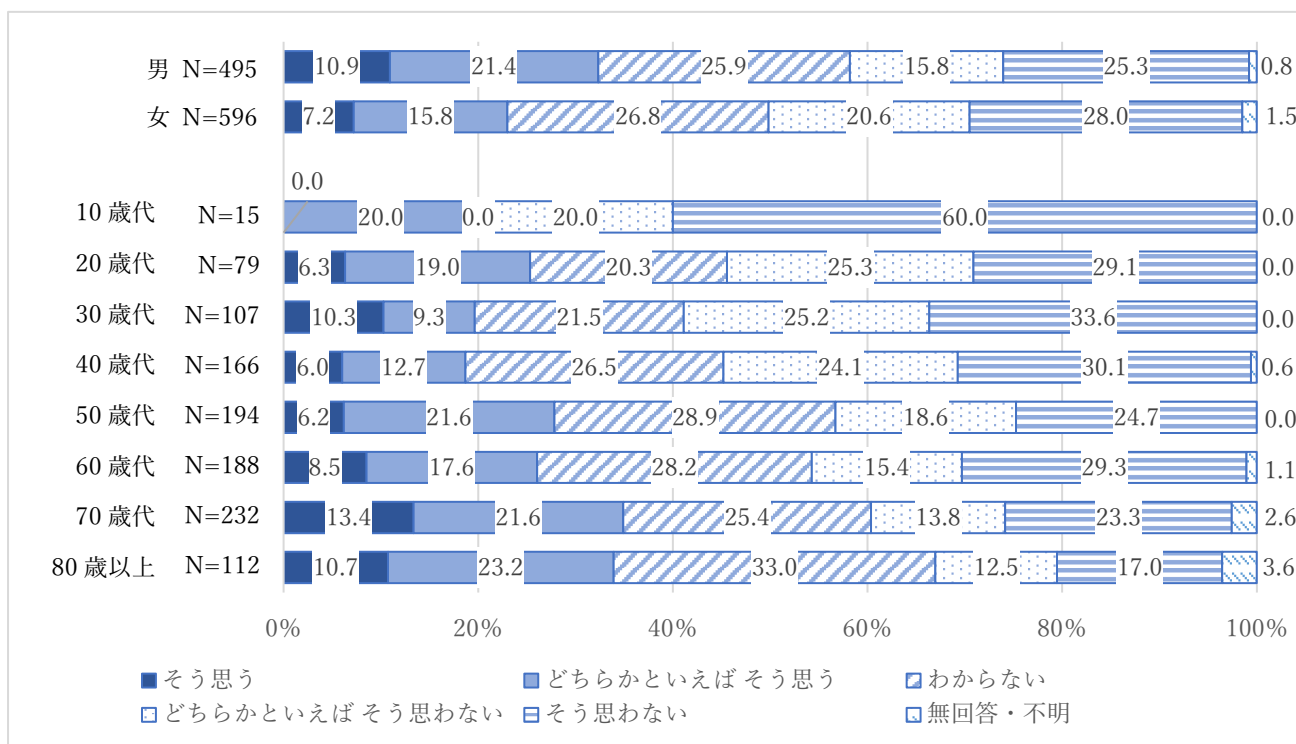
キ. 結婚の際に、相手の身元調査をするのは当然のことである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 18.2% (前回 25.3%)、女性は 19.3% (前回 19.9%) となっている。年代別では、20 歳代、30 歳代、70 歳代、80 歳以上で 20% を超えている。



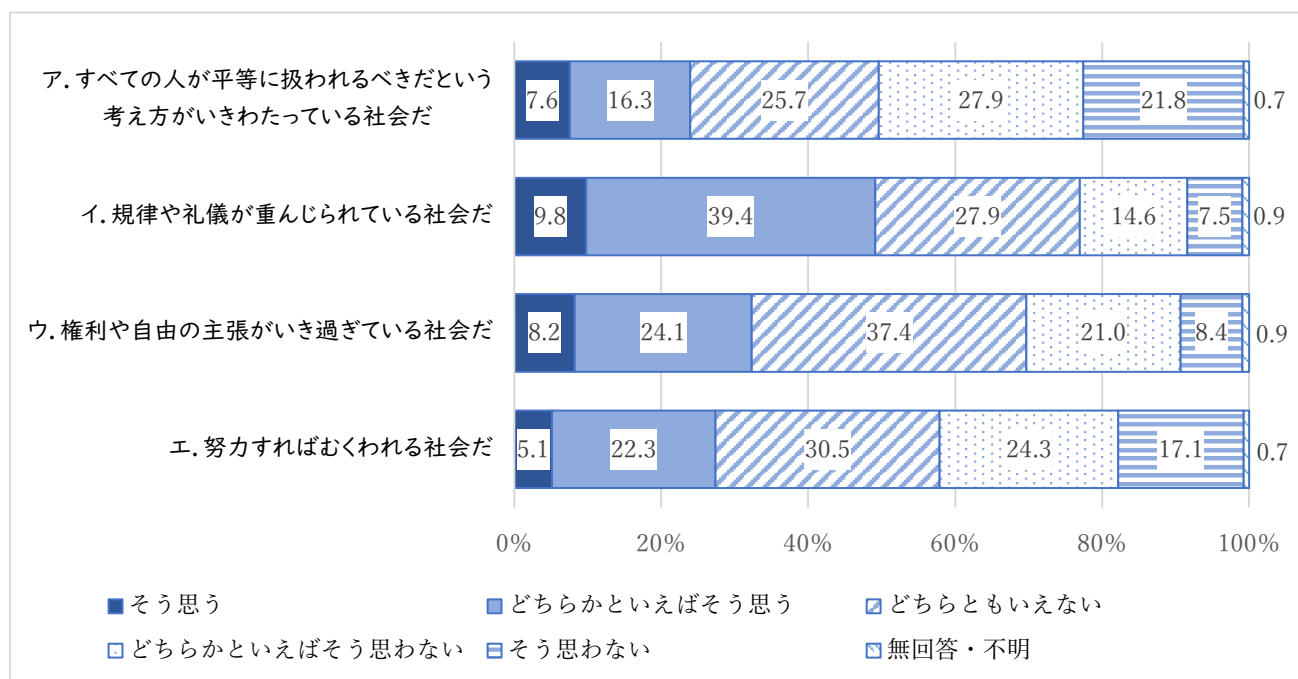
ク. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 32.3% (前回 36.5%)、女性は 23% (前回 28.8%) となっている。年代別では、50 歳代以上で 25% を超えている。



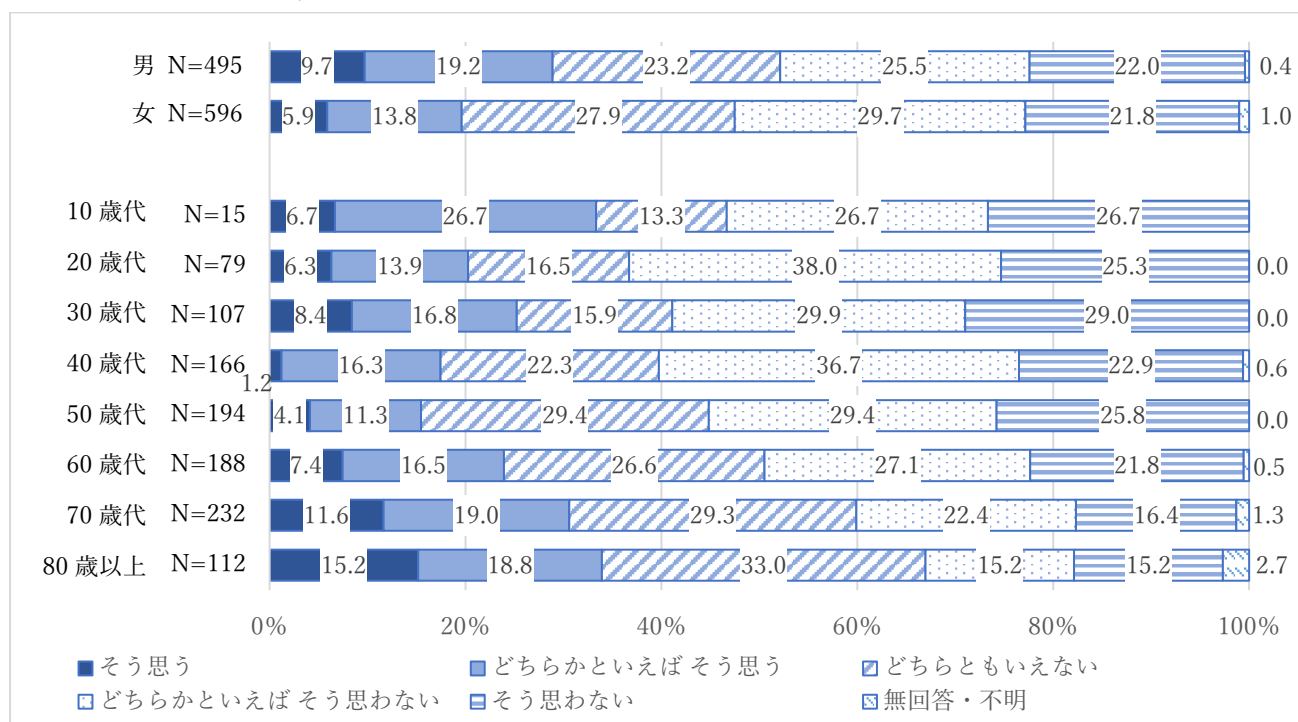
問 8 次のア～エにあげる現在の日本社会に関する考え方についてどのように思いますか。
1～5のなかから、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた比率をみると、「イ. 規律や礼儀が重んじられている社会だ」が49.2%（前回51.6%）と最も高く、次いで「ウ. 権利や自由の主張がいき過ぎている社会だ」が32.3%（前回31.3%）であった。また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた比率でみると、「ア. すべての人が平等に扱われるべきだ」という考え方がいきわたっている社会だ」が最も高く、49.7%（前回48.5%）であった。



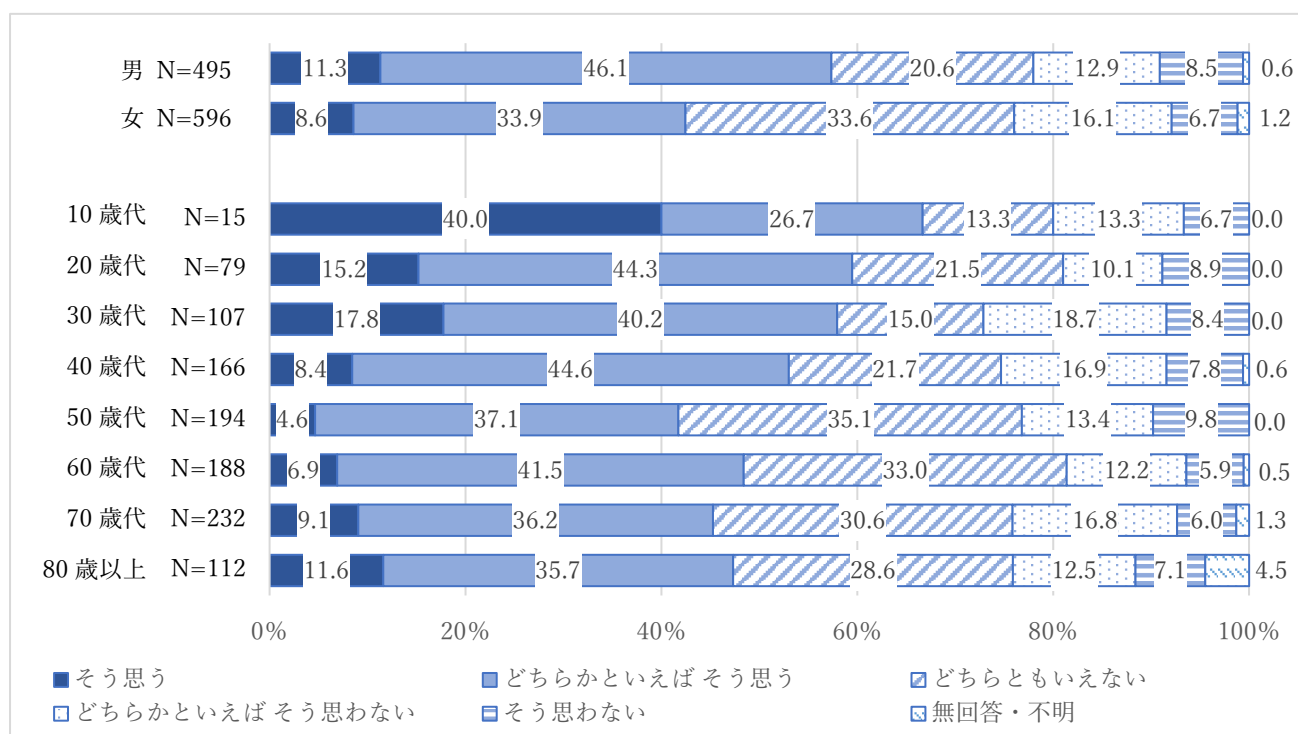
ア. すべての人が平等に扱われるべきだという考え方がいきている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 28.9% (前回 33.8%)、女性は 19.7% (前回 22.7%) となっている。年代別では、年齢層により異なるが 10 歳代と 80 歳以上が 30% を超えて高く、50 歳代が最も低く 15.4% となっている。



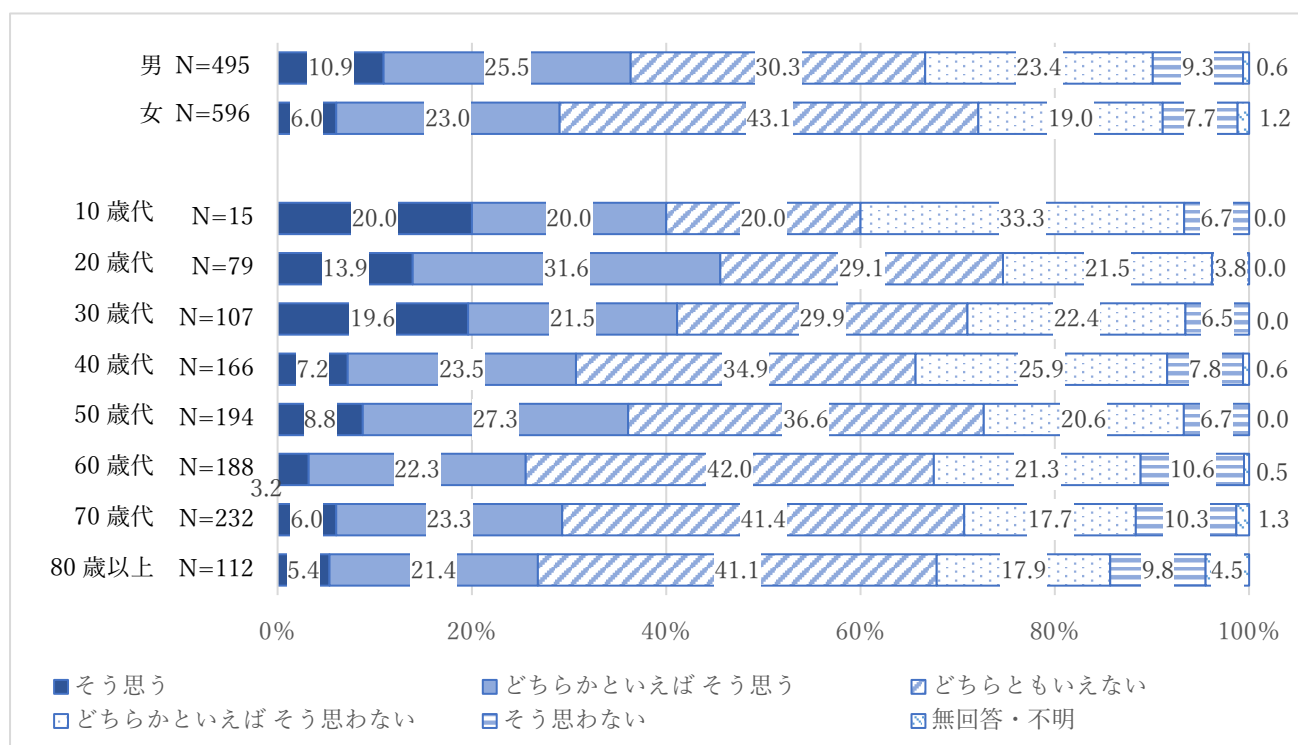
イ. 規律や礼儀が重んじられている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 57.4% (前回 54.6%)、女性は 42.5% (前回 49.8%) となっている。年代別では、10 歳代が 66.7% と最も高く、50 歳代が 41.7% と最も低くなっている。



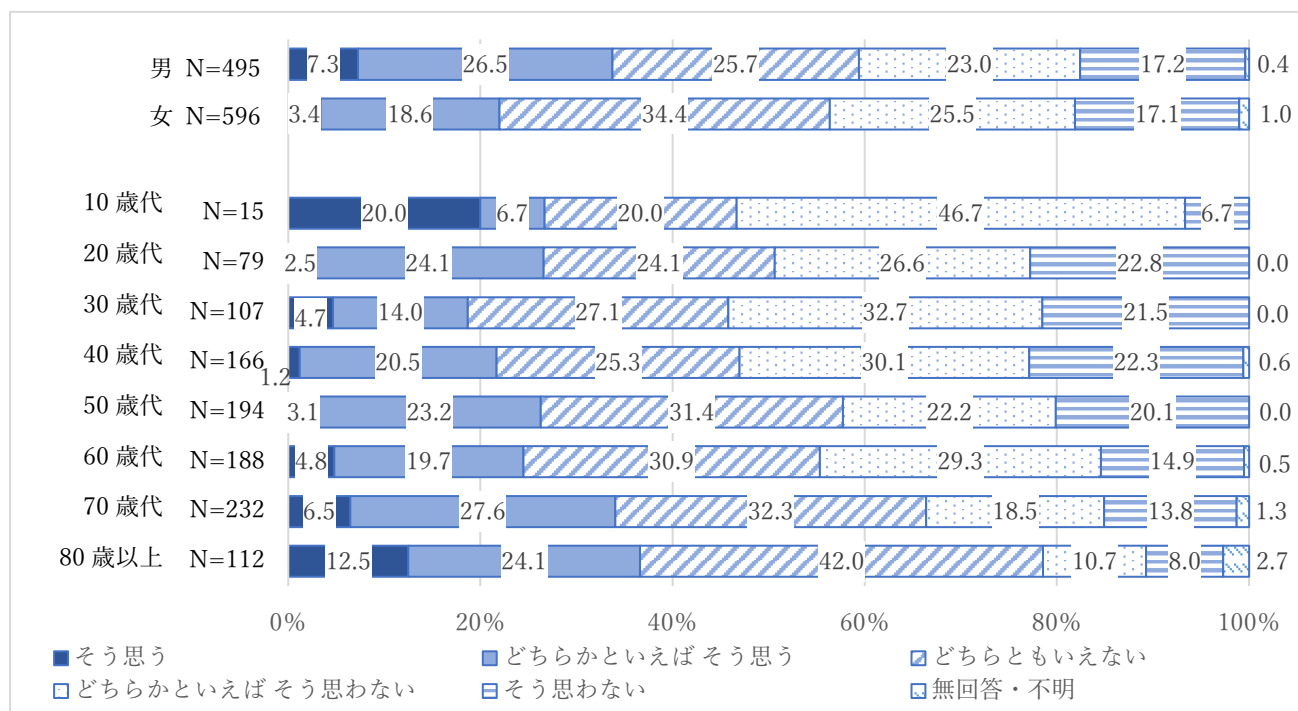
ウ. 権利や自由の主張がいき過ぎている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 36.4% (前回 39.2%)、女性は 29% (前回 25.4%) となっている。年代別では、20 歳代が最も高く 45.5%、80 歳代以上が 26.8% と最も低くなっている。



エ. 努力すればむくわれる社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 33.8% (前回 33.6%)、女性は 22% (前回 24%) となっている。年代別では、最も高いのは 80 歳以上で 36.6%、最も低いのは 30 歳代で 18.7% であった。



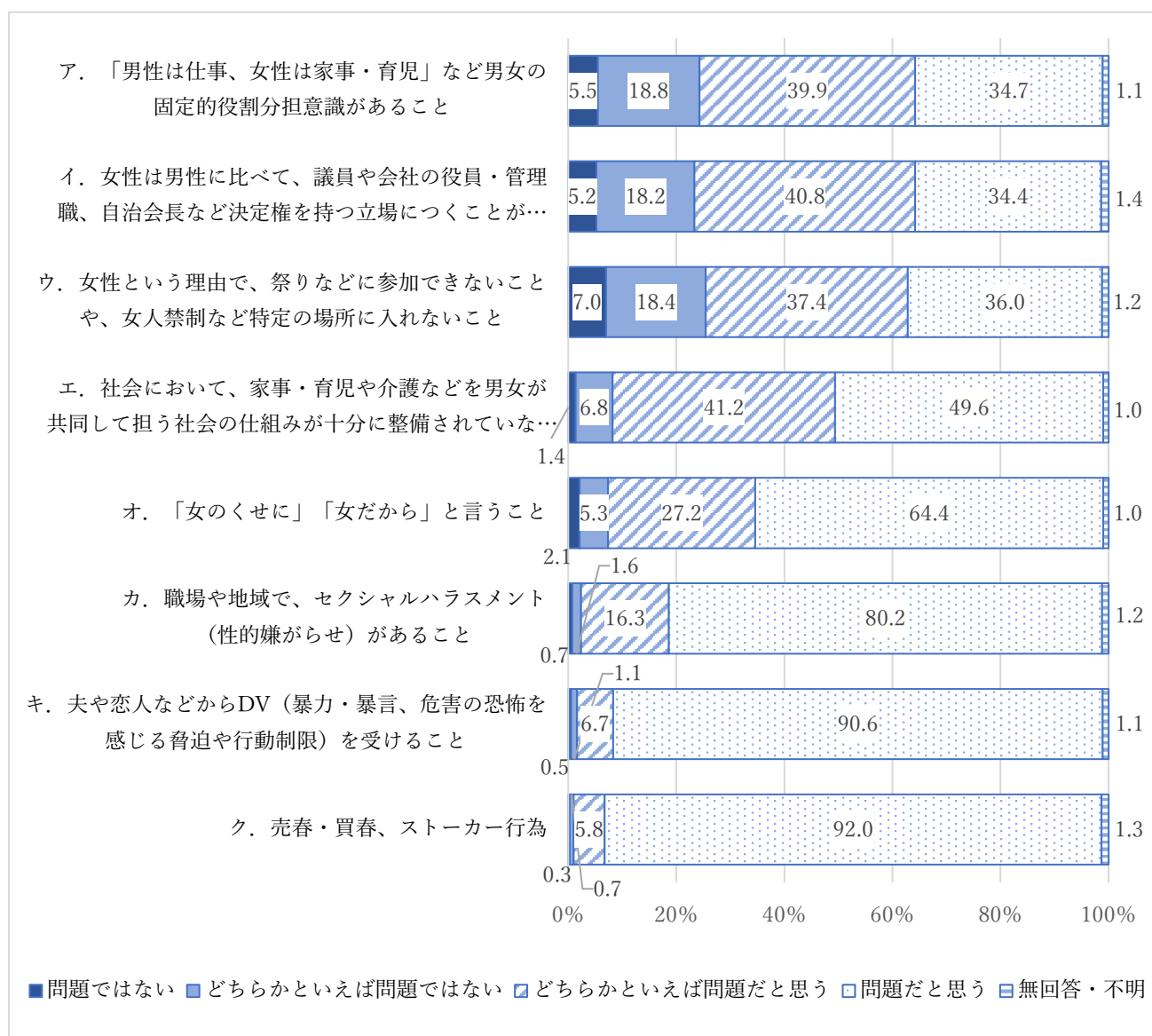
女性の人権について

問 9 次のア～クのことについてどう思いますか。

1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。【新設】

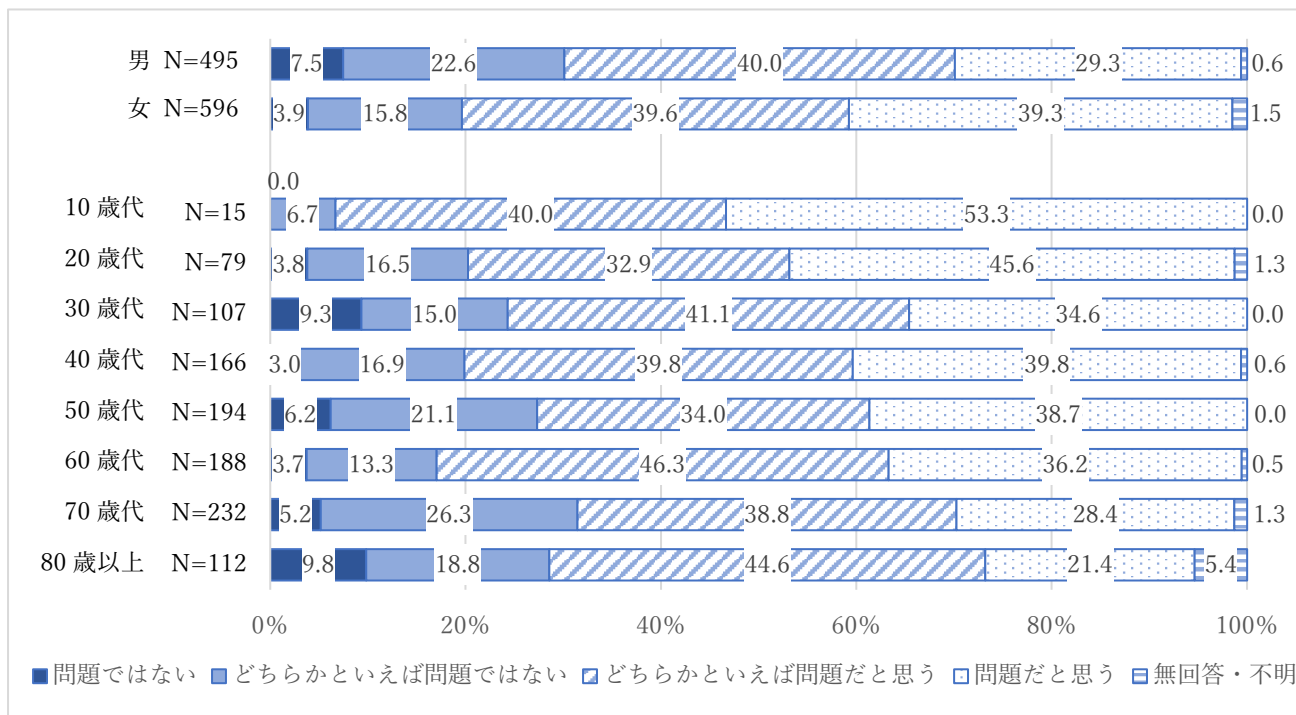
「問題である」「どちらかといえば問題である」を合わせた比率でみると、全項目で70%を超えており、「ク.売春・買春、ストーカー行為」が97.8%と最も高く、次いで「キ.夫や恋人などからDV（暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限）を受けること」が97.3%、次いで「カ.職場や地域で、セクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）があること」が96.5%となっている。

また、「問題ではない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「ウ.女性という理由で、祭りなどに参加できないことや、女人禁制など特定の場所に入れないこと」が最も高く25.4%で、「ア.「男性は仕事、女性は家事・育児」など男女の固定的役割分担意識があること」、「イ.女性に比べて、議員や会社の役員・管理職、自治会長など決定権を持つ立場につくことが少ないこと」とともに20%を超えている。



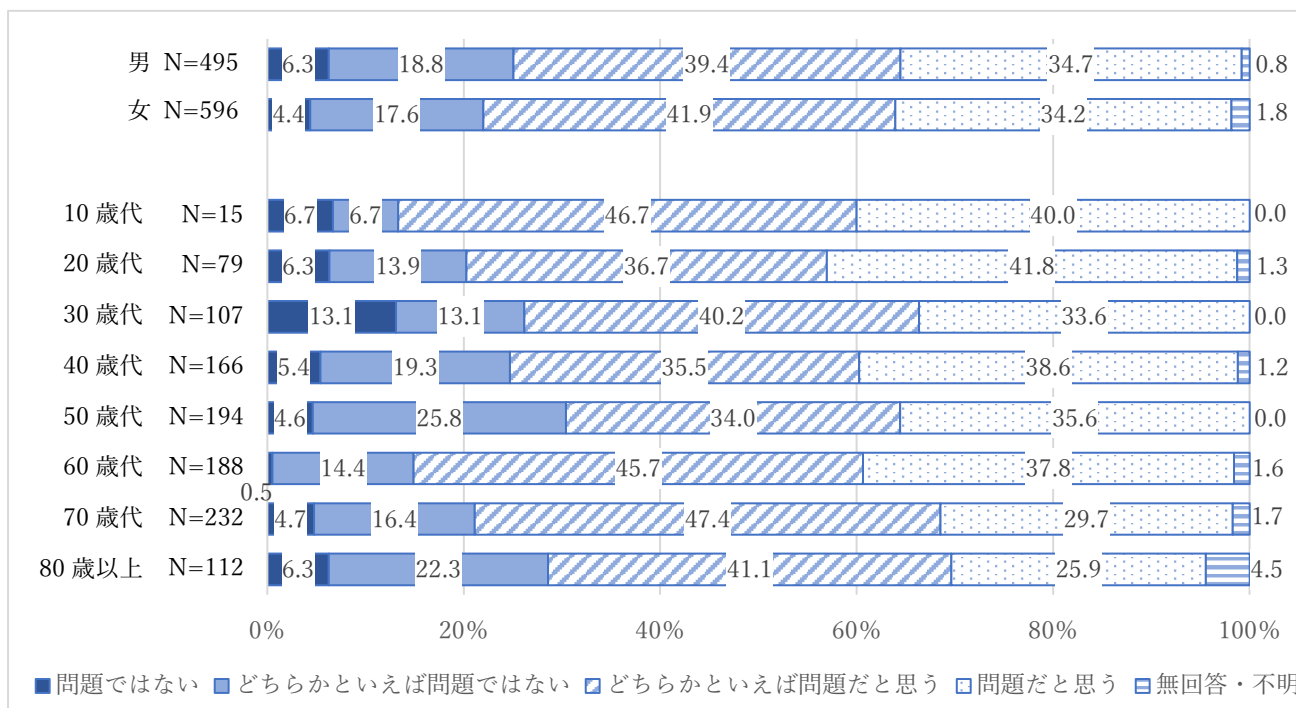
ア.「男性は仕事、女性は家事・育児」など男女の固定的役割分担意識があること

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 69.3%、女性は 78.9% であった。年代別では、10 歳代が最も高く 93.3%、次いで 60 歳代が 82.5%、40 歳代 79.6%と続き、最も低いのは 80 歳以上の 66%であった。

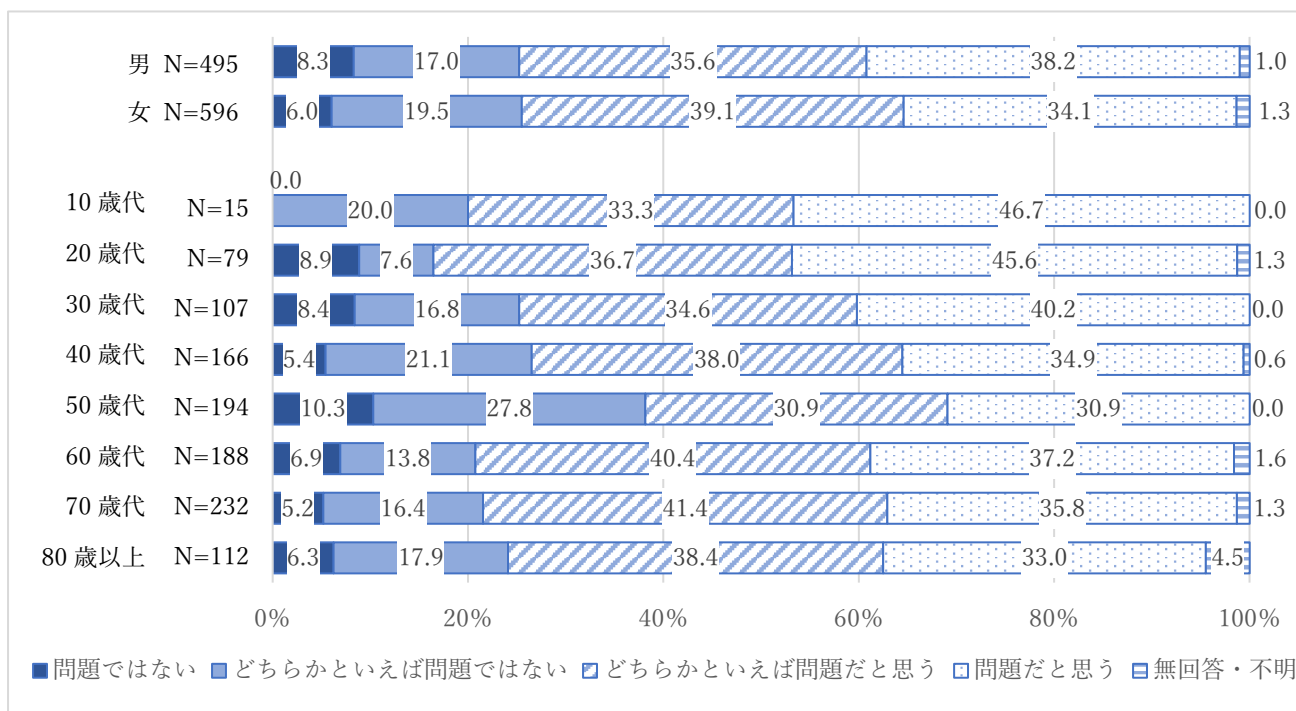


イ.女性に比べて、議員や会社の役員・管理職、自治会長など決定権を持つ立場につくことが少ないこと

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 74.1%、女性は 76.1% であった。年代別では、10 歳代、60 歳代では 80%を超え、その他の年齢層でも 70~80%前後となっている。

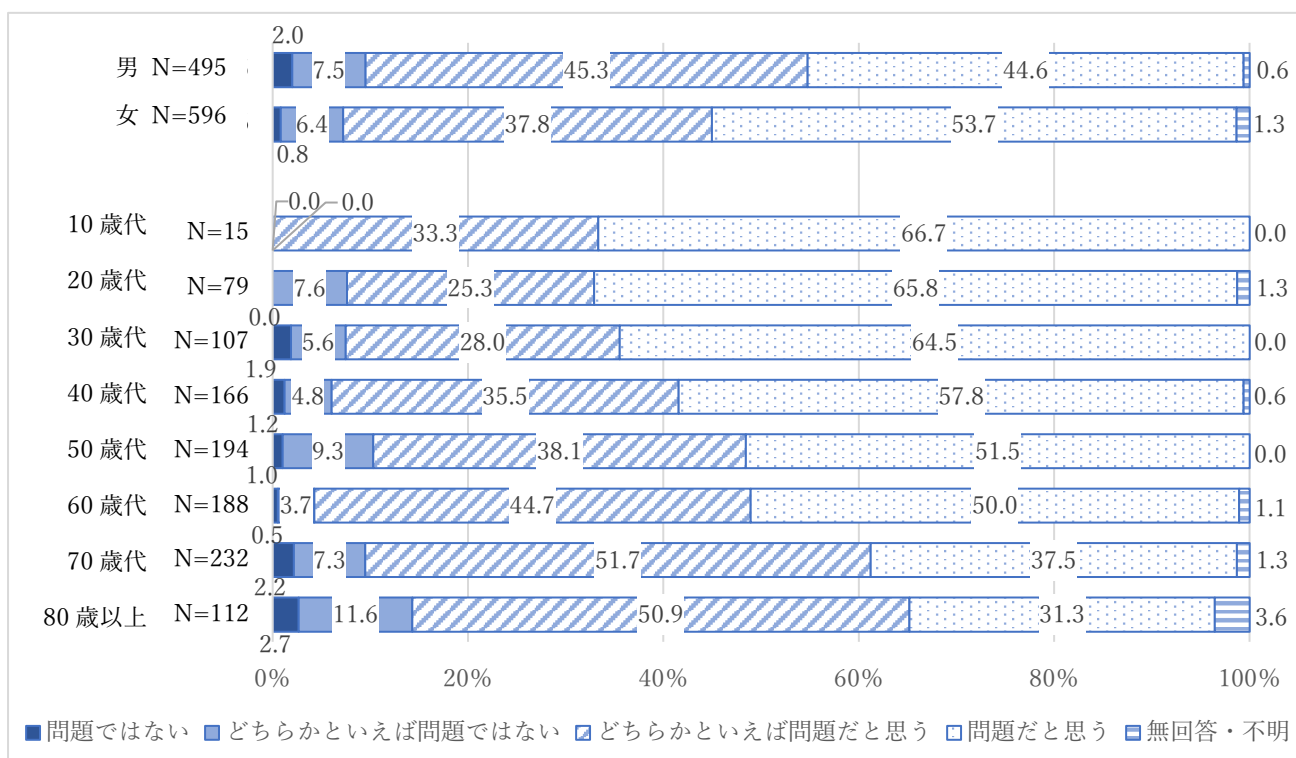


ウ. 女性という理由で、祭りなどに参加できないことや、女人禁制など特定の場所に入れないこと
「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 73.8%、女性は 73.2%
であった。年代別では、20 歳代が 82.3%と最も高く、50 歳代が 61.8%と最も低く、その他の年齢層では
70~80%代となっている。



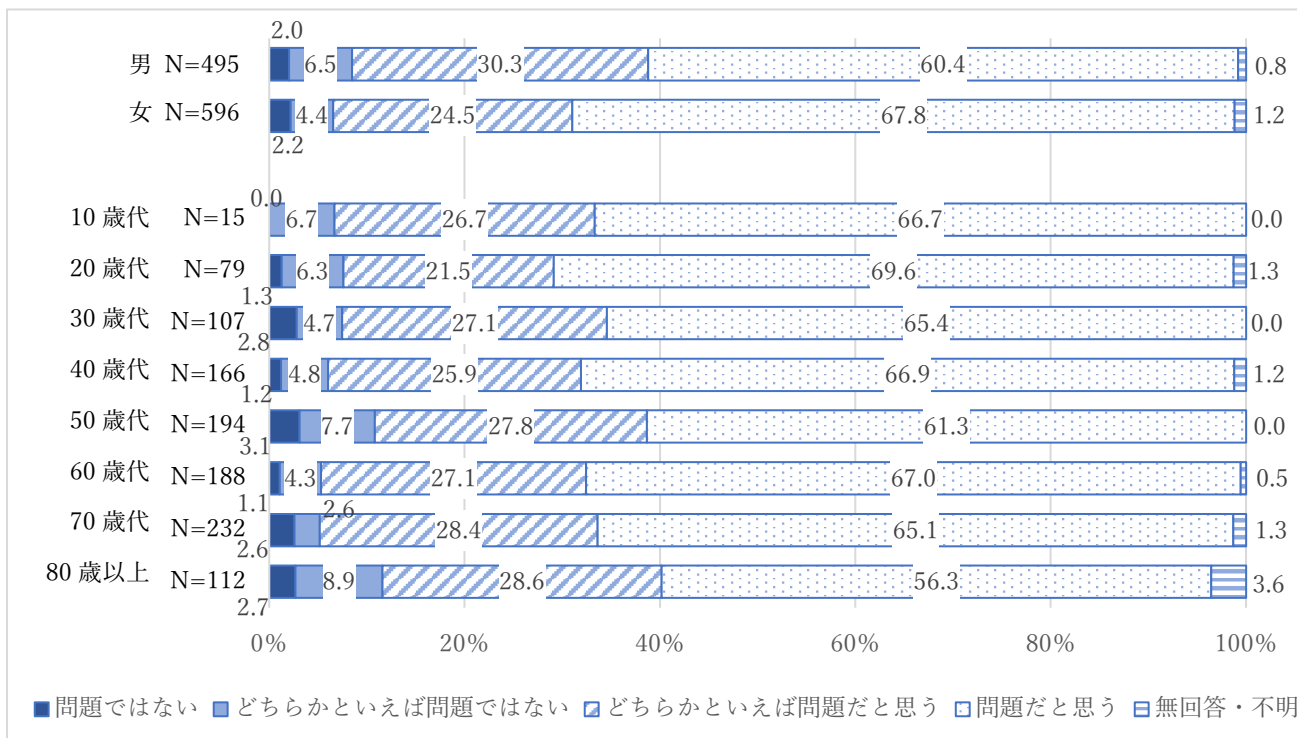
エ. 社会において、家事・育児や介護などを男女が共同して担う社会の仕組みが十分に整備されていないこと

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 89.9%、女性は 91.5%
となっている。年代別では、すべての年齢層で 80%を超えている。



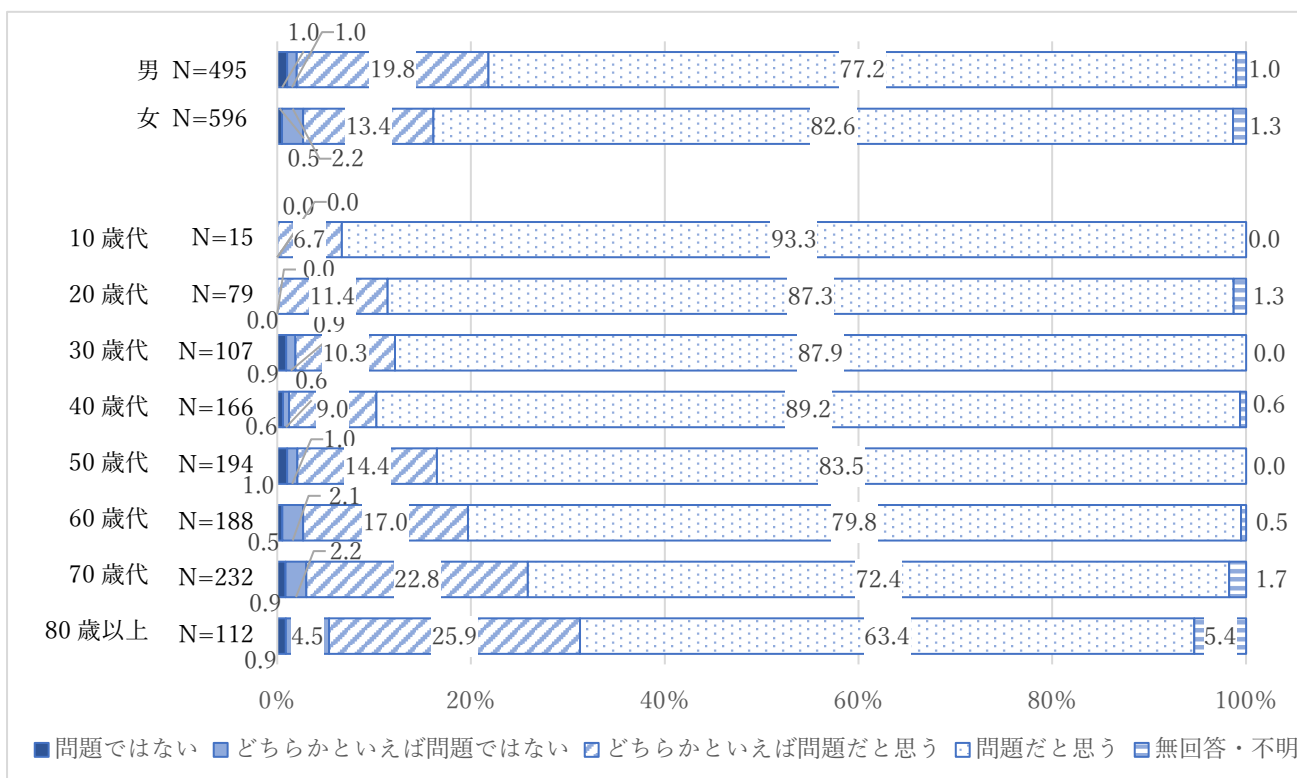
オ. 「女のくせに」「女だから」と言うこと

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 90.7%、女性は 92.3% となっている。年代別では、60 歳代が 94.1%と最も高く、その他の年齢層でも 80~90%代となっている。



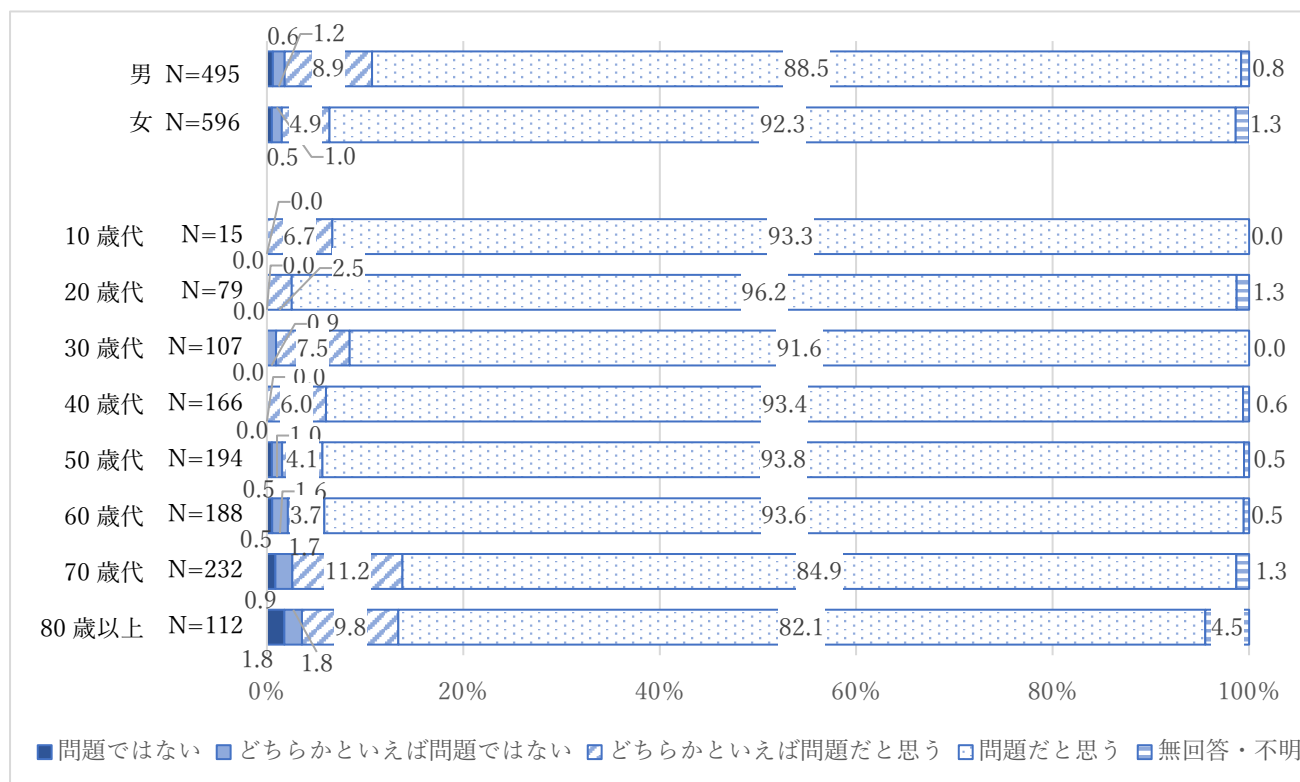
カ. 職場や地域で、セクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）があること

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 97%、女性は 96% となっている。年代別では、80 歳以上が 89.3%、それ以外の年齢層では 95%を超えている。



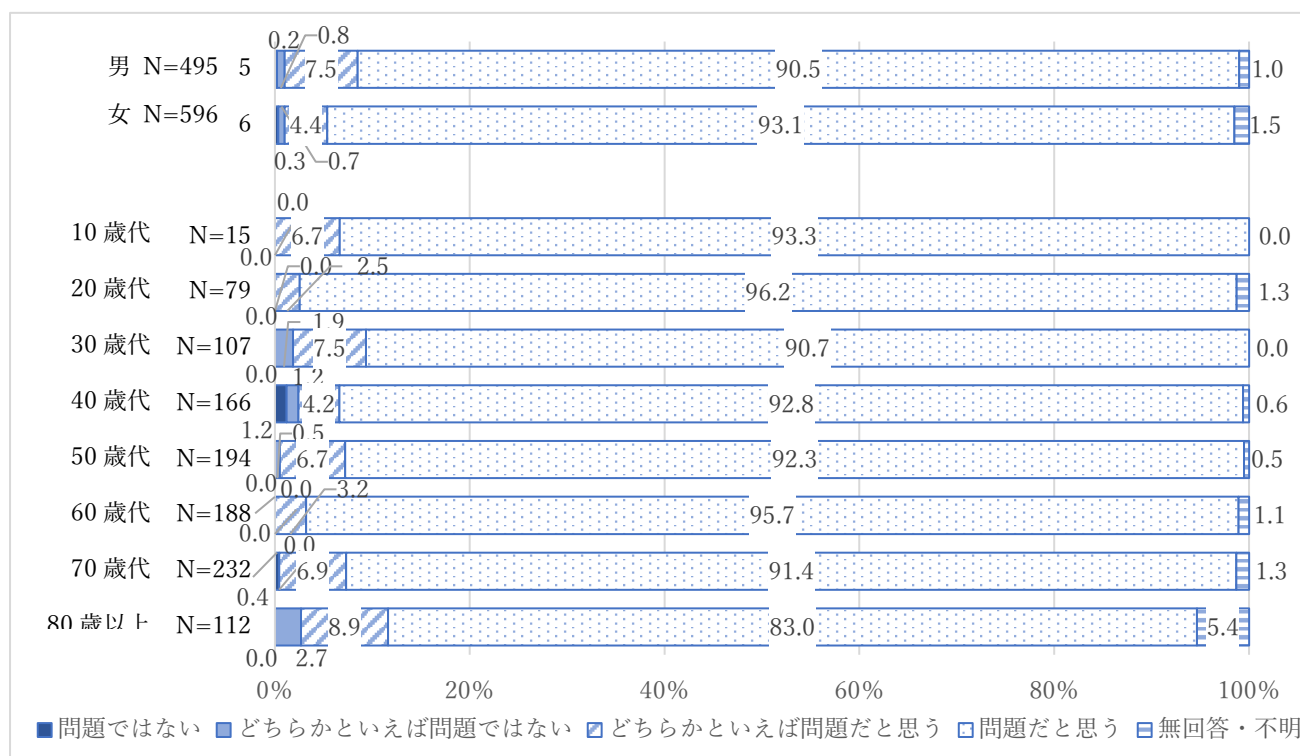
キ. 夫や恋人などから DV (暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限) を受けること

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 97.4%、女性は 97.2% となっている。年代別では、すべての年齢層で 90% を超えている。



ク. 売春・買春、ストーカー行為

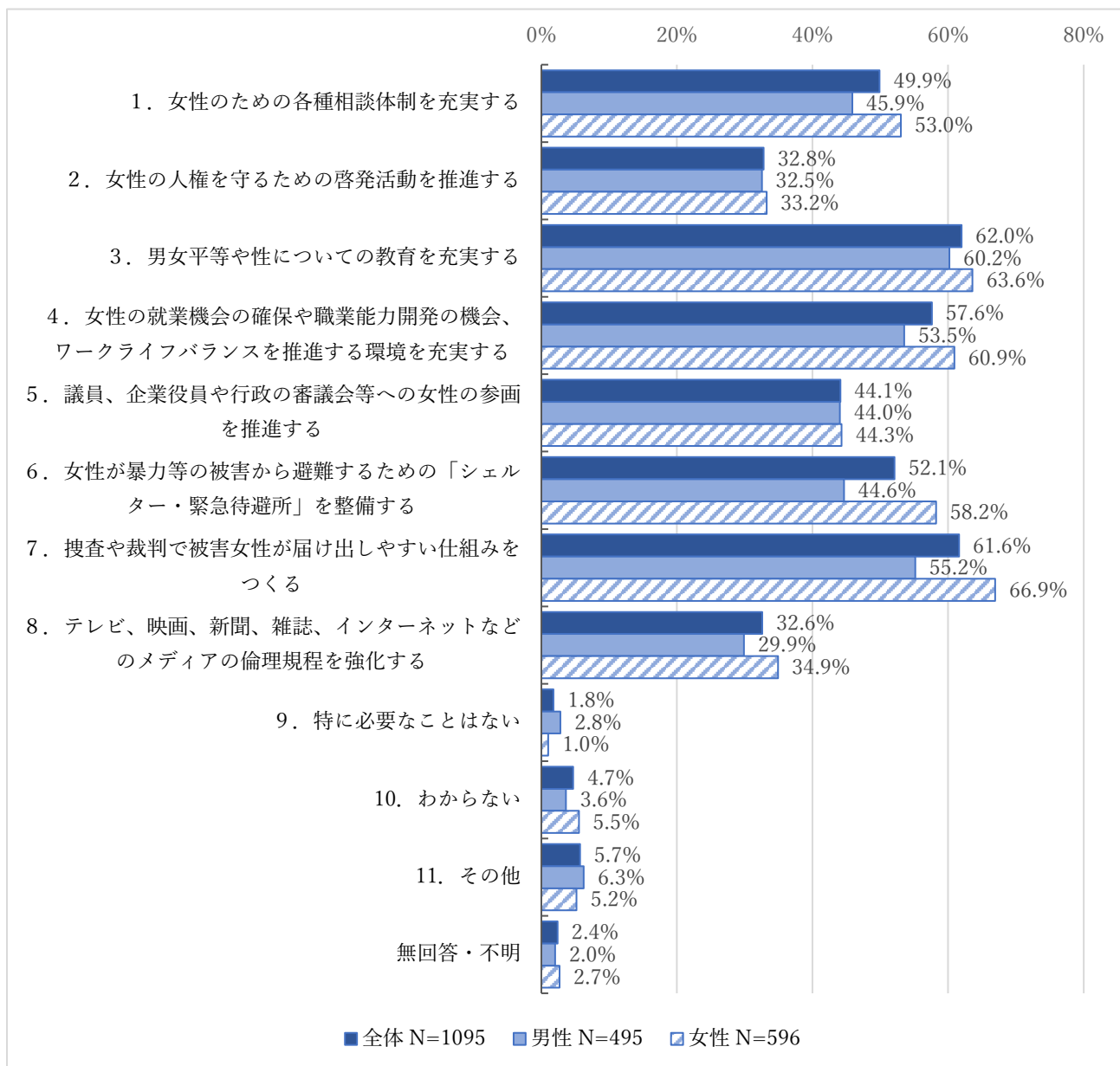
「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性は 98%、女性は 97.5% となっている。年代別では、すべての年齢層で 90% を超えている。



問 10 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまる番号をすべて記入してください。

全体でみると、「3. 男女平等や性についての教育を充実する」が62%（前回59.6%）と最も高く、次いで「7. 捜査や裁判で被害女性が届けやすい仕組みをつくる」が61.6%（前回62.5%）、次いで「4. 女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会、ワークライフバランスを推進する環境を充実する」が57.6%（前回62.8%）となっている。



単位：％

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 女性のための各種相談体制を充実する	46.7	34.2	44.9	44.0	46.9	55.9	56.0	56.3
2. 女性の人権を守るための啓発活動を推進する	13.3	16.5	29.9	25.9	22.7	37.2	44.4	46.4
3. 男女平等や性についての教育を充実する	73.3	59.5	57.9	62.7	62.9	61.7	65.9	57.1
4. 女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会、ワークライフバランスを推進する環境を充実する	53.3	62.0	58.9	57.2	56.2	62.2	53.4	58.0
5. 議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を推進する	26.7	27.8	39.3	35.5	43.3	42.6	55.6	55.4
6. 女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	33.3	44.3	50.5	48.8	55.7	56.9	56.5	42.9
7. 捜査や裁判で被害女性が届け出しやすい仕組みをつくる	40.0	53.2	57.0	57.8	57.2	72.3	66.4	59.8
8. テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する	13.3	29.1	34.6	23.5	27.8	32.4	41.4	40.2
9. 特に必要なことはない	0.0	1.3	5.6	2.4	2.1	1.1	0.9	0.9
10. わからない	0.0	5.1	4.7	4.8	1.5	4.8	5.6	8.0
11. その他	0.0	6.3	6.5	8.4	7.7	3.7	3.9	4.5
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.0	1.0	1.1	3.4	9.8

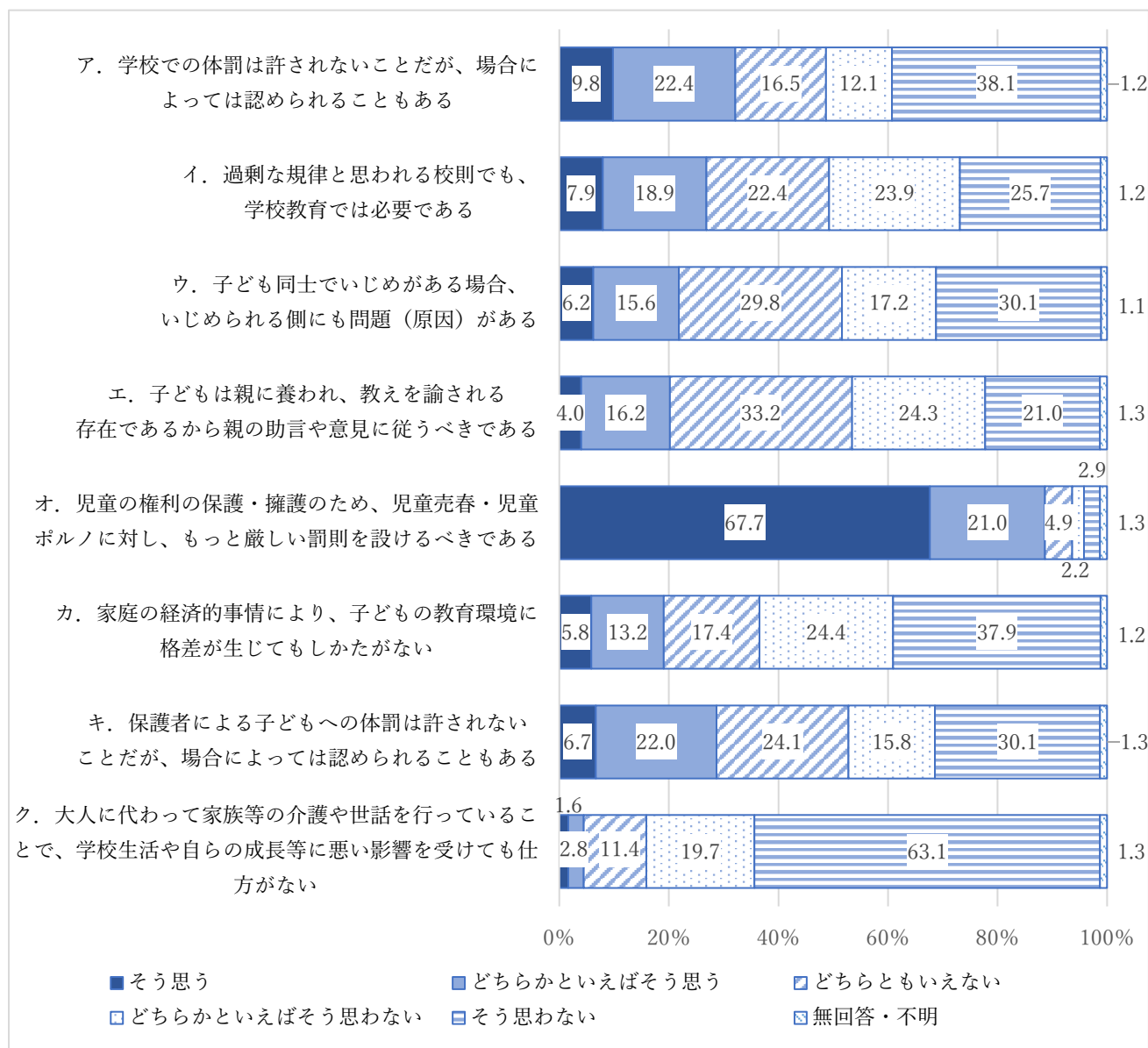
子どもの人権について

問 11 子どもに対する次のア～クの意見についてどのように思いますか。

1～5の中から、それぞれあてはまる番号を記入してください。

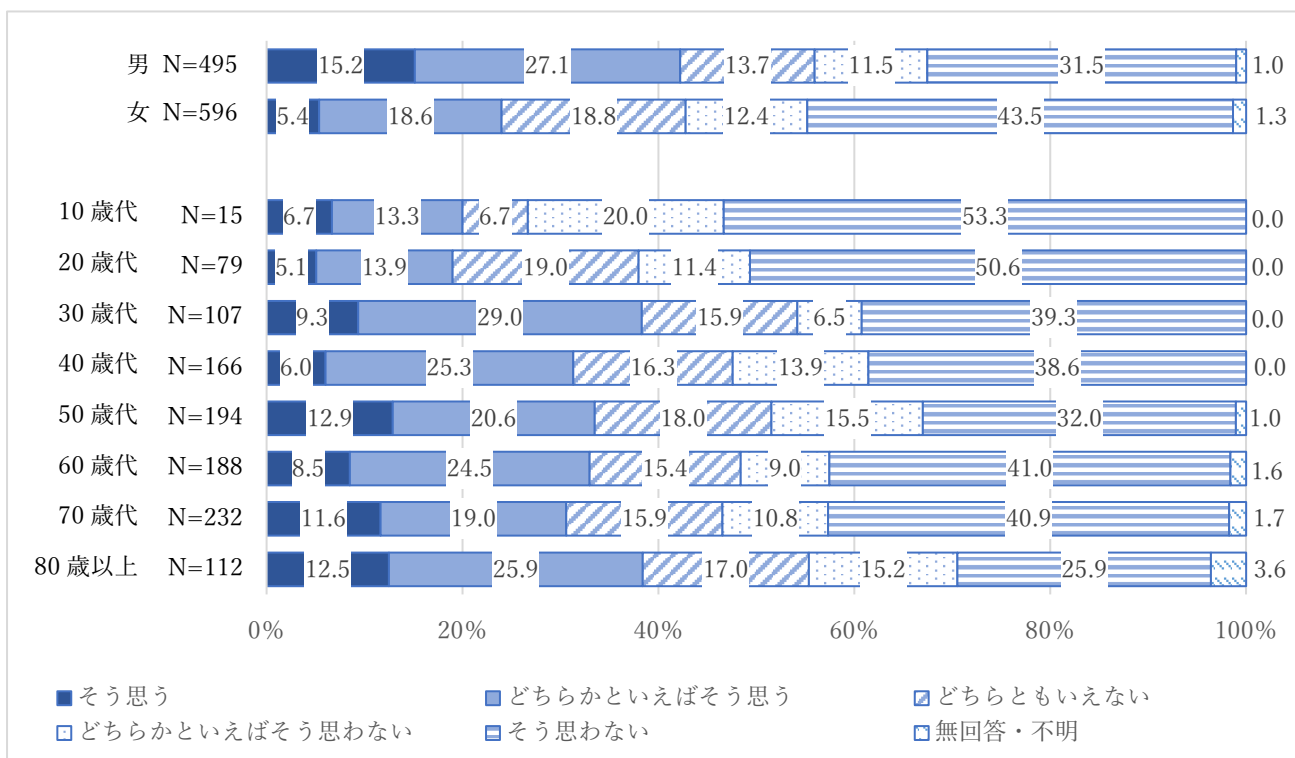
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた比率でみると、「オ. 児童の権利の保護・擁護のため、児童買春・児童ポルノに対し、もっと厳しい罰則を設けるべきである」が88.7%（前回85.5%）と最も高く、次いで「ア. 学校での体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある」が32.2%（前回42.5%）であった。

また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた比率でみると、「ク. 大人に代わって家族等の介護や世話をを行っていることで、学校生活や自らの成長等に悪い影響を受けても仕方がない【新設】」が82.8%と最も高く、次いで「カ. 家庭の経済的事情により子どもの生活環境に格差が生じてもしかたがない」が62.3%（前回69%）であった。



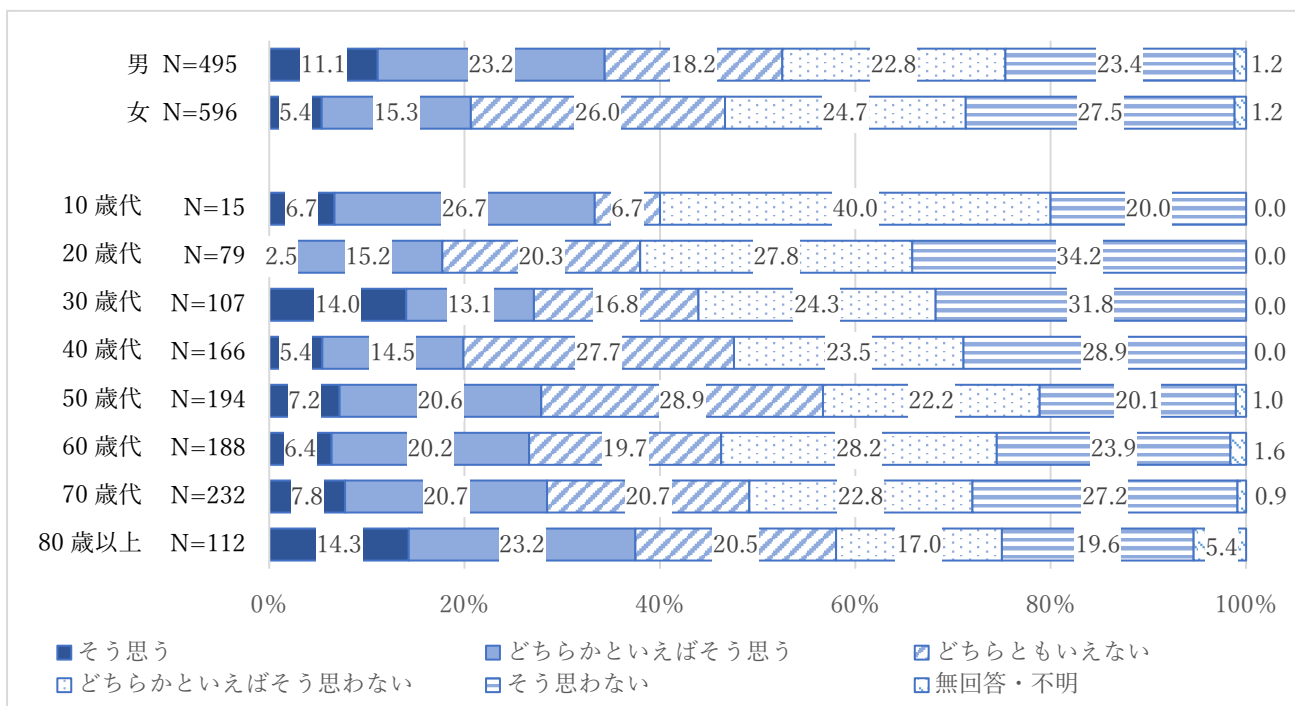
ア. 学校での体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 42.3%（前回 53.2%）、女性 24%（前回 34.1%）となっている。年代別では、10歳代と20歳代が約 20%、30歳代と80歳以上が 38%代、それ以外の年齢層は 30%代前半となっている。



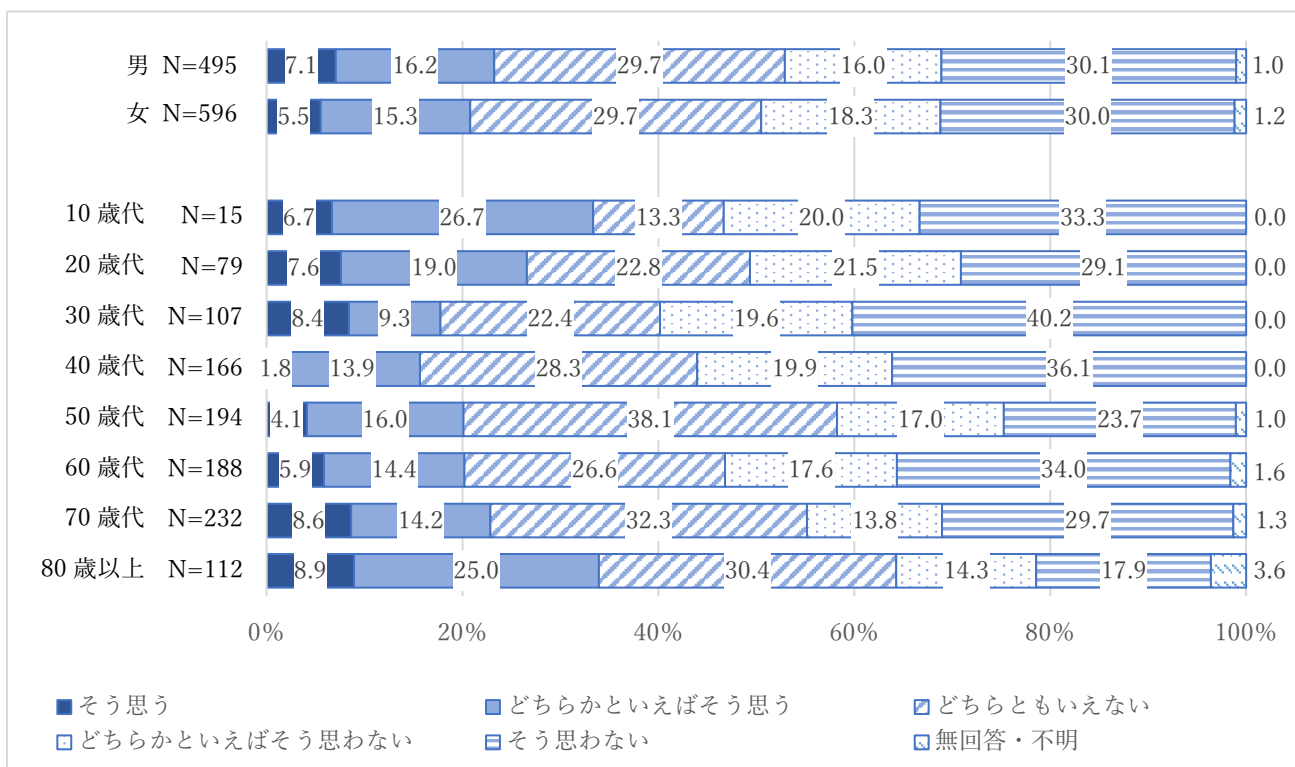
イ. 過剰な規律と思われる校則でも、学校教育では必要である

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 34.3%（前回 33.1%）、女性 20.7%（前回 29.4%）となっている。年代別では、10歳代と80歳以上が30%代でその他の年齢層では 20%代以下となっている。



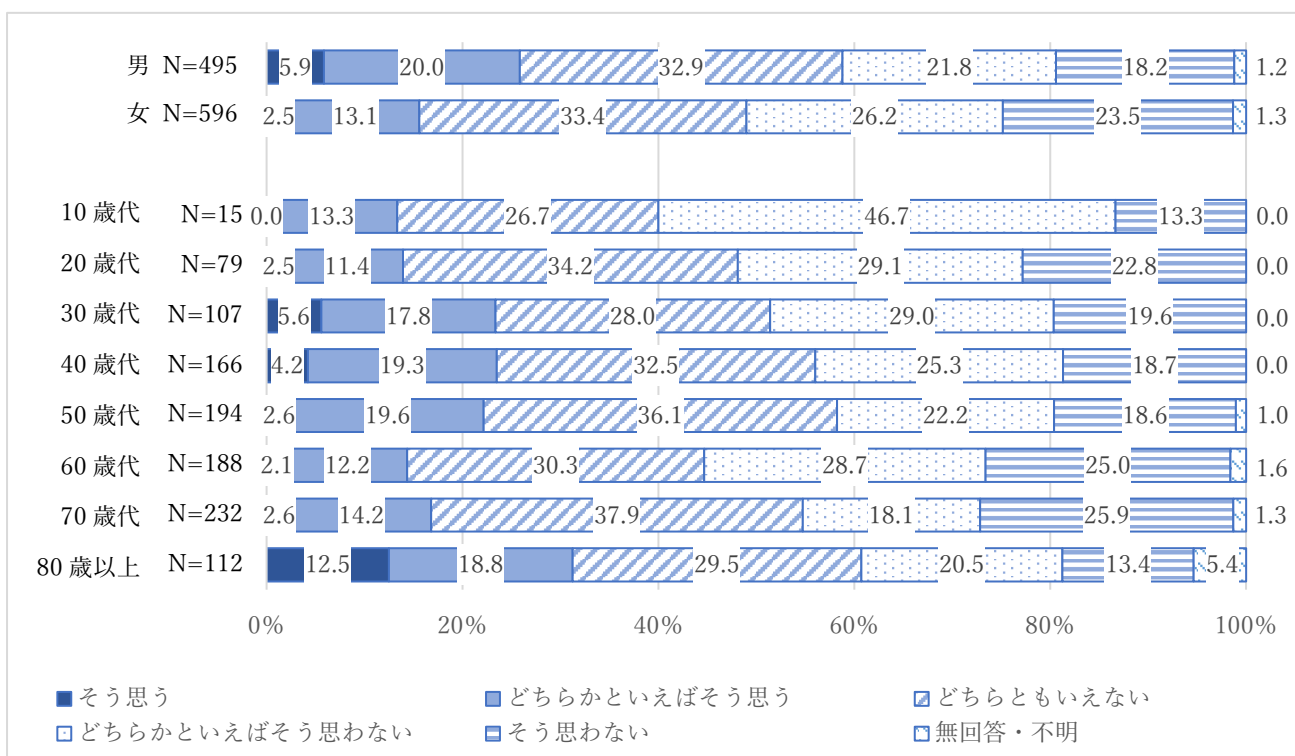
ウ. 子ども同士でいじめがある場合、いじめられる側にも問題（原因）がある【新設】

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 23.3%、女性 20.8%となっている。
年代別では、10歳代（33.4%）、20歳代（26.6%）、80歳以上（33.9%）で高めの傾向がみられる。



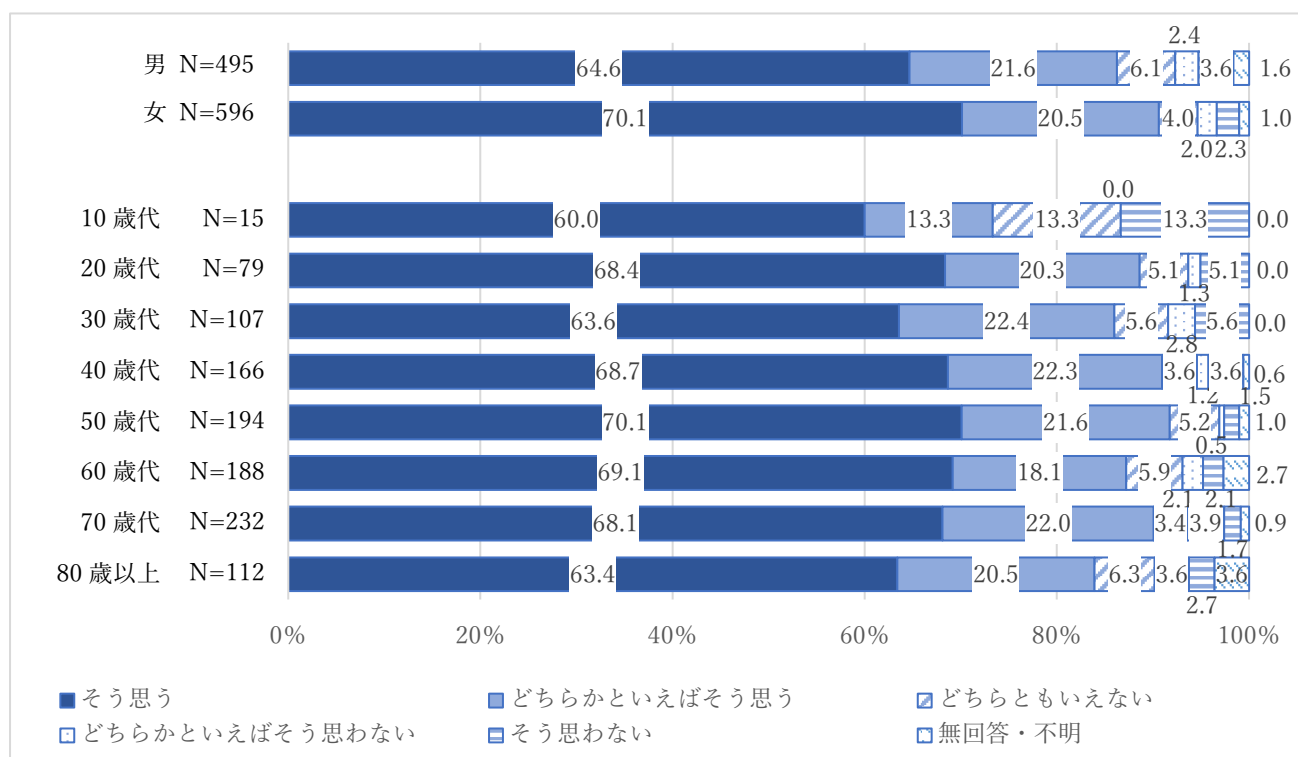
エ. 子どもは親に養われ、教えを諭される存在であるから親の助言や意見に従うべきである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 25.9%（前回 35.8%）、女性 15.6%（前回 22.1%）となっている。年代別では、30歳代（23.4%）、40歳代（23.5%）、50歳（22.2%）、80歳以上（31.3%）で高めの傾向がみられる。



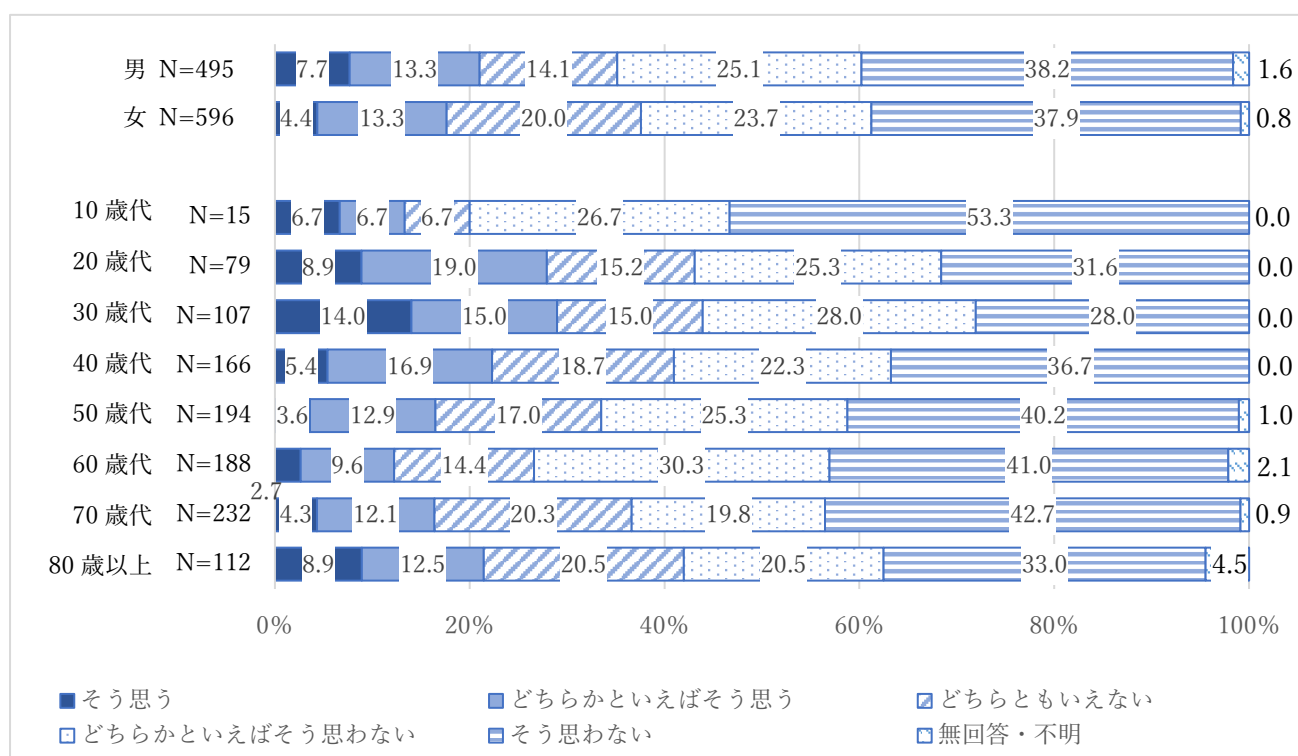
オ．児童の権利の保護・擁護のため、児童売春・児童ポルノに対し、もっと厳しい罰則を設けるべきである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 86.2%（前回 81.9%）、女性 90.6%（前回 89%）となっている。年代別では10歳代（73.3%）以外の年齢層で 80%を超えている。



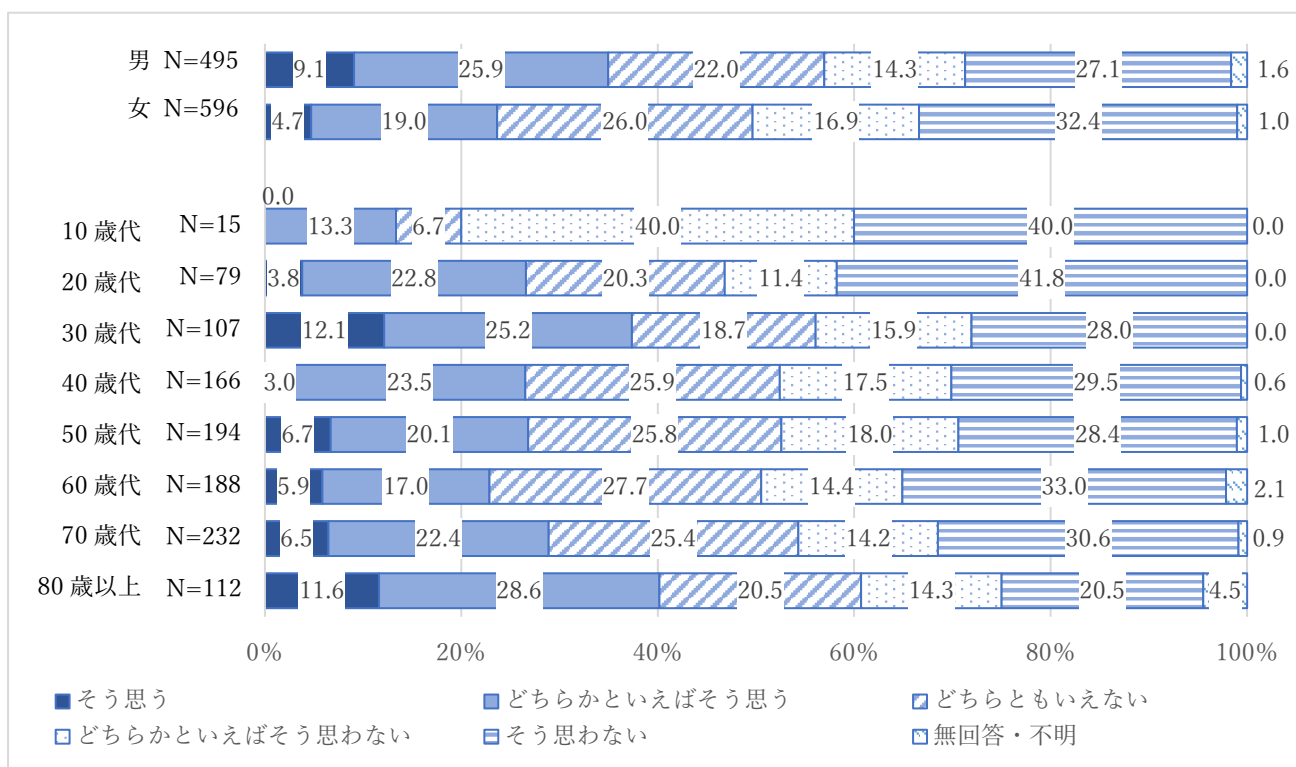
カ．家庭の経済的事情により、子どもの教育環境に格差が生じてもしかたがない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 21%（前回 19.2%）、女性 17.7%（前回 12.8%）となっている。年代別では、30 歳代が最も高く（29%）になっている。



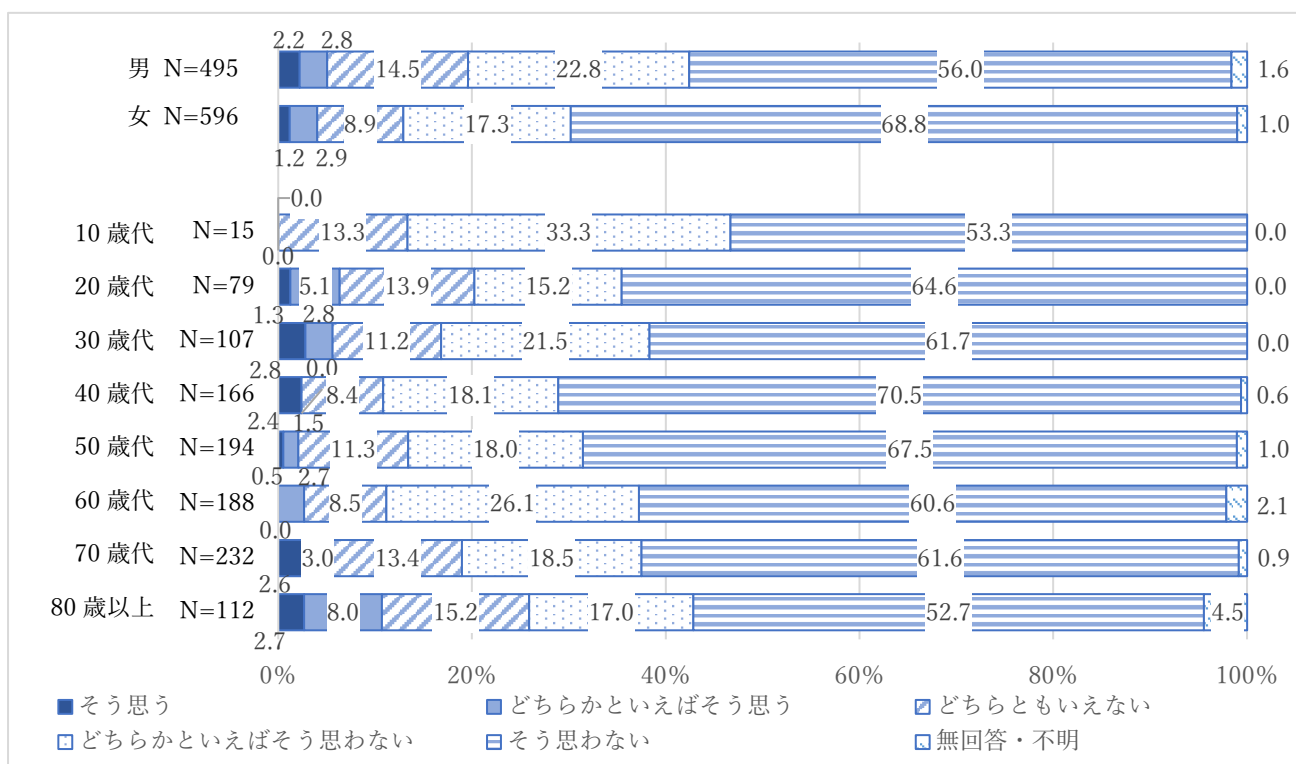
キ. 保護者による子どもへの体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 35%（前回 46.1%）、女性 23.7%（前回 32.1%）となっている。年代別では、30歳代（37.3%）、80歳以上（40.2%）が高い傾向にある。



ク. 大人に代わって家族等の介護や世話をやっていることで、学校生活や自らの成長等に悪い影響を受けても仕方がない【新設】

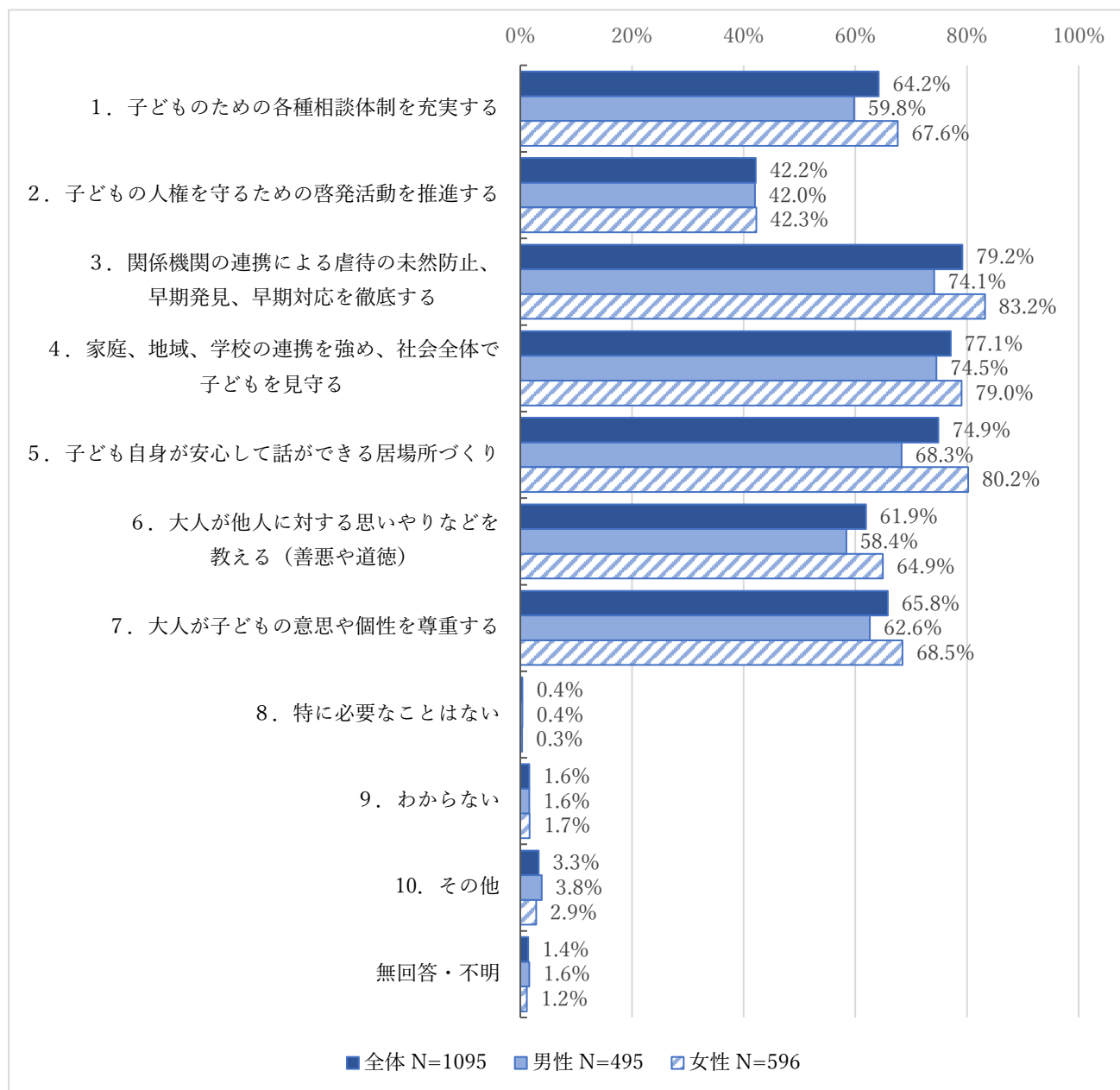
「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 5%、女性 4.1%となっている。年代別でも、すべての年齢層で低く、最も高かったのは 80歳以上の 10.7%であった。



問 12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまる番号をすべて記入してください。

「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が79.2%（前回83.6%）と最も高く、次いで「4. 家庭、地域、学校の連携を強め、社会全体で子どもを見守る【新設】」が77.1%、次いで「5. 子ども自身が安心して話ができる居場所づくり【新設】」が74.9%となっている。



単位：％

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 子どものための各種相談体制を 充実する	60.0	49.4	55.1	57.2	64.9	71.3	71.1	66.1
2. 子どもの人権を守るための啓発 活動を推進する	26.7	27.8	37.4	35.5	34.0	43.6	52.2	59.8
3. 関係機関の連携による虐待の未 然防止、早期発見、早期対応を徹 底する	73.3	82.3	72.9	69.9	80.4	82.4	83.6	80.4
4. 家庭、地域、学校の連携を強め、 社会全体で子どもを見守る	66.7	70.9	75.7	73.5	73.7	79.3	83.6	77.7
5. 子ども自身が安心して話ができ る居場所づくり	73.3	72.2	82.2	72.3	74.7	76.1	75.9	69.6
6. 大人が他人に対する思いやりな どを教える（善悪や道徳）	33.3	46.8	57.9	62.0	59.3	59.0	72.4	67.9
7. 大人が子どもの意思や個性を尊 重する	73.3	68.4	71.0	62.7	58.8	69.1	69.8	60.7
8. 特に必要なことはない	0.0	0.0	0.9	0.6	0.0	0.5	0.0	0.9
9. わからない	0.0	0.0	2.8	2.4	1.0	0.5	1.3	4.5
10. その他	6.7	3.8	4.7	6.6	2.6	2.7	0.9	3.6
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.0	1.0	1.1	1.7	3.6

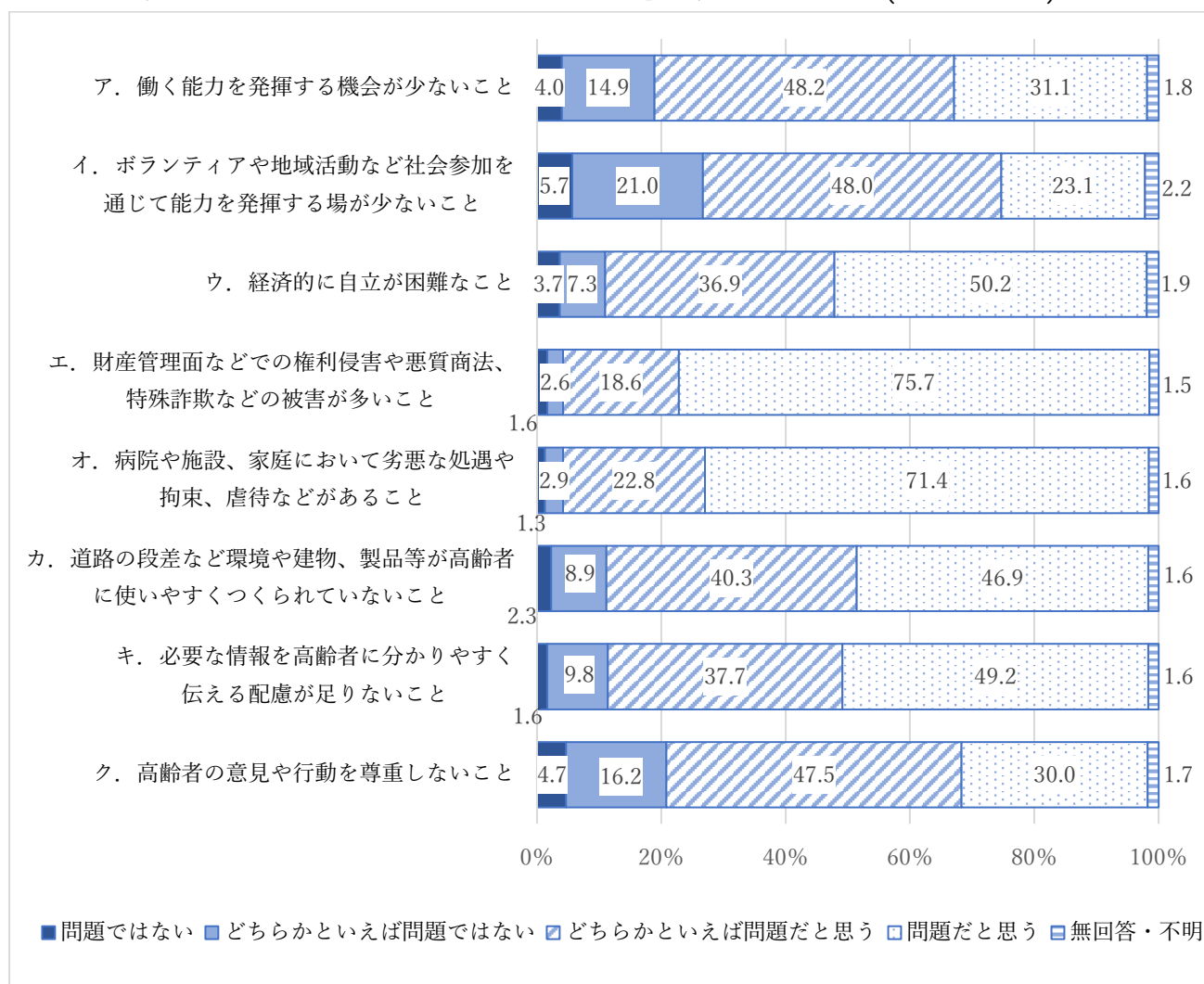
高齢者の人権について

問 13 高齢者(65歳以上)に関する次のア～クのことについてどう思いますか。

1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

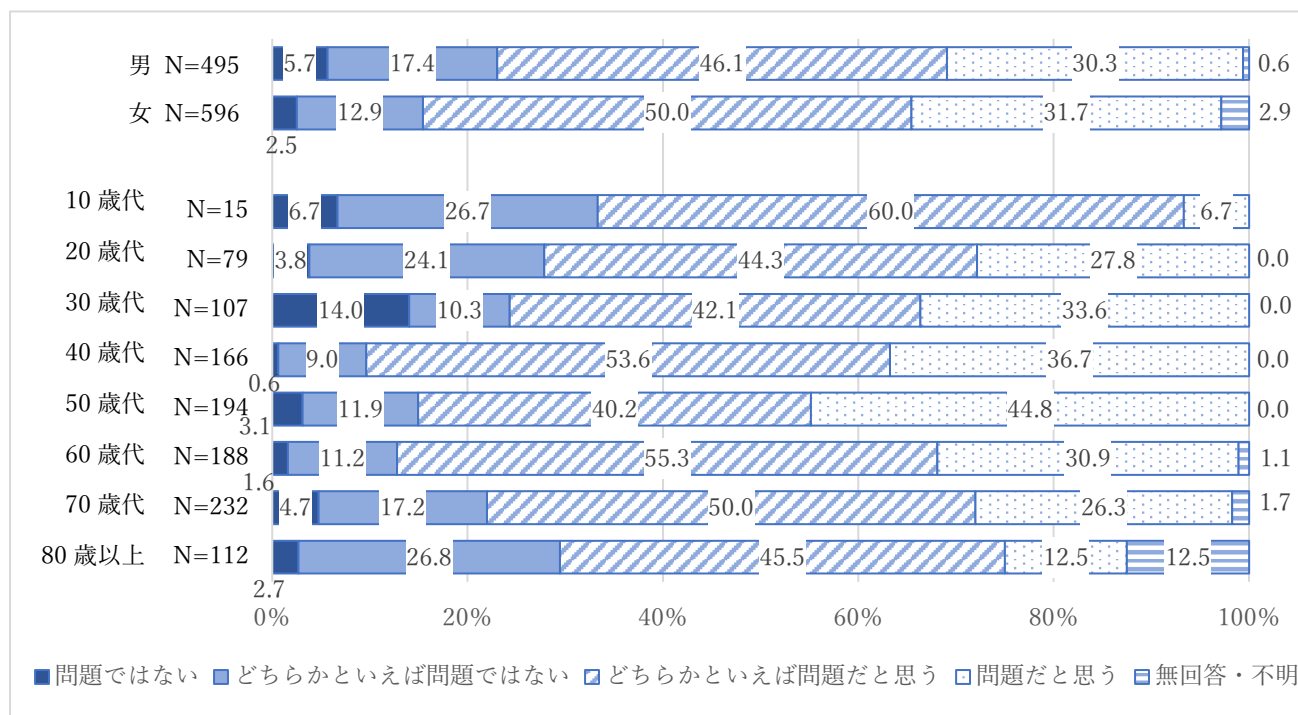
「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「エ.財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと」が94.3%(前回90.8%)と最も高く、次いで「オ.病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待があること」が94.2%(前回88.7%)であった。また、「ウ.経済的に自立が困難なこと」(87.1%)、「カ.道路の段差など環境や建物、製品等が高齢者に使いやすつくられていないこと」(87.2%)、「キ.必要な情報を高齢者に分かりやすく伝える配慮が足りないこと」(86.9%)も高い値を示している。

「問題ではない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「イ.ボランティアや地域活動など社会参加を通じて能力を発揮する場が少ないこと」が最も高く、26.7%(前回38.6%)であった。



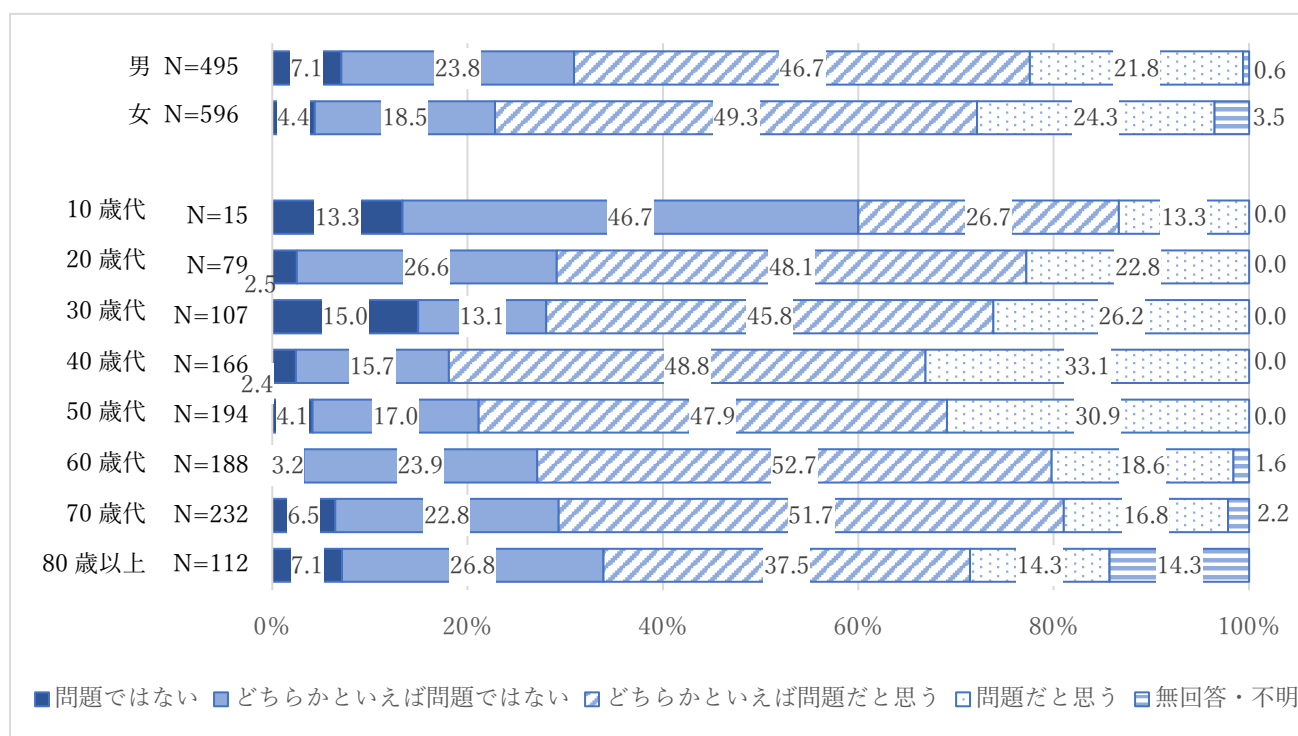
ア. 働く能力を発揮する機会が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 76.4%（前回 61.6%）、女性 81.7%（前回 74.7%）となっている。年代別では、40 歳代が 90.3%で最も高く、80 歳以上が 58%と最も低くなっている。



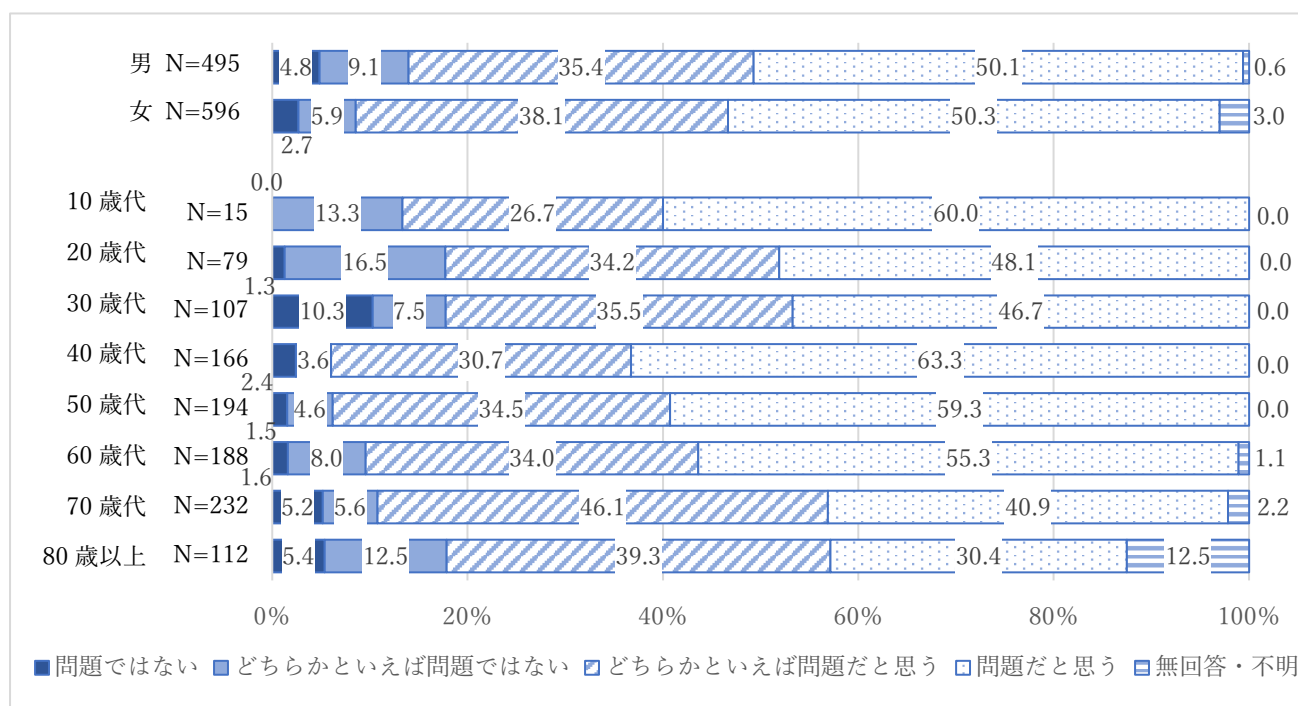
イ. ボランティアや地域活動など社会参加を通じて能力を発揮する場が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 68.5%（前回 50.3%）、女性 73.6%（前回 67%）となっている。年代別では、40 歳代が最も高く（81.9%）、10 歳代（40%）と 80 歳以上（51.8%）で低い傾向が見られた。



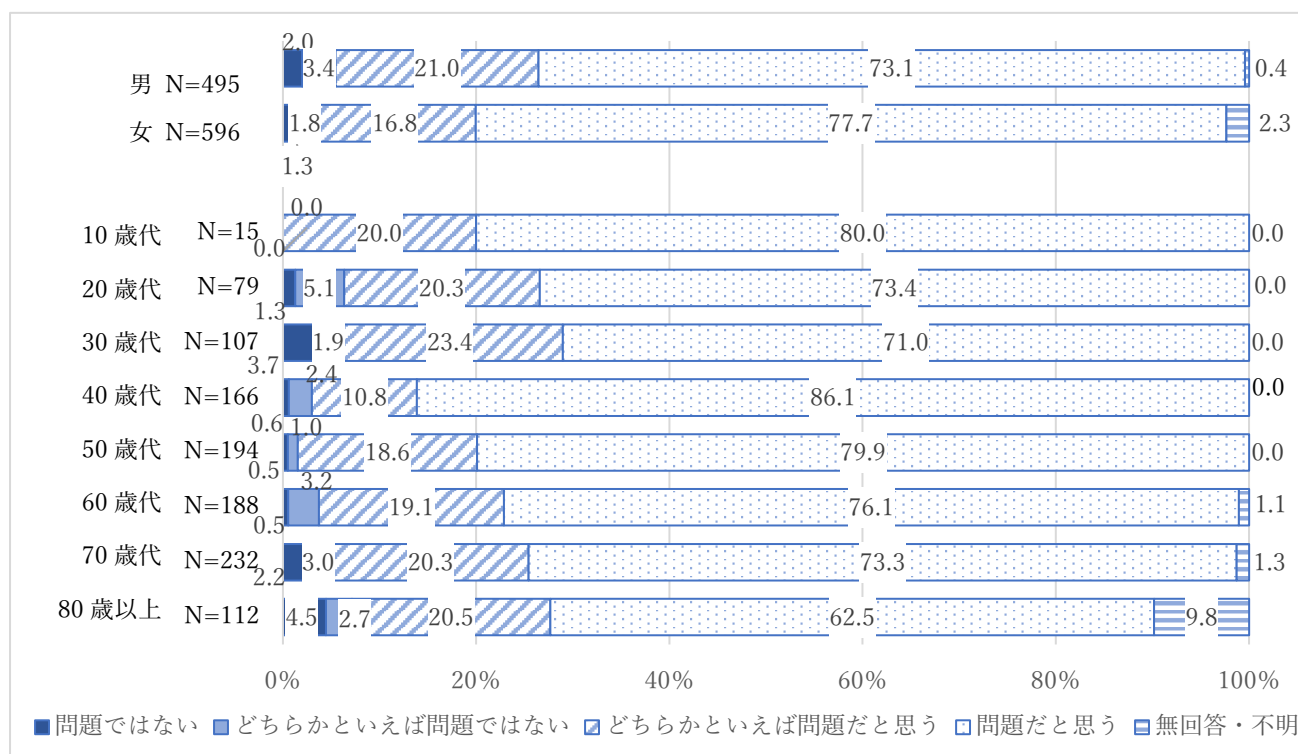
ウ. 経済的に自立が困難なこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 85.5%（前回 75.4%）、女性 88.4%（前回 86.5%）となっている。年代別では、全体的に高く、40 歳代が最も高く（94%）、80 歳以上（69.7%）を除く年齢層で 80%を超えている。



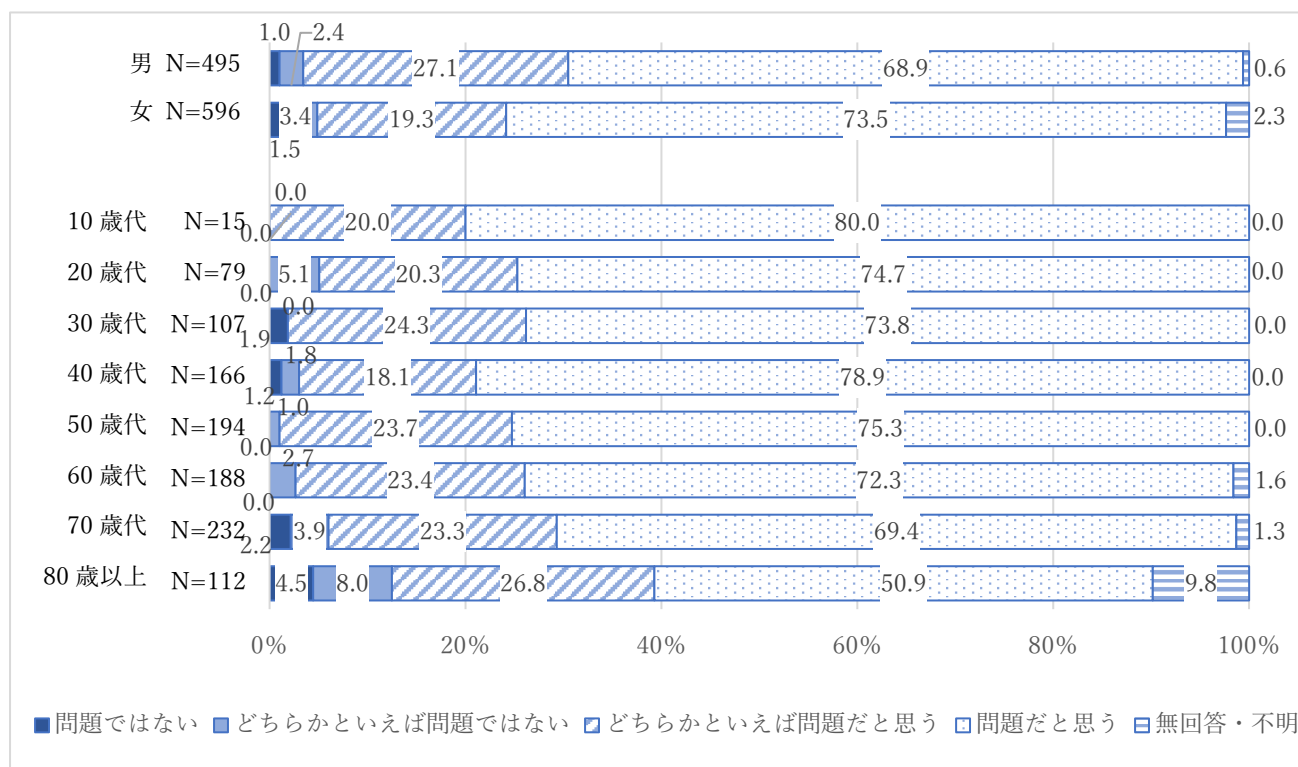
エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 94.1（前回 86.6%）、女性 94.5%（前回 94.7%）となっている。年代別では、80 歳以上（83%）を除く年齢層で 90%を超えている。



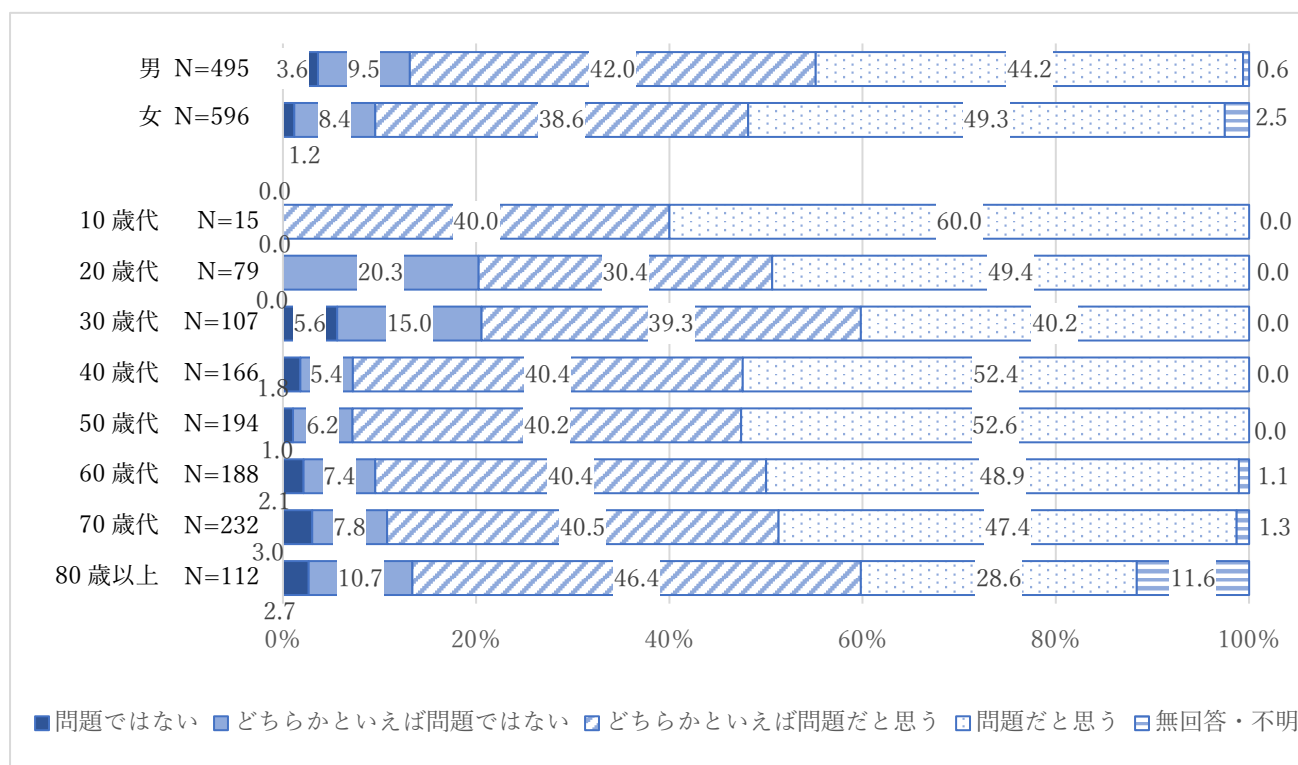
オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96%（前回 84.6%）、女性 92.8%（前回 92.6%）となっている。年代別では、80歳以上（77.7%）を除く年齢層で 90%を超えている。



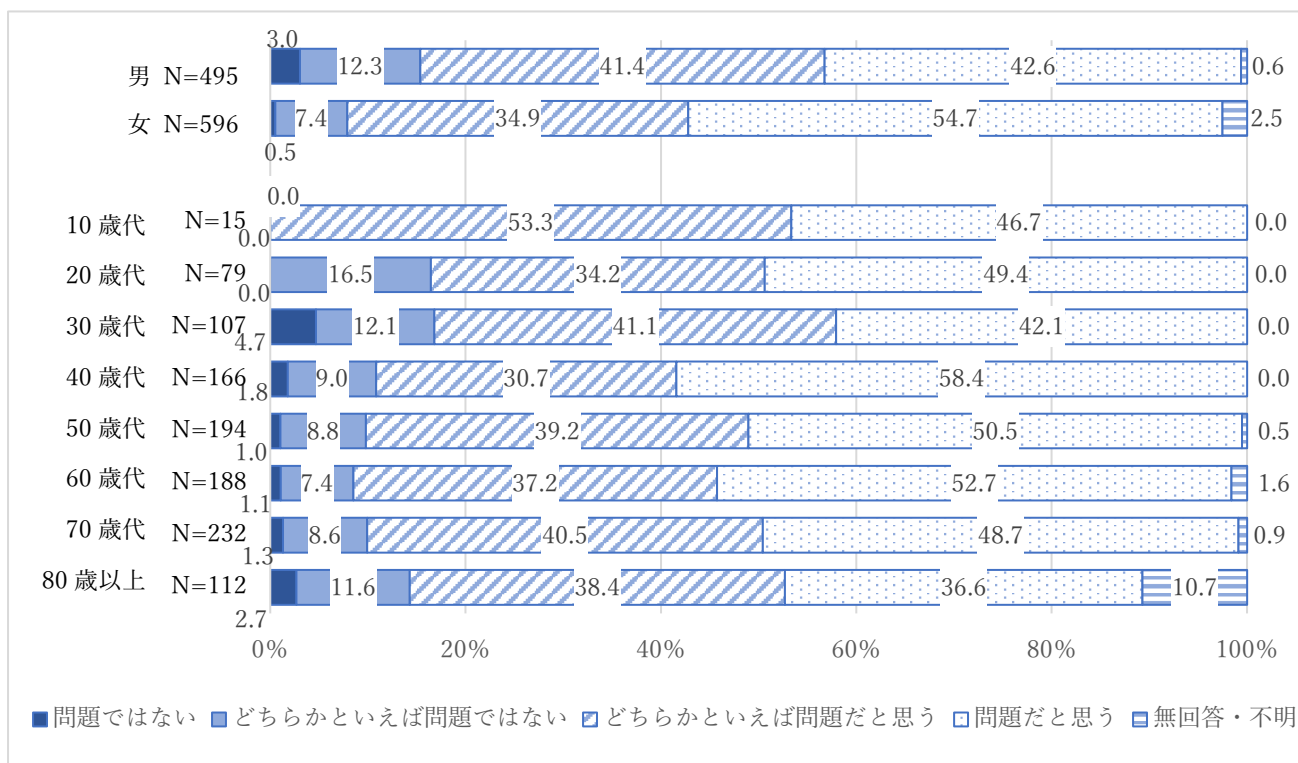
カ. 道路の段差など環境や建物、製品等が高齢者に使いやすくつくられていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 86.2%（前回 73.4%）、女性 87.9%（前回 87%）となっている。年代別では、全年齢層で 75%を超えている。



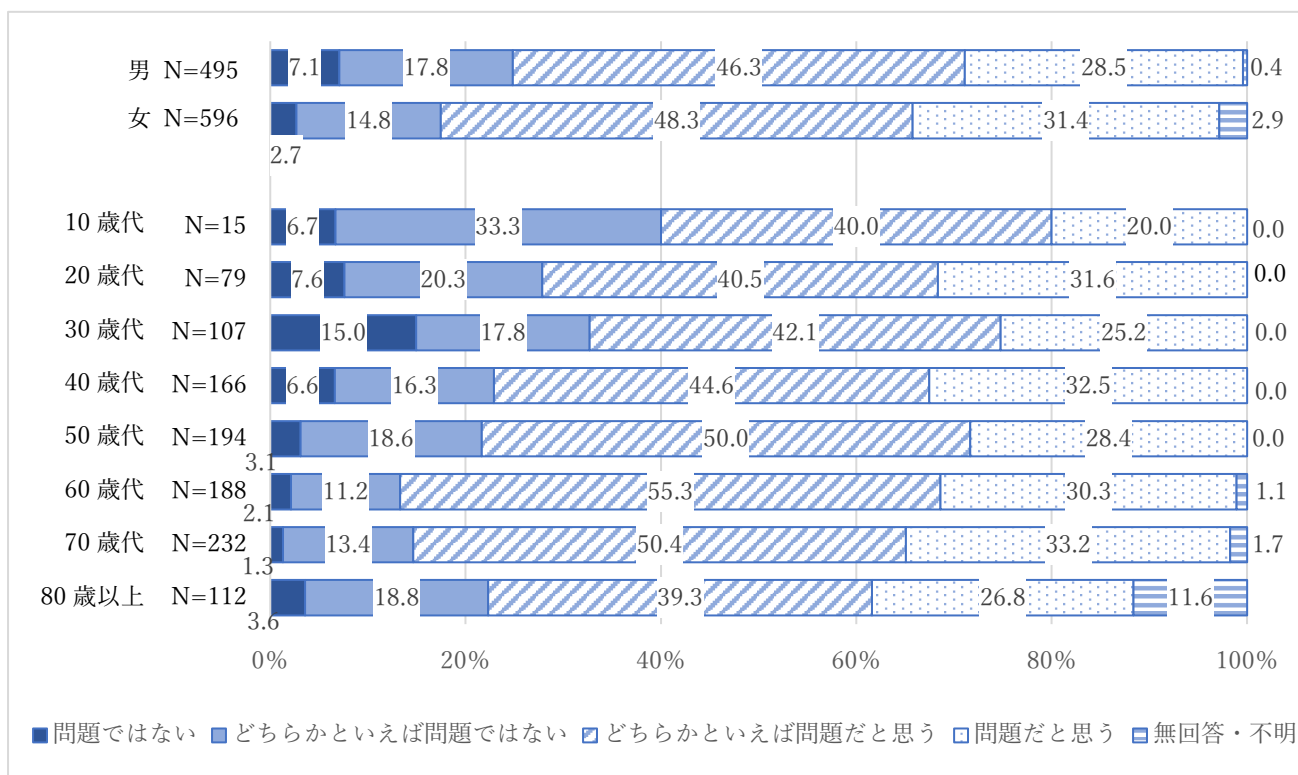
キ. 必要な情報を高齢者に分かりやすく伝える配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84%（前回 74%）、女性 89.6%（前回 89.3%）となっている。年代別では、80歳以上（75%）を除く年齢層で 80%を超えている。



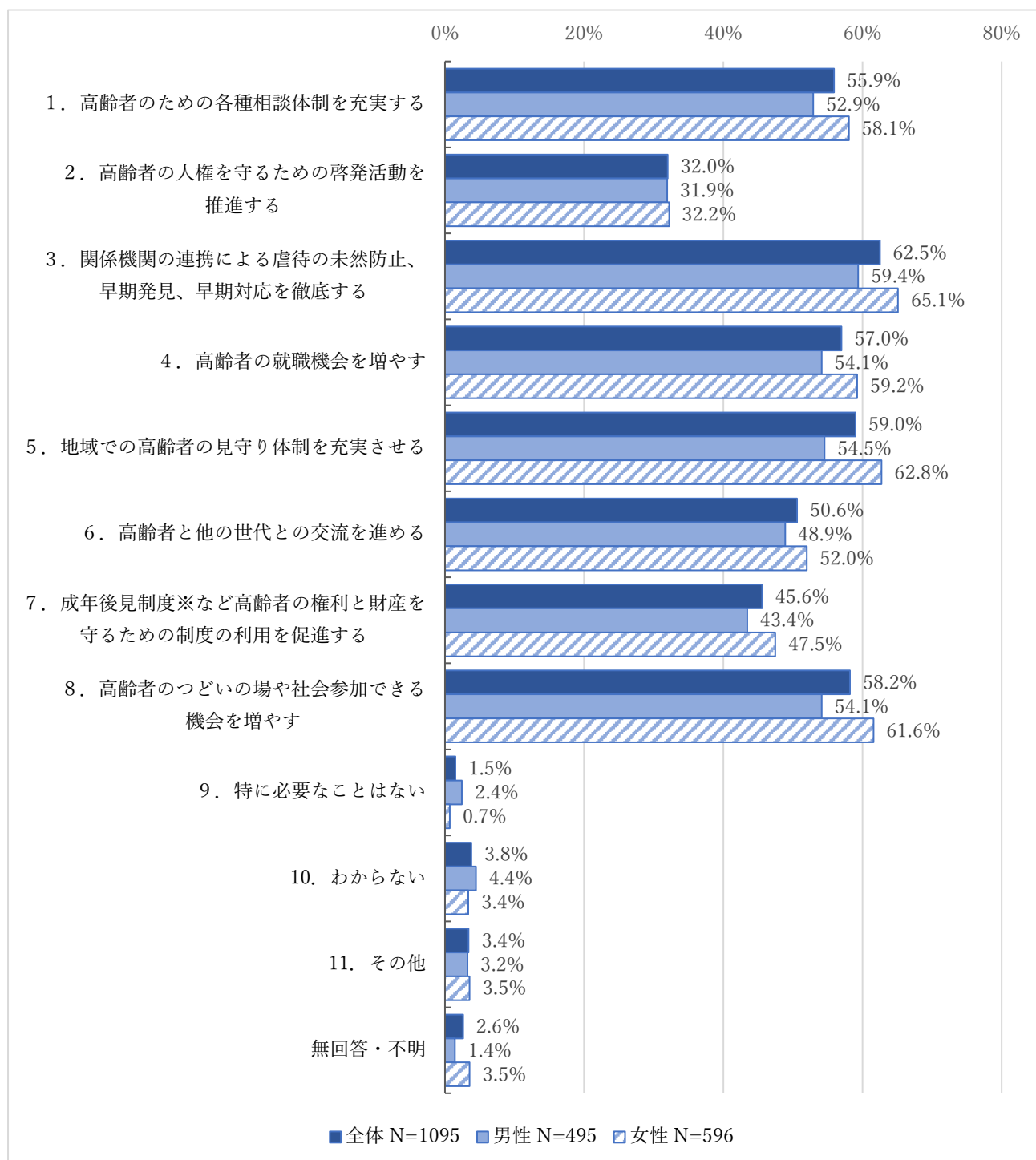
ク. 高齢者の意見や行動を尊重しないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 74.8%（前回 60.6%）、女性 79.7%（前回 78.1%）となっている。年代別では、全年齢層で 60%を超えている。



問 14 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまる番号をすべて記入してください。

「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が62.5%（前回64.2%）と最も高く、次いで「5. 地域での高齢者の見守り体制を充実させる」が59%（前回61%）、次いで「8. 高齢者のつどいの場や社会参加できる機会を増やす※」が58.2%となっている。



※選択肢「8」の前の文言:「高齢者のつどいの場を増やす」(52.7%)

単位：％

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 高齢者のための各種相談体制を 充実する	46.7	40.5	48.6	55.4	61.9	59.0	59.1	52.7
2. 高齢者の人権を守るための啓発 活動を推進する	20.0	17.7	25.2	27.1	27.3	38.8	40.1	37.5
3. 関係機関の連携による虐待の未 然防止、早期発見、早期対応を徹 底する	73.3	63.3	56.1	58.4	68.0	63.3	67.2	51.8
4. 高齢者の就職機会を増やす	20.0	41.8	56.1	60.8	71.1	61.2	54.7	41.1
5. 地域での高齢者の見守り体制を 充実させる	40.0	41.8	51.4	53.6	58.2	64.9	69.0	59.8
6. 高齢者和其他の世代との交流を進 める	40.0	46.8	51.4	56.0	48.5	50.5	52.6	45.5
7. 成年後見制度※など高齢者の権 利と財産を守るための制度の利 用を促進する	60.0	32.9	46.7	44.6	54.1	47.9	44.0	37.5
8. 高齢者のつどいの場や社会参加 できる機会を増やす	53.3	62.0	59.8	60.8	59.8	54.8	58.2	53.6
9. 特に必要なことはない	6.7	2.5	4.7	1.2	0.5	1.6	0.4	0.9
10. わからない	0.0	7.6	4.7	4.8	1.5	3.7	3.9	3.6
11. その他	6.7	2.5	2.8	7.2	3.1	2.1	2.2	3.6
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.6	0.5	0.5	3.0	13.4

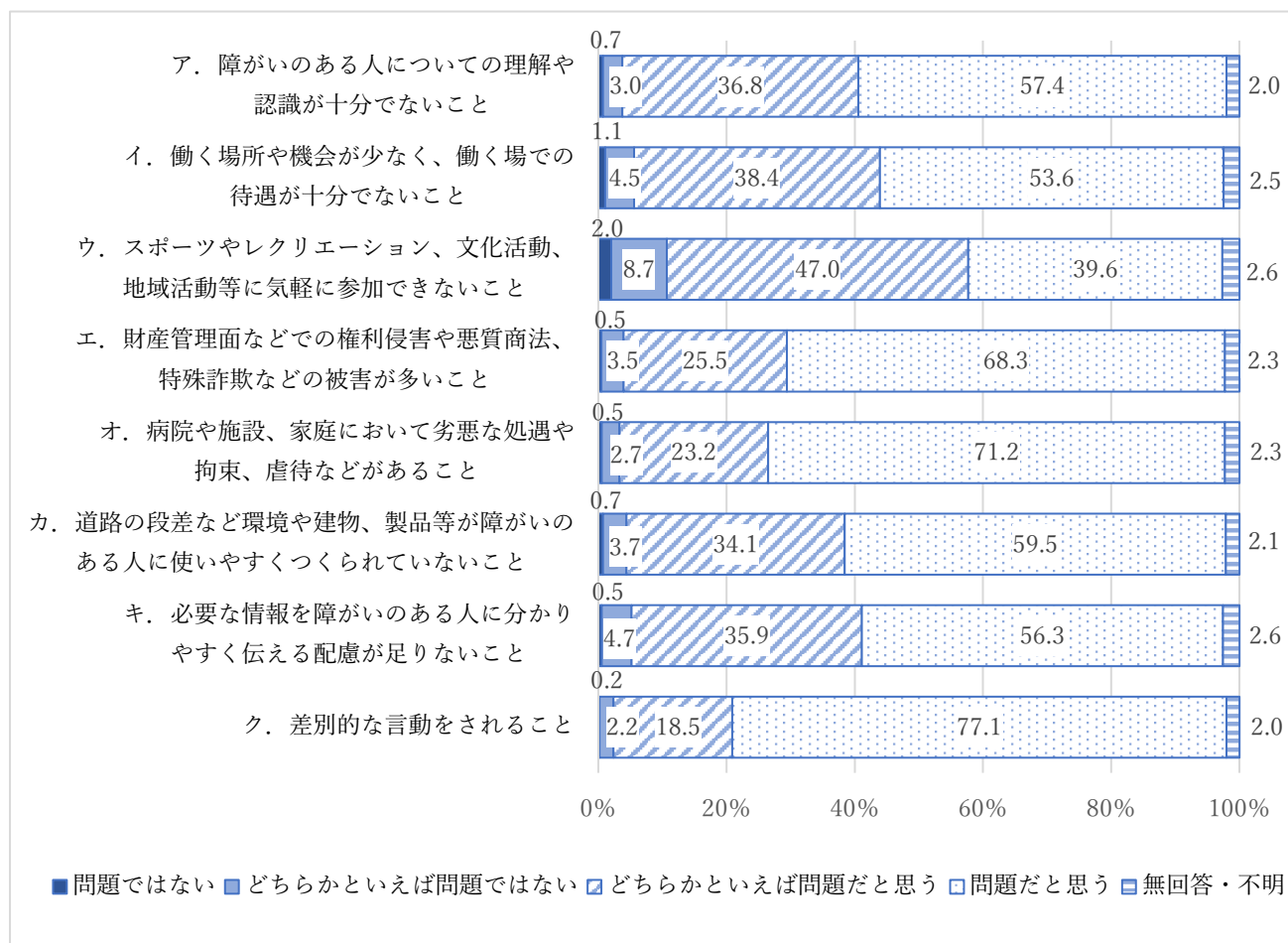
※成年後見制度：判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が、財産管理や契約などの法律、生活面を支援する制度。

障がいのある人の人権について

問15 障がいのある人に関する次のア～クのことからについて、どう思いますか。

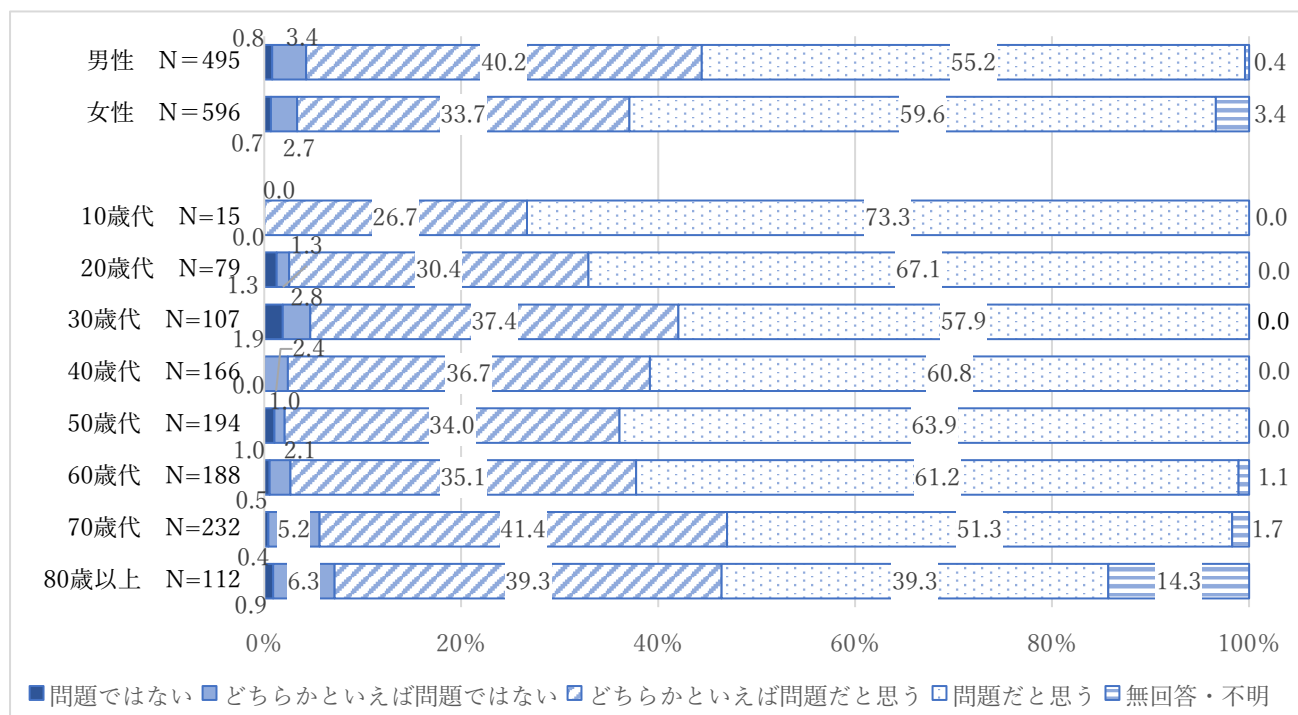
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ク. 差別的な言動をされること」が95.6%（前回 94%）で最も高く、次いで「オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること」が94.4%（91.5%）であった。また、「問題でない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「ウ. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に気楽に参加できないこと」が最も高く、10.7%（前回 16%）であった。



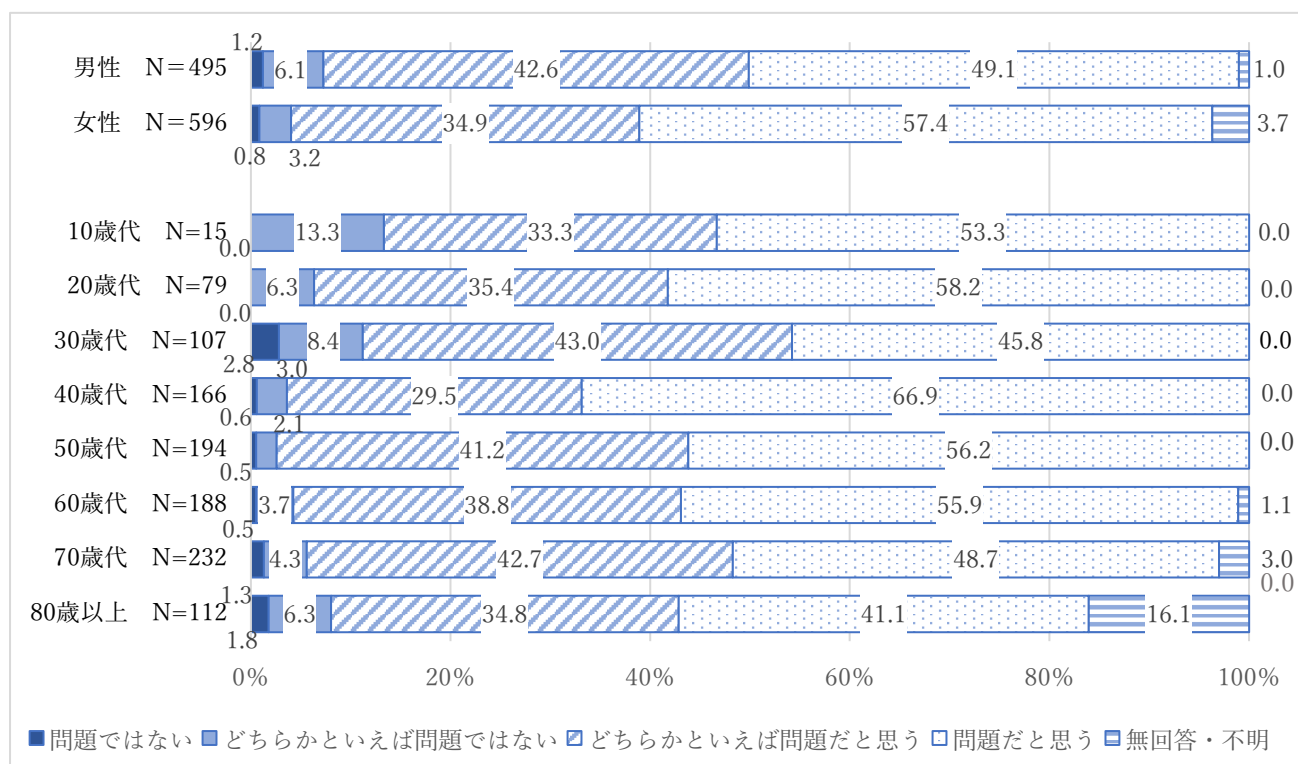
ア. 障がいのある人についての理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.4%（前回 88.6%）、女性 93.3%（前回 91.2%）となっている。年代別では、80歳以上（78.6%）を除く年齢層で 90%を超えている。



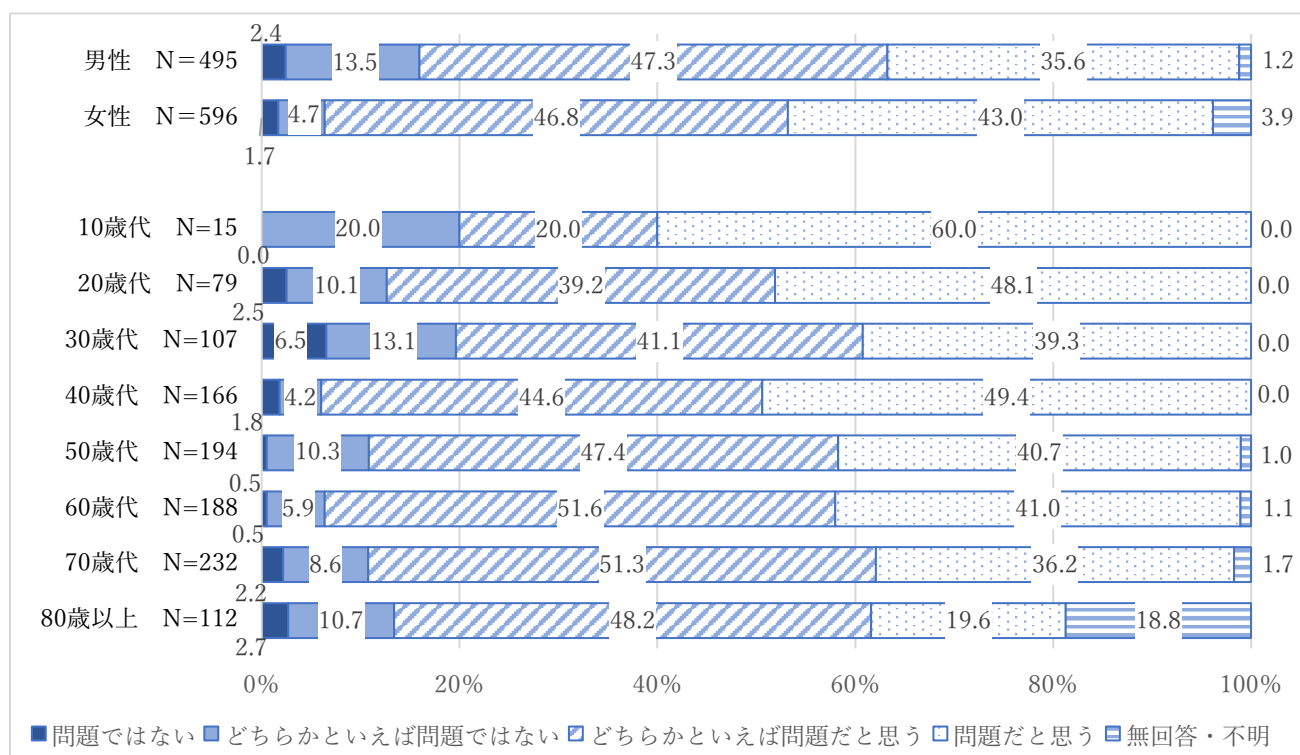
イ. 働く場所や機会が少なく、働く場での待遇が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 91.7%（前回 87.1%）、女性 92.3%（前回 91.9%）となっている。年代別では80歳以上（75.9%）を除く年齢層で 80%を超えており、50歳代が最も高く（97.4%）になっている。



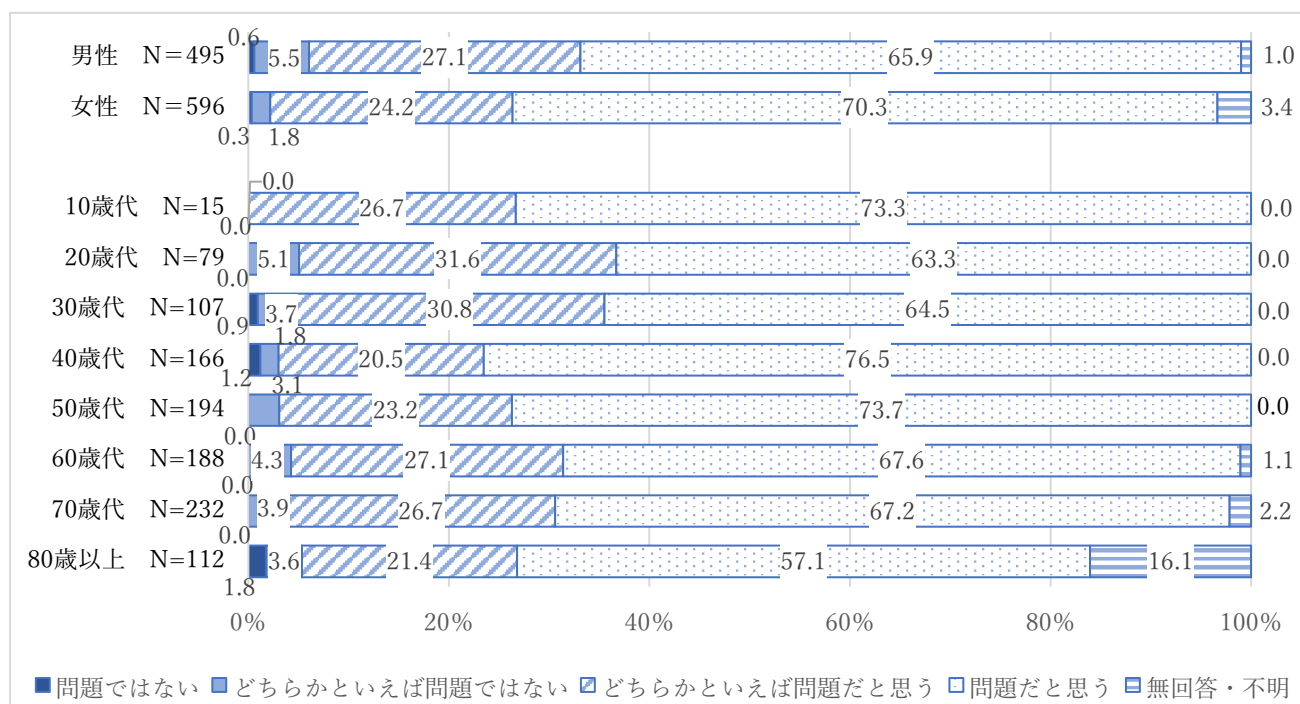
ウ. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に気軽に参加できないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.9% (前回 76.9%)、女性 89.8% (前回 86%) となっている。年代別では、80歳以上 (67.8%) を除く年齢層で 80% を超えている。



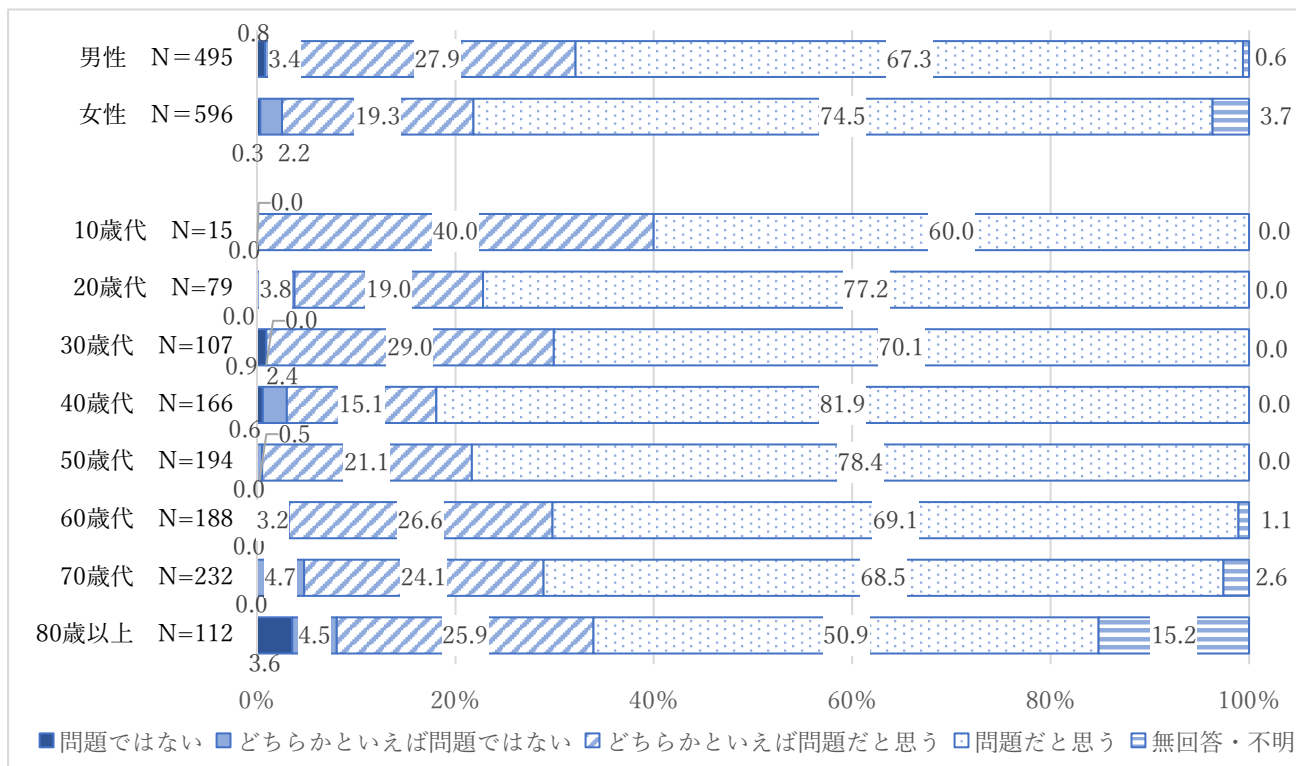
エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 93% (前回 84.2%)、女性 94.5% (前回 90.8%) となっている。年代別では、80歳以上 (78.5%) を除く年齢層で 90% を超えている。



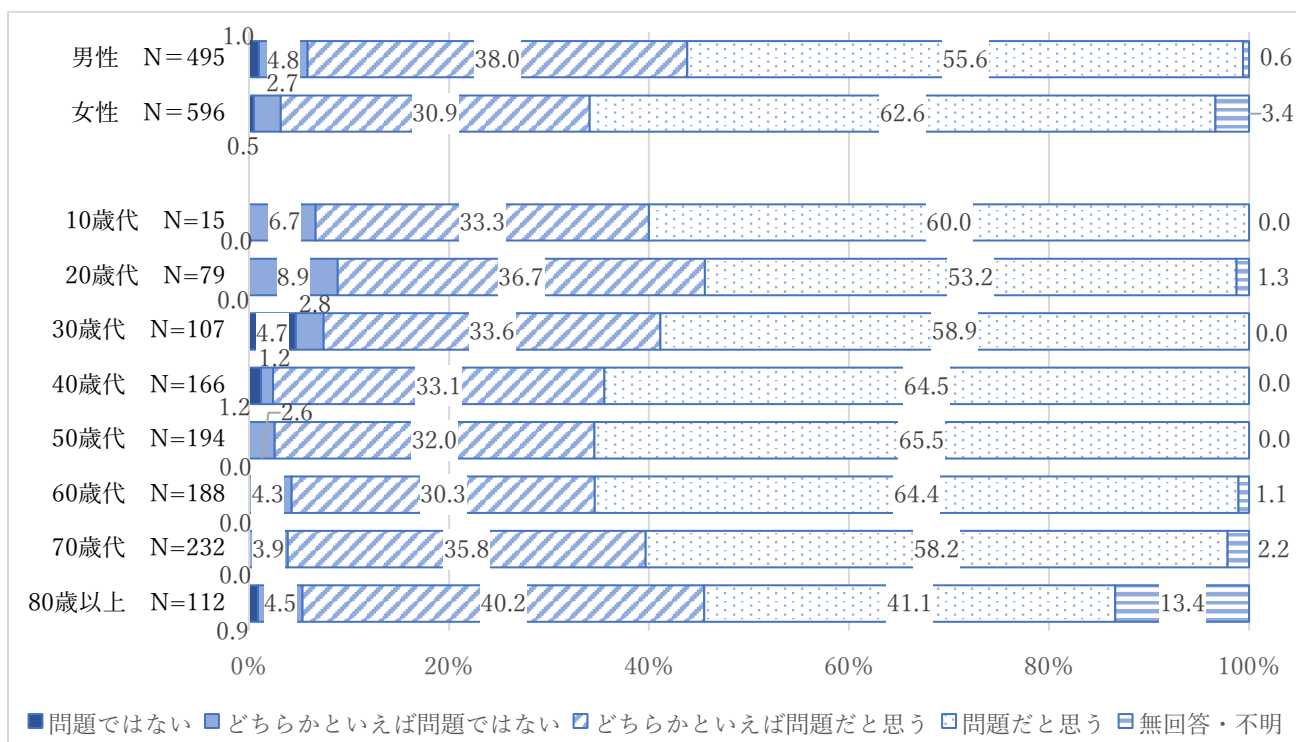
オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.2% (前回 89%)、女性 93.8% (前回 94.5%) となっている。年代別では、80歳以上 (76.8%) を除く年齢層で 90% を超えている。



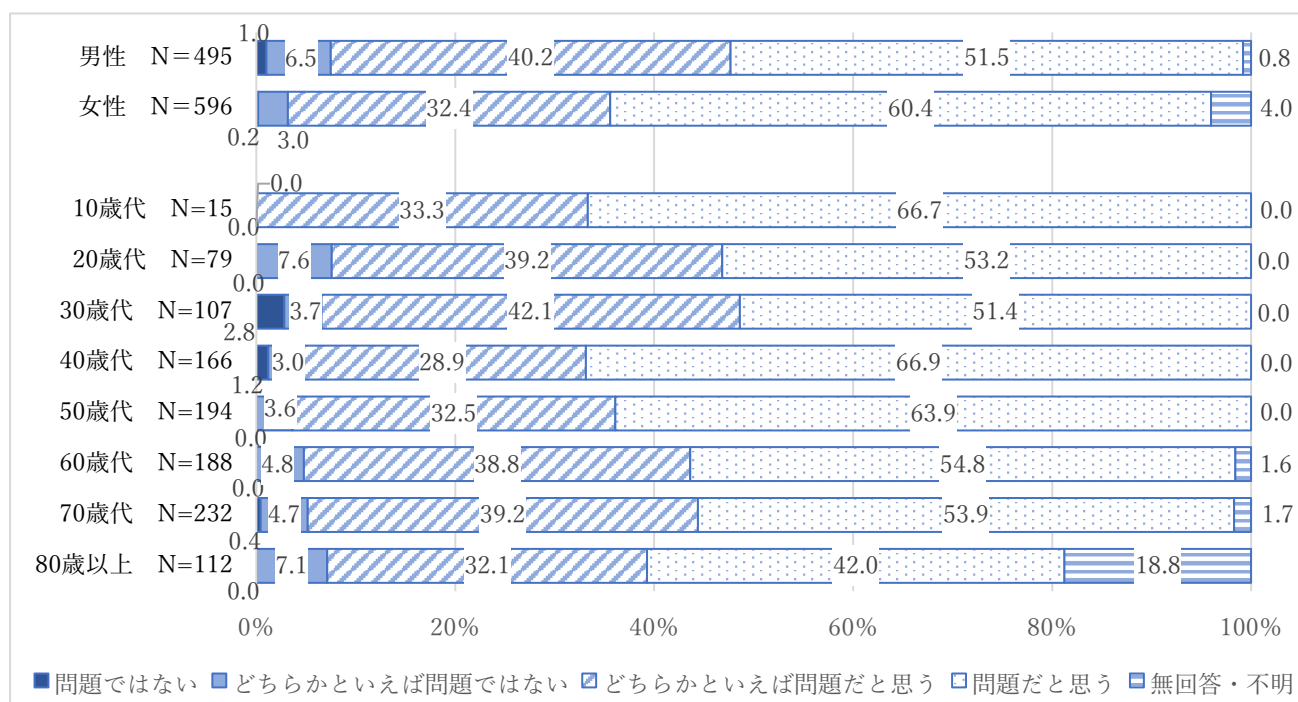
カ. 道路の段差など環境や建物、製品等が障がいのある人に使いやすくつくられていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 93.6% (前回 87.2%)、女性 93.5% (前回 95.2%) となっている。年代別では、全年齢層で 80% を超えている。



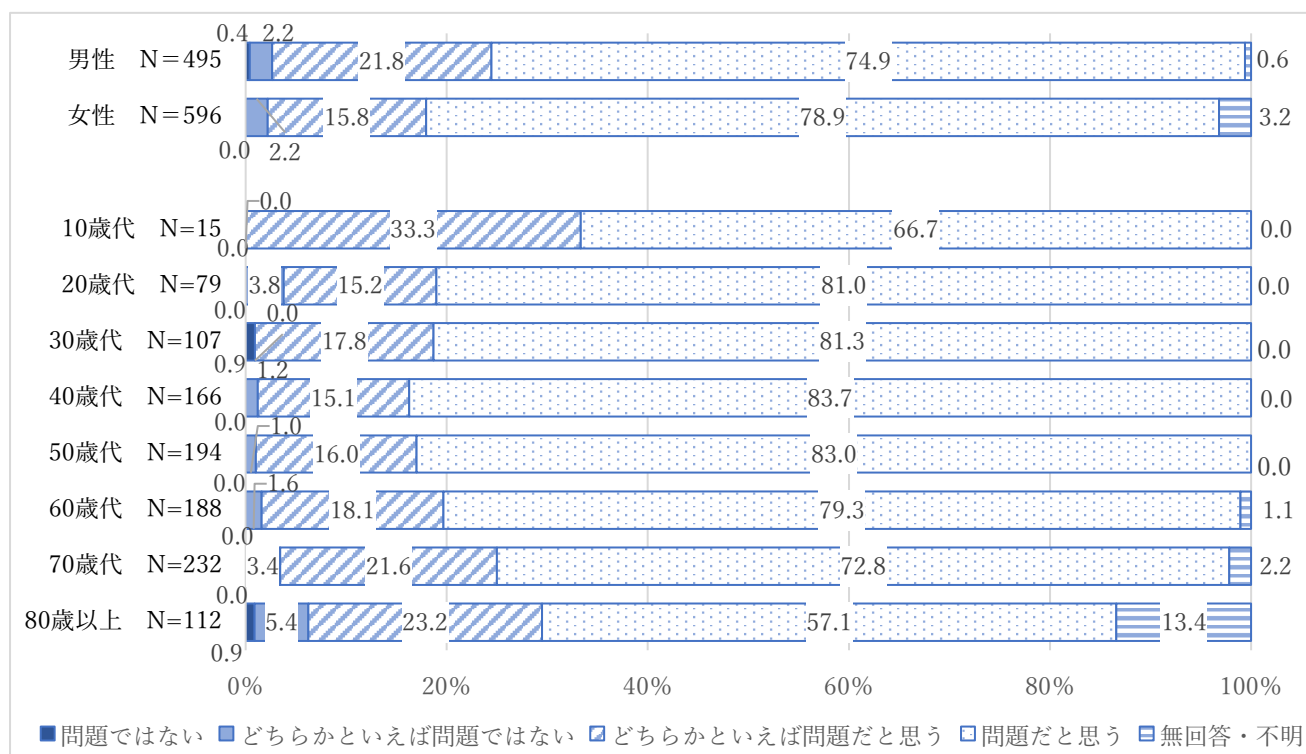
キ. 必要な情報を障がいのある人に分かりやすく伝える配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 91.7% (前回 87%)、女性 92.8% (前回 95.2%) となっている。年代別では、80歳以上 (74.1%) を除く年齢層で 90% を超えている。



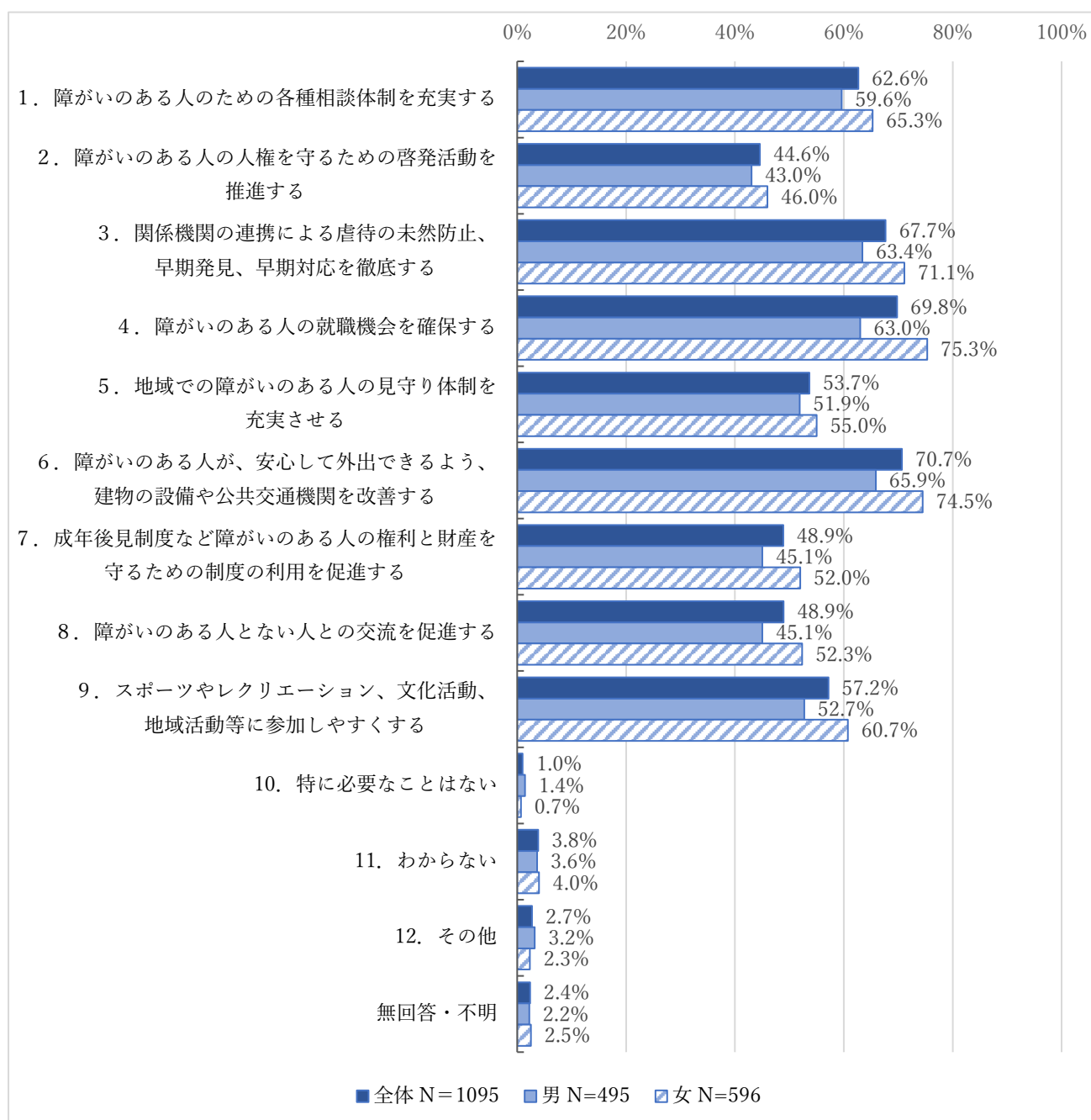
ク. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.7% (前回 92.6%)、女性 94.7% (前回 96.1%) となっている。年代別では、80歳以上 (80.3%) を除く年齢層で 90% を超えている。



問16 障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまる番号をすべて記入してください。

「6. 障がいのある人が、安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する」が70.7%（前回73.3%）と最も高く、次いで「4. 障がいのある人の就職機会を確保する」が69.8%（前回75%）、次いで「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が67.7%（前回71.8%）となっている。



単位：％

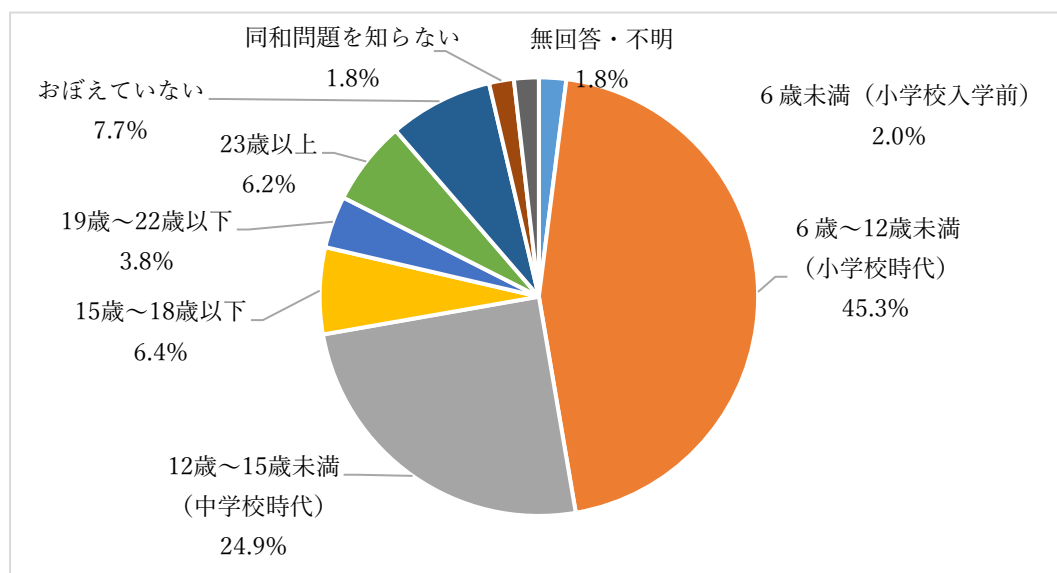
区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 障がいのある人のための各種 相談体制を充実する	40.0	43.0	55.1	60.2	64.9	64.9	71.1	65.2
2. 障がいのある人の人権を守る ための啓発活動を推進する	26.7	35.4	36.4	39.2	41.2	45.7	55.6	50.0
3. 関係機関の連携による虐待の 未然防止、早期発見、早期対 応を徹底する	73.3	62.0	53.3	62.7	71.6	70.7	76.7	61.6
4. 障がいのある人の就職機会を 確保する	73.3	64.6	68.2	68.1	73.2	77.7	69.4	58.9
5. 地域での障がいのある人の見 守り体制を充実させる	26.7	30.4	48.6	47.0	58.8	60.1	60.3	55.4
6. 障がいのある人が、安心して 外出できるよう、建物の設備や 公共交通機関を改善する	80.0	65.8	66.4	69.3	74.7	70.2	75.9	61.6
7. 成年後見制度など障がいのある 人の権利と財産を守るため の制度の利用を促進する	53.3	39.2	41.1	44.0	55.2	49.5	52.6	50.0
8. 障がいのある人となない人との 交流を促進する	33.3	39.2	50.5	49.4	53.1	48.4	48.3	50.9
9. スポーツやレクリエーション、文 化活動、地域活動等に参加し やすくする	40.0	57.0	51.4	54.2	60.3	56.9	62.1	53.6
10. 特に必要なことはない	6.7	3.8	2.8	1.2	0.0	0.5	0.0	0.9
11. わからない	0.0	6.3	5.6	6.0	1.5	1.1	3.9	6.3
12. その他	0.0	3.8	4.7	4.8	2.6	3.2	0.9	0.9
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.0	0.5	1.6	3.0	10.7

部落差別（同和問題）について

問17 部落差別（同和問題）をいつ頃知りましたか。

次の1～8の中から、あてはまる番号を記入してください。

「6歳～12歳未満（小学校時代）」が最も多く、45.3%（前回 45.7%）となっており、次いで「12歳～15歳未満（中学校時代）」が24.9%（前回 23.4%）となっている。



単位：%

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1.6歳未満 （小学校入学前）	0.0	2.5	0.9	0.0	1.5	2.7	3.0	3.6
2.6歳～12歳未満 （小学校時代）	26.7	40.5	40.2	62.0	58.8	46.3	32.8	32.1
3.12歳～15歳未満 （中学校時代）	53.3	24.1	22.4	18.7	20.6	27.7	31.5	23.2
4.15歳～18歳以下	20.0	5.1	3.7	3.6	5.7	7.4	8.6	6.3
5.19歳～22歳以下	0.0	6.3	1.9	2.4	4.6	2.7	5.2	4.5
6.23歳以上	0.0	5.1	8.4	3.6	3.6	6.9	7.8	9.8
7.おぼえていない	0.0	6.3	15.9	8.4	4.6	2.7	9.5	10.7
8.同和問題を知らない	0.0	10.1	6.5	1.2	0.0	1.1	0.4	0.0
無回答・不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	2.7	1.3	9.8

問18 部落差別（同和問題）について、どのようにして知りましたか。

次の1～11の中から、あてはまる番号を回答用紙に記入してください。

10歳代では80%、20歳代から50歳代では、50%以上が「学校の授業で」となっており、60歳以上では「家族から」が30%を超えている。

単位：%

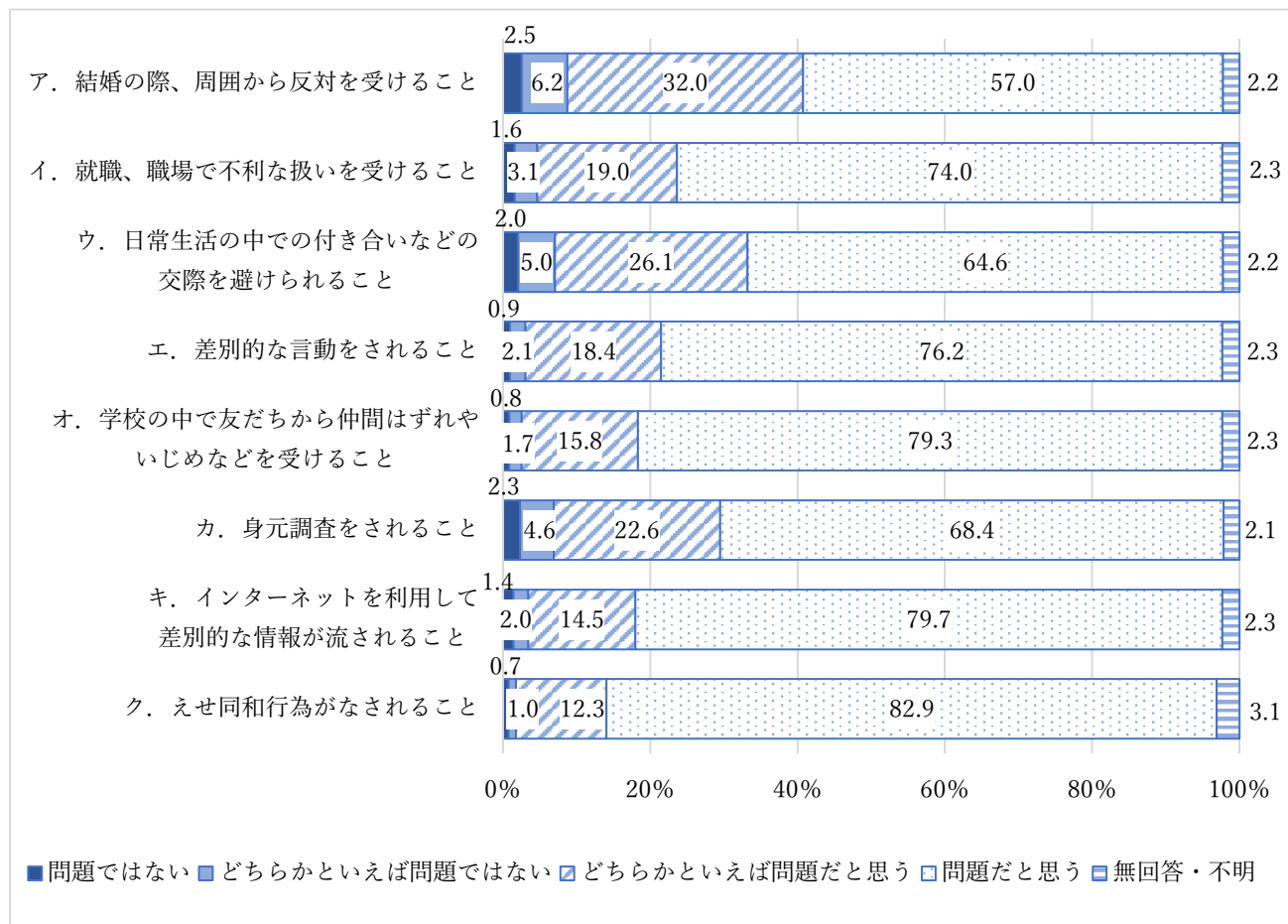
区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=71】	30歳代 【N=100】	40歳代 【N=164】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=186】	70歳代 【N=231】	80歳以上 【N=112】
1.家族・親戚から	6.7	25.4	21.0	25.0	23.7	34.9	37.7	32.1
2.友だちから	0.0	4.2	7.0	3.7	5.2	7.5	11.7	8.0
3.近所の人から	0.0	0.0	2.0	0.6	1.0	1.6	4.3	3.6
4.学校の授業で	80.0	57.7	50.0	59.1	56.7	35.5	12.6	8.9
5.職場の同僚などから	0.0	0.0	1.0	0.0	1.5	2.2	3.5	2.7
6.講演会・研修会などで	0.0	0.0	3.0	3.0	1.0	4.3	6.5	6.3
7.行政の広報紙で	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.5	1.7	2.7
8.テレビ・新聞・本などで	0.0	2.8	4.0	2.4	0.5	2.7	2.6	2.7
9.インターネット・SNSなどで	0.0	1.4	2.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
10.おぼえていない	13.3	4.2	8.0	4.9	7.7	5.9	13.4	17.9
11.その他	0.0	0.0	2.0	0.0	1.0	1.1	1.3	0.9
無回答・不明	0.0	2.8	0.0	0.6	1.5	3.8	4.8	14.3

問19 部落差別（同和問題）に関する次のア～クのことがらについて、どう思いますか。

1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ク. えせ同和行為がなされること」が95.2%（前回 93.9%）と最も高く、次いで「オ. 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめを受けること」が95.1%（前回 93.3%）、次いで「エ. 差別的な言動をされること」が94.6%（前回 92.1%）であった。

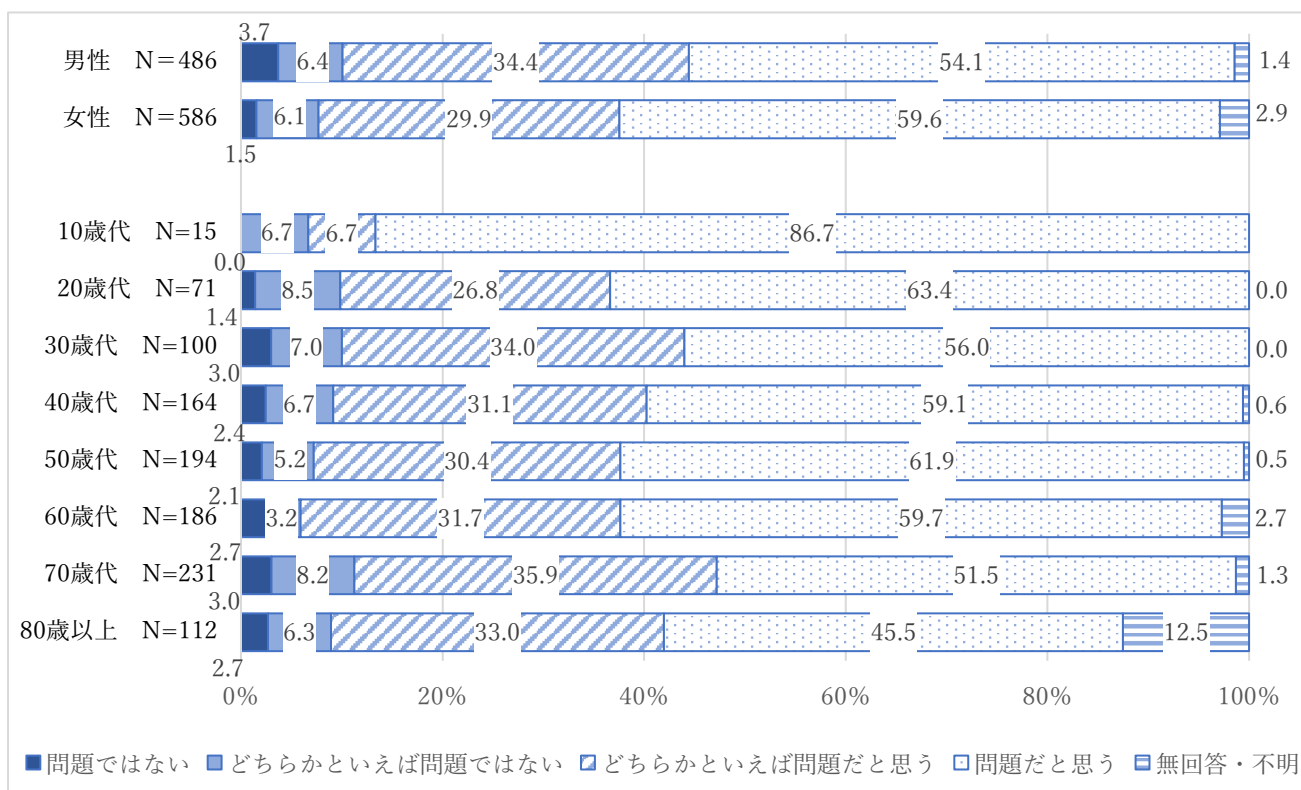
また、「問題でない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「ア. 結婚の際、周囲から反対を受ける」が最も高く、8.7%（前回 13.1%）であった。



※同和、部落を名乗る個人あるいは団体が、企業団体や官公署等に対し同和問題への取り組みなどを口実として、不当な要求をする行為。

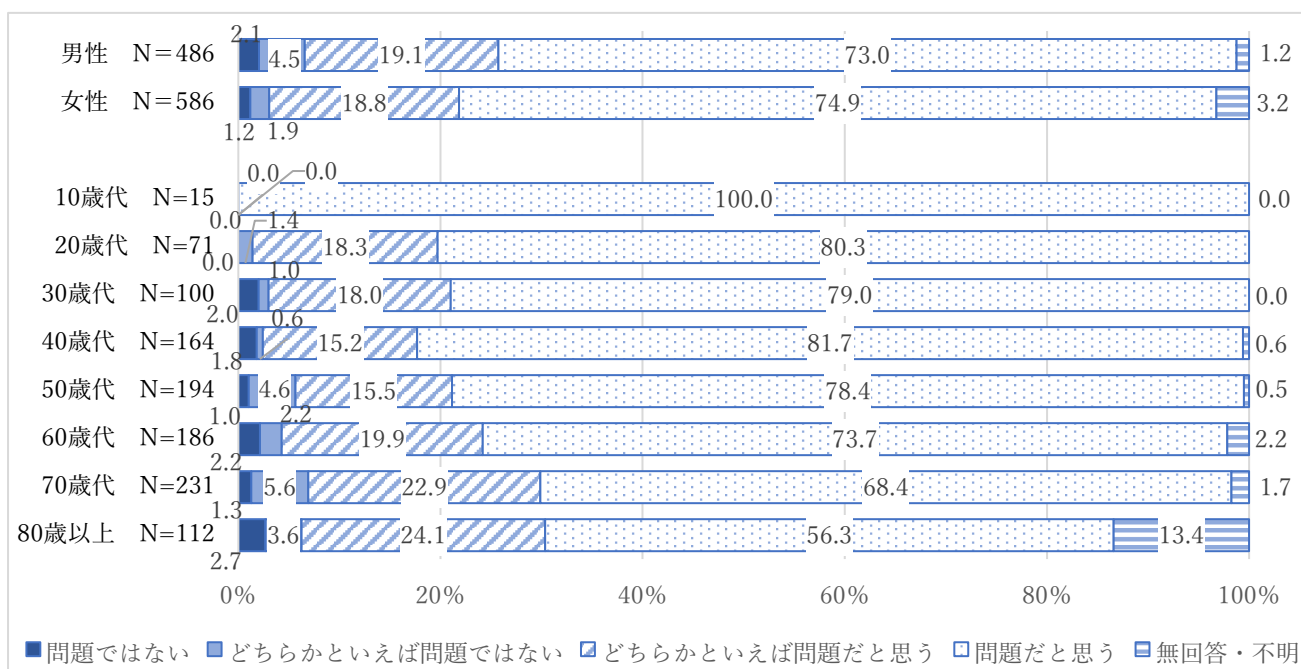
ア. 結婚の際、周囲から反対を受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 88.5%（前回 84.7%）、女性 89.5%（前回 86%）となっている。年代別では 70 歳代で 87.4%、80 歳以上で 78.5%、それ以外の年齢層では 90%以上となっている。



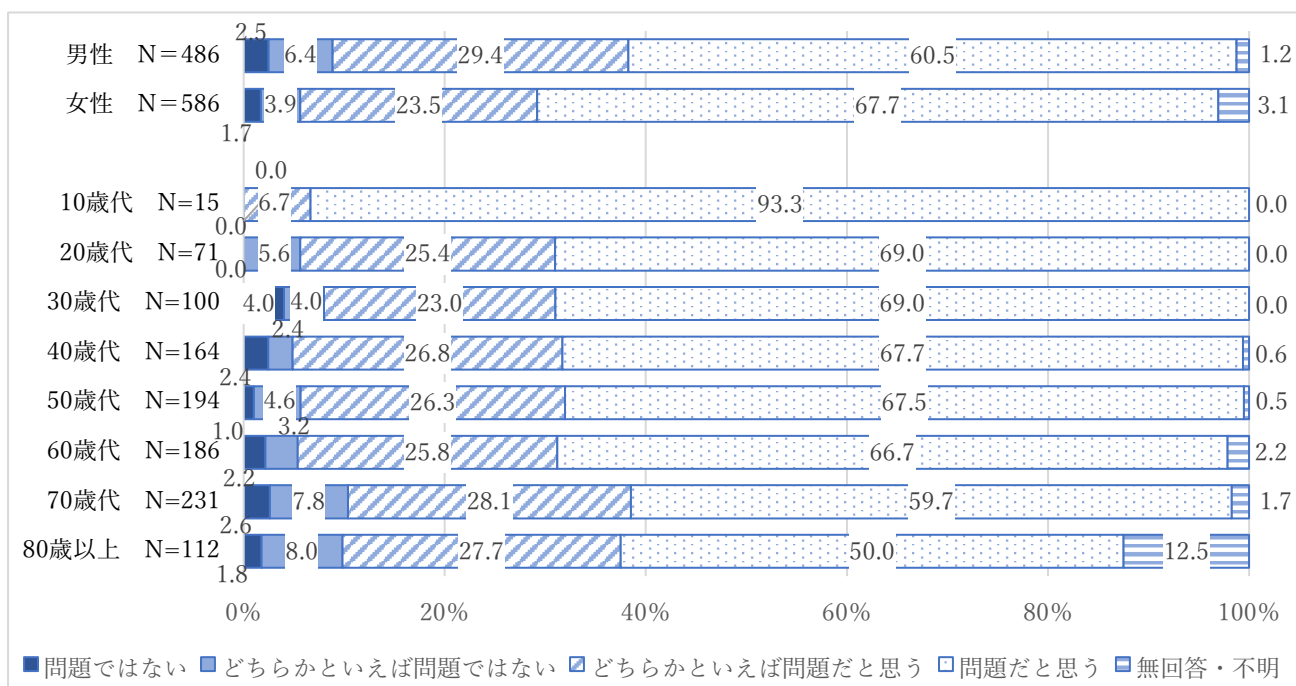
イ. 就職、職場で不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 92.1%（前回 89.7%）、女性 93.7%（前回 93%）となっている。年代別では、80 歳以上（80.4%）を除く年齢層で 90%を超えている。



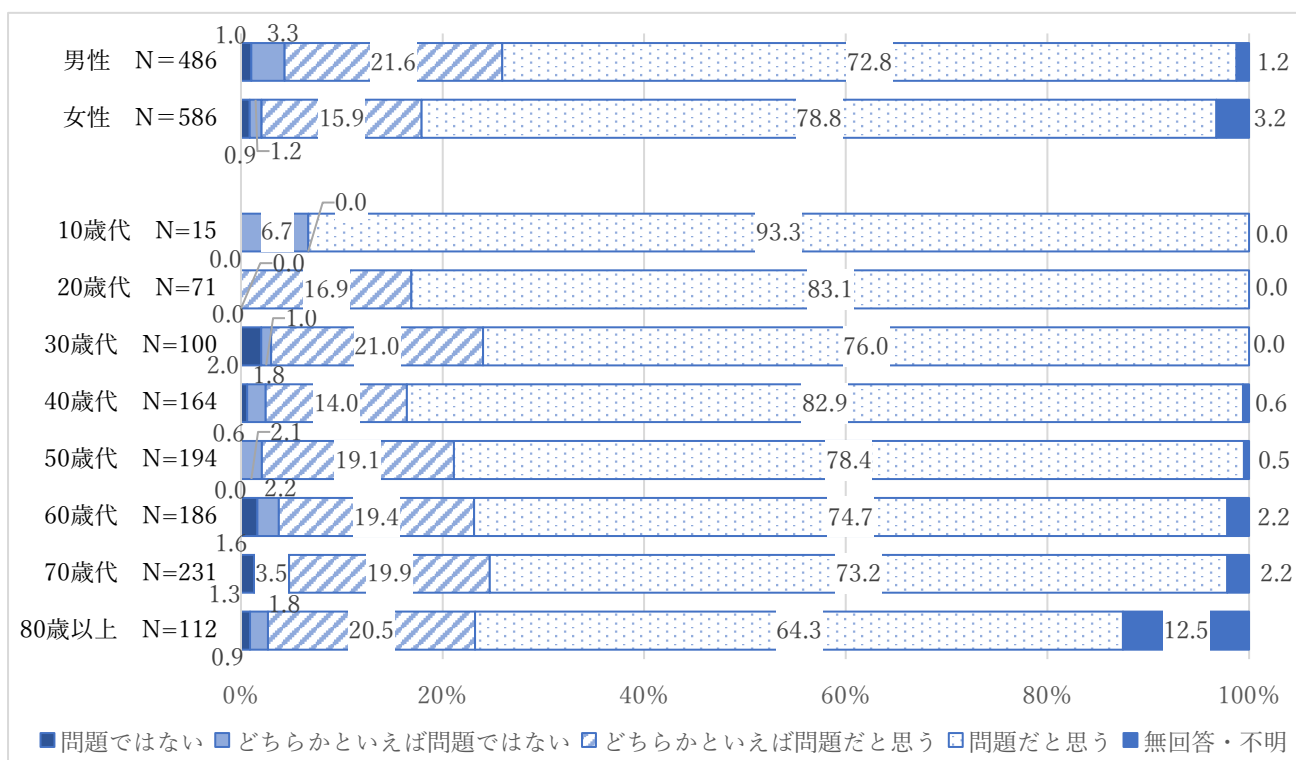
ウ. 日常生活の中での付き合いなどの交際を避けられること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89.9%（前回 85.7%）、女性 91.2%（前回 91.5%）となっている。年代別では、70 歳代で 87.8%、80 歳以上で 77.7%となっており、60 歳代以下では 90%を超えている。



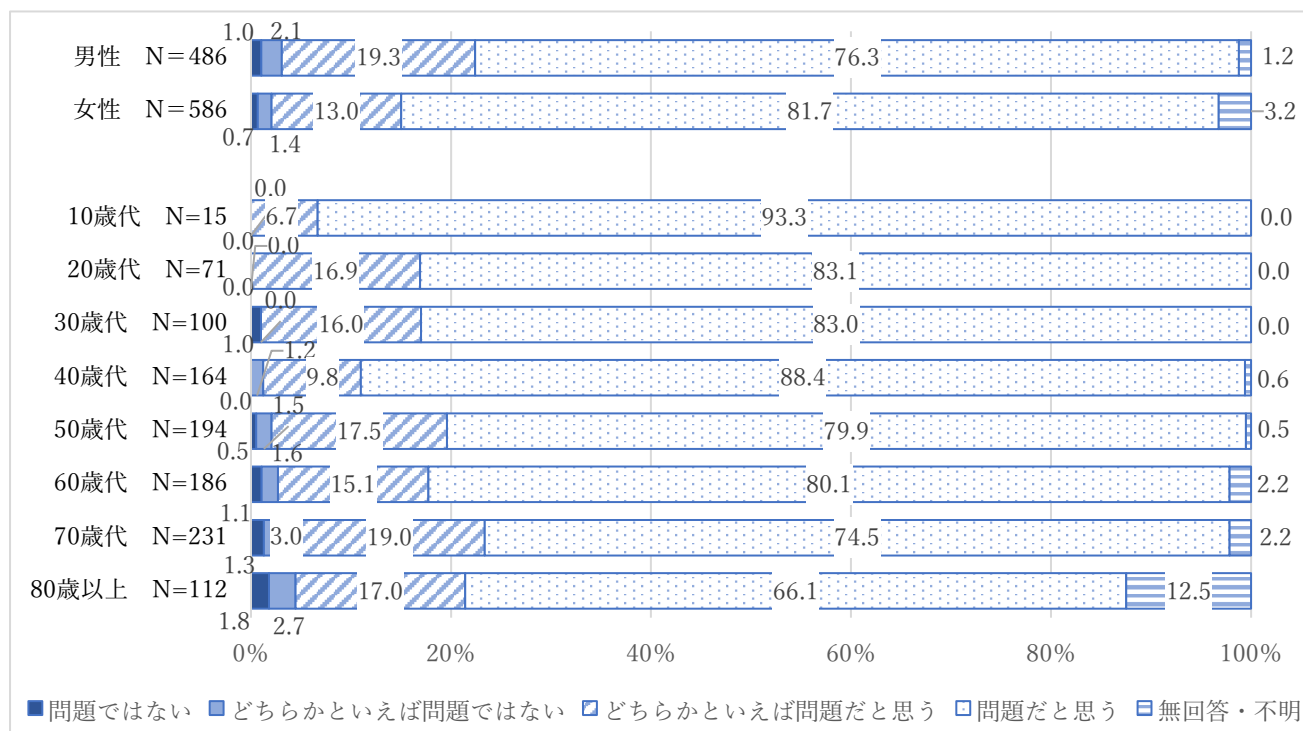
エ. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 94.4%（前回 90.6%）、女性 94.7%（前回 94.3%）となっている。年代別では、80 歳以上（84.8%）を除く年齢層で 90%を超えている。



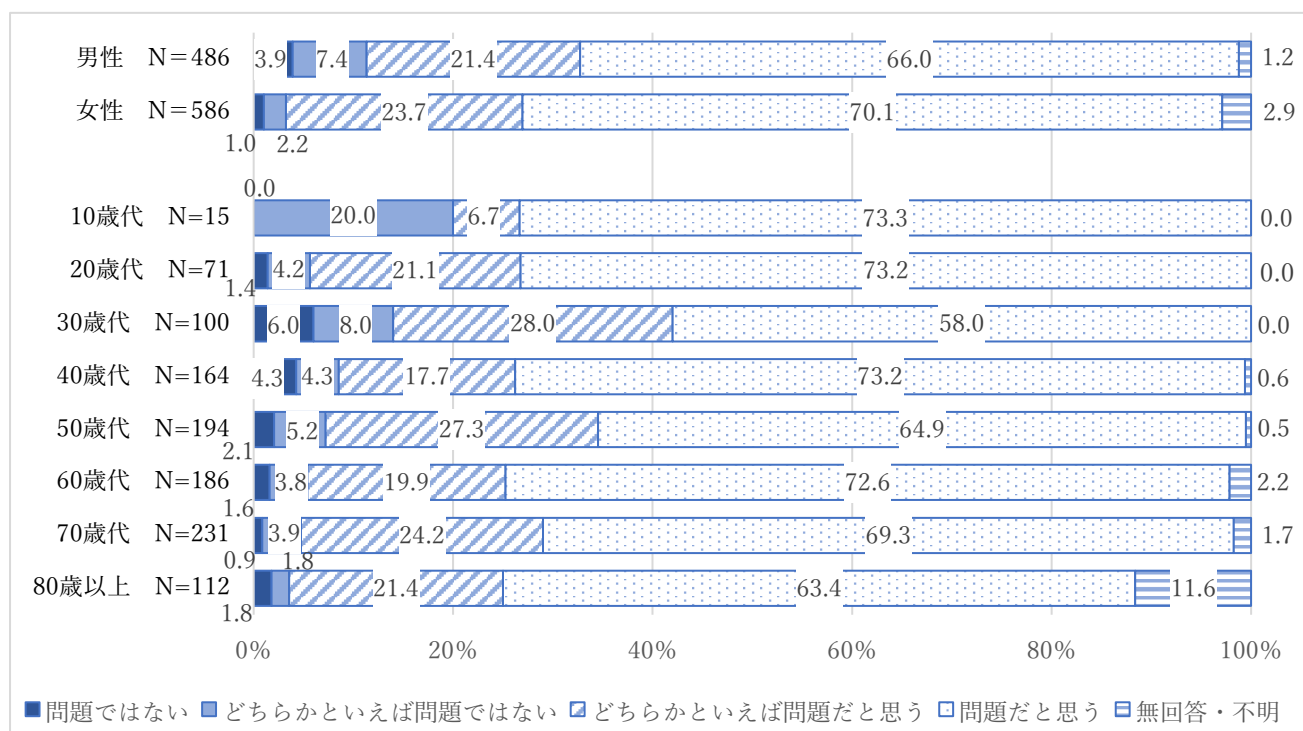
オ. 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.6% (前回 92%)、女性 94.7% (前回 95.2%) となっている。80歳以上 (83.1%) を除く年齢層で 90% を超えている。



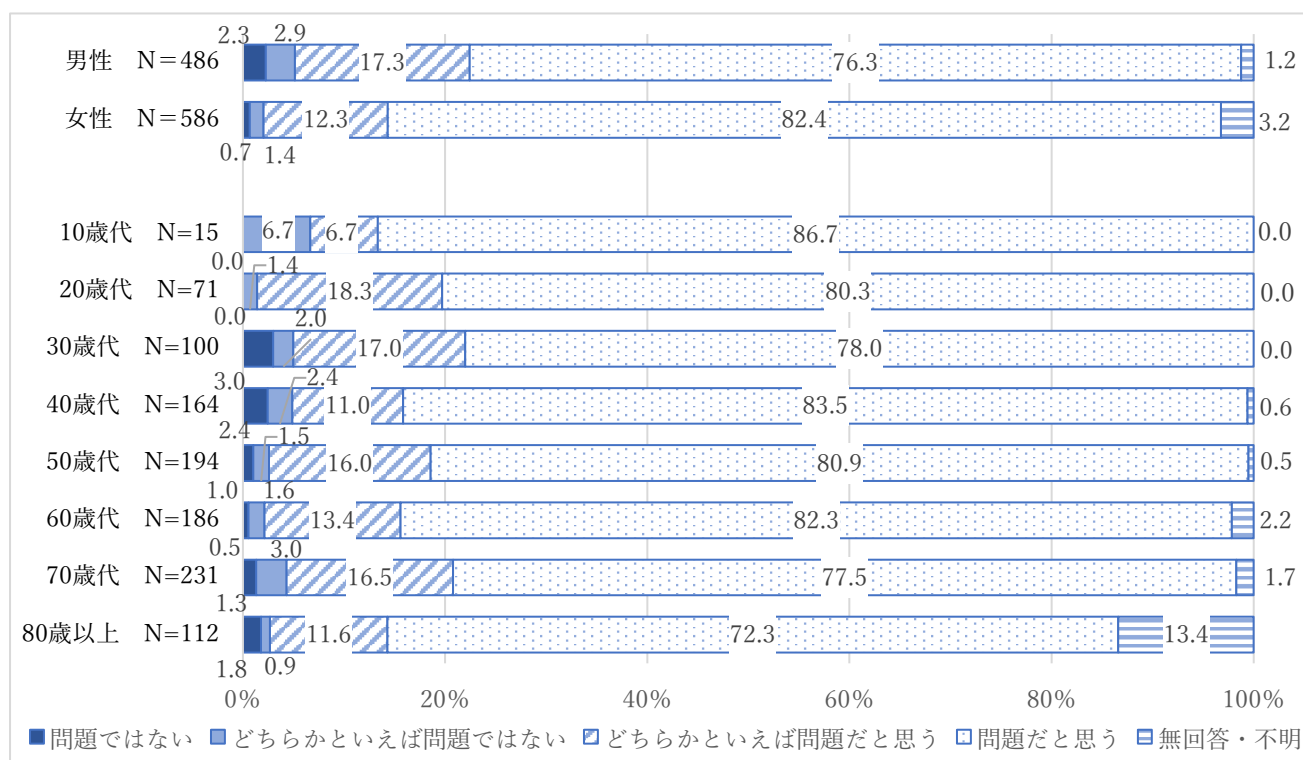
カ. 身元調査をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87.4% (前回 87.2%)、女性 93.8% (前回 93.5%) となっている。年代別では、10歳代 (80%)、30歳代 (86%)、80歳以上 (84.8%) が 80% 代であり、それ以外の年齢層は 90% を超えている。



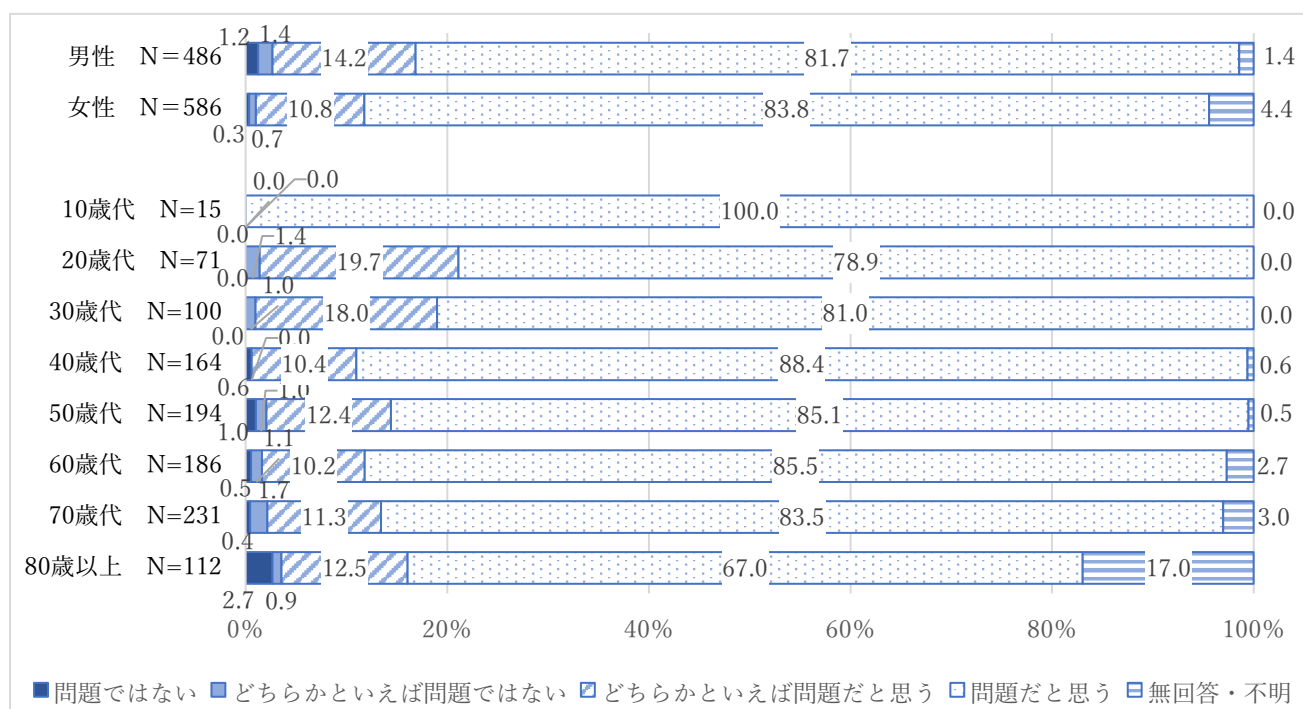
キ. インターネットを利用して差別的な情報が流されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 93.6%（前回 89.7%）、女性 94.7%（前回 95.4%）となっている。年代別では、80歳以上（83.9%）を除く年齢層で 90%を超えている。



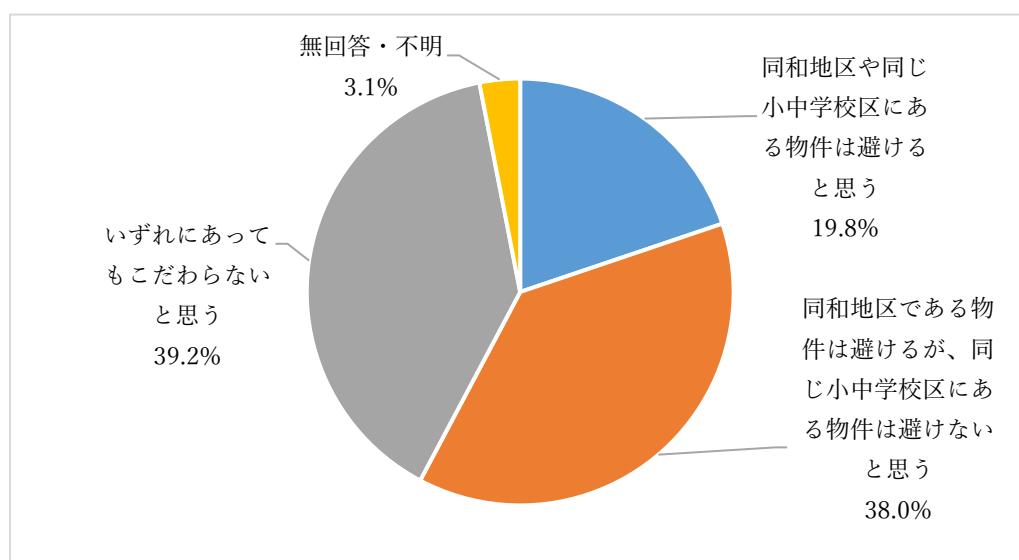
ク. えせ同和行為がなされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.9%（前回 93.3%）、女性 94.6%（前回 95.1%）となっている。年代別では、80歳以上（79.5%）を除く年齢層で 90%を超えている。

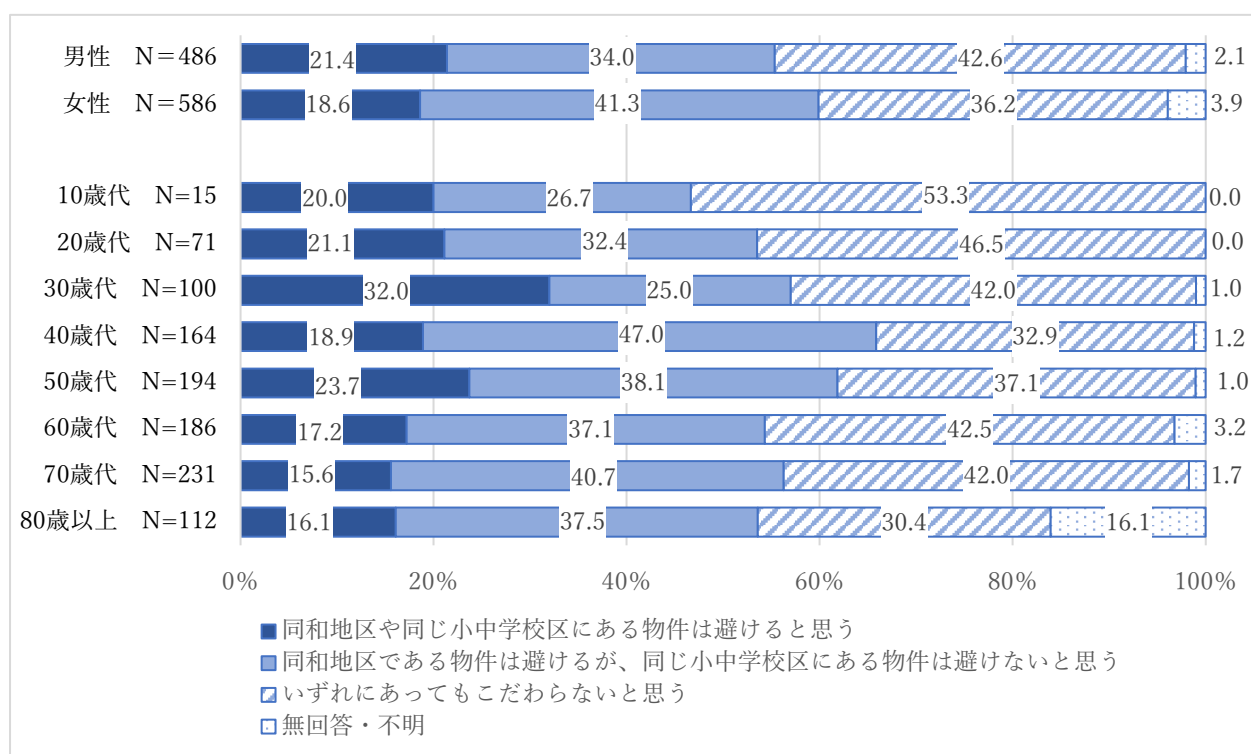


問 20 もし、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区にある物件、または小・中学校区内に同和地区がある物件ならばどうだと思いますか。
次の1～3の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1.同和地区や同じ小中学校区にある物件は避けると思う」「2. 同和地区である物件は避けるが、同じ小中学校区にある物件は避けないと思う」を合わせた、「同和地区を避ける」との回答は 57.8%（前回58.9%）であった。これに対し「3. いずれにあってもこだわらないと思う」は 39.2%（前回：38.6%）であった。

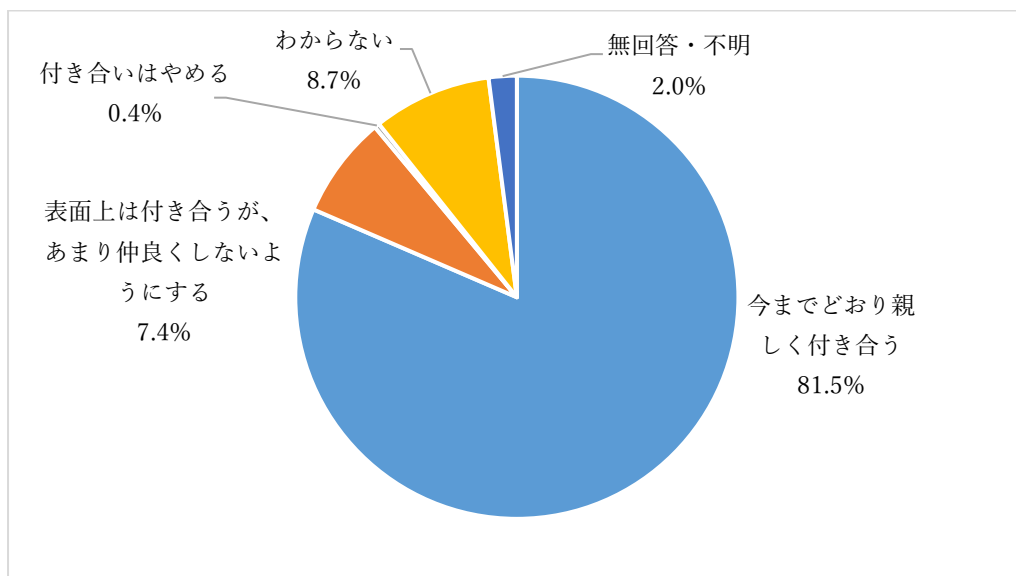


「いずれにあってもこだわらない」の回答率は、男性 42.6%（前回 42.3%）、女性 36.2%（前回 35.8%）となっている。年代別では、10 歳代が 53.3%と最も高く、40 歳代、50歳代、80歳以上で 40%を下回っている。

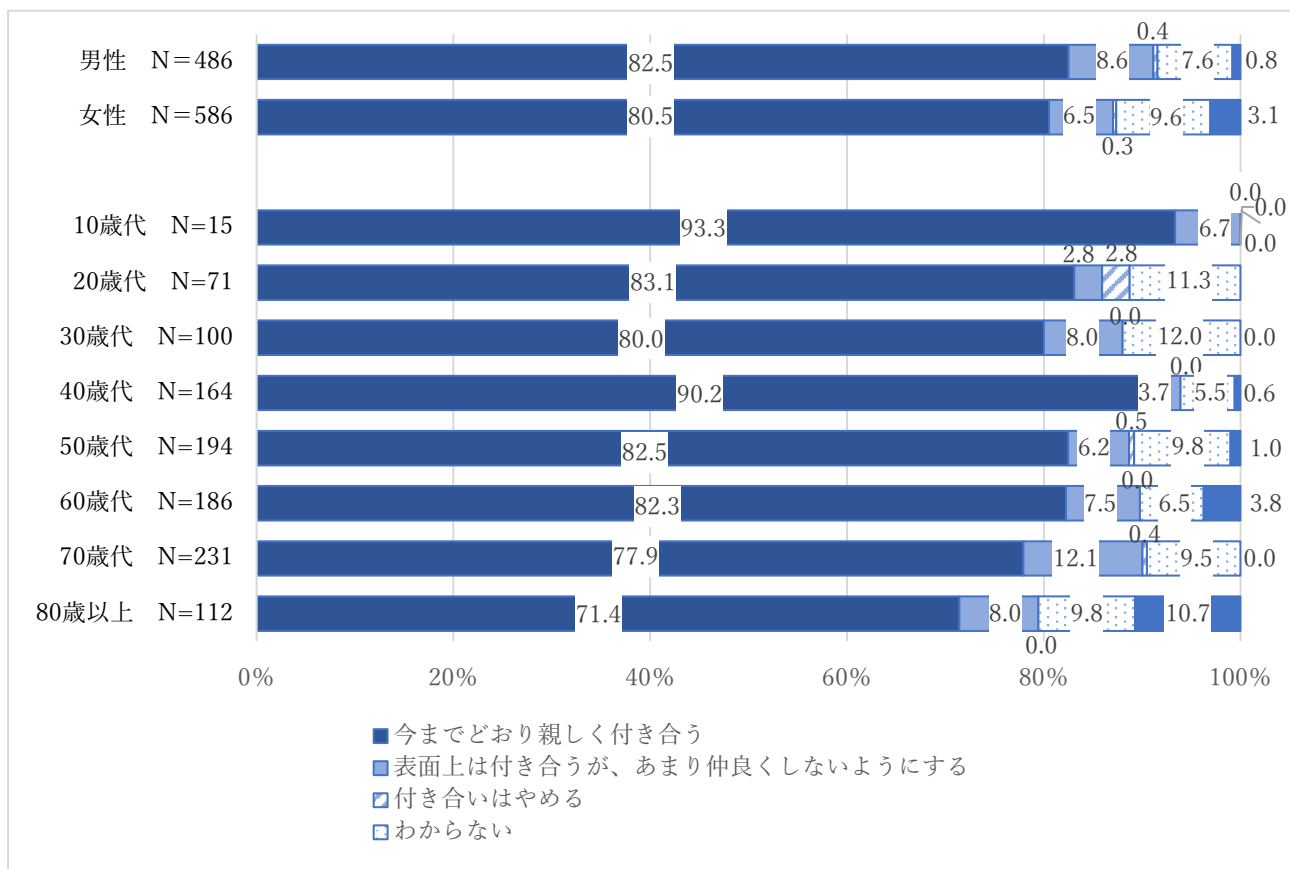


問 21 もし、あなたの親しい友人が同和地区出身であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。次の1～4の中から、あてはまる番号を記入してください。【新設】

「1.今までどおり親しく付き合う」が81.5%と最も多く、「2.表面上は付き合うが、あまり仲良くしないようにする」と「3.付き合いはやめる」を合わせた比率は7.8%であった。

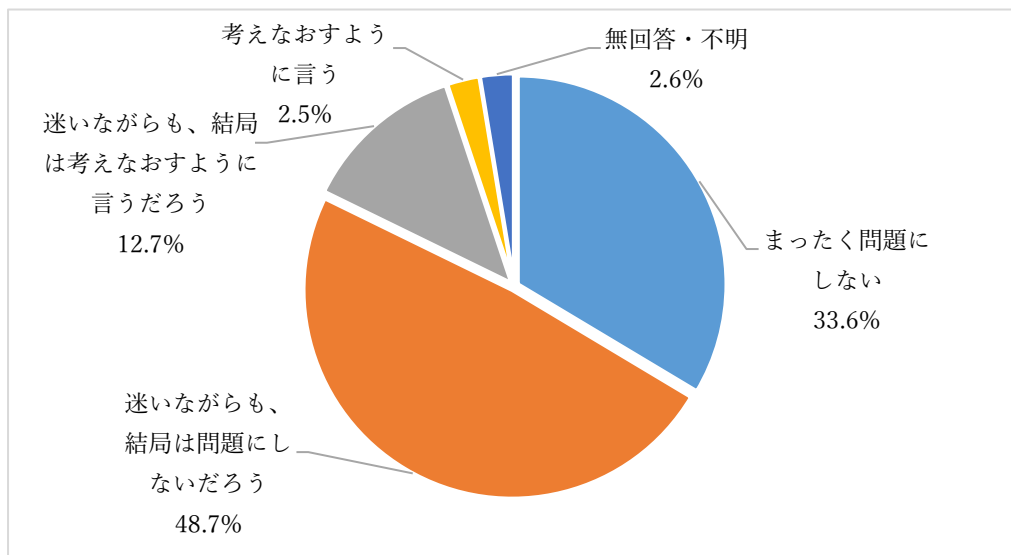


「今までどおり親しく付き合う」の回答率は、男女とも80%を超えている。年代別では、70歳以上は70%代、それ以外の年齢層では80%を超えている。

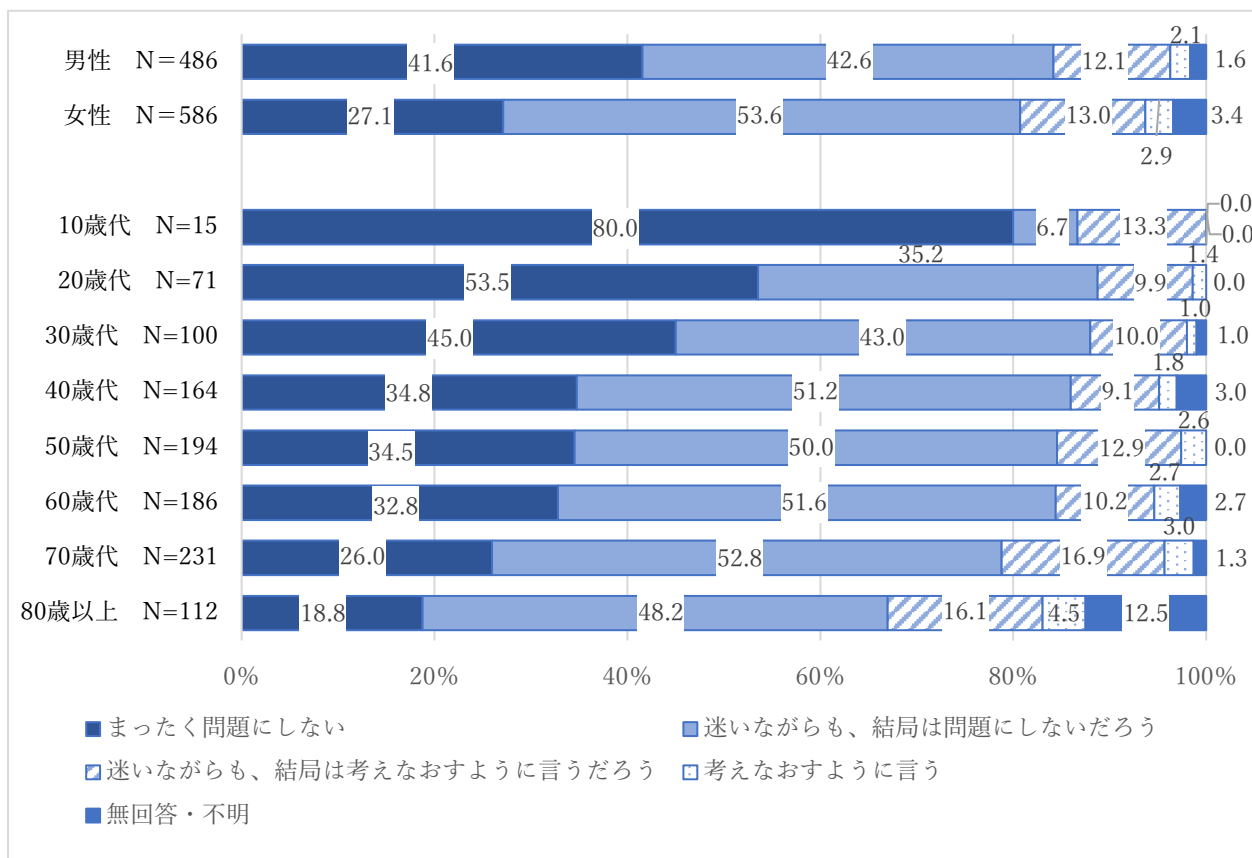


問 22 もし、あなたに子どもがおり、子どもの恋愛や結婚の相手が同和地区出身であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。次の1～4の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1. まったく問題にしない」「2. 迷いながらも結局は問題にしないだろう」を合わせた比率は 82.3 % (前回 79.0%)、「3. 迷いながらも結局は考え直すように言うだろう」「4. 考え直すように言う」を合わせた比率は 15.2% (前回 18.8%) であった。

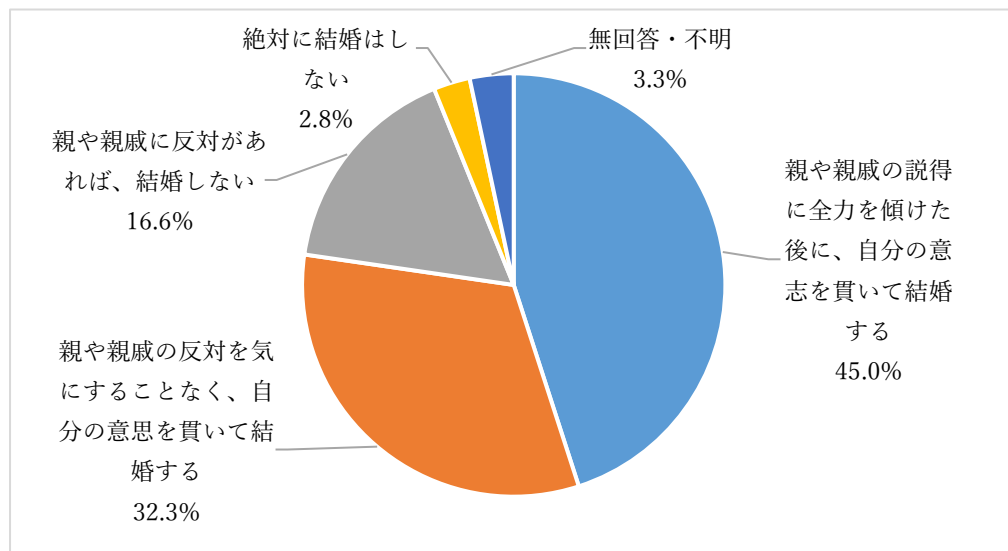


「まったく問題にしない」との回答率は、男性 41.6% (前回 34%)、女性 27.1% (前回 24.9%) となっている。年代別では、10 歳代が最も高く (80%)、年代が上がるにつれ低くなり、80 歳以上では最も低く (18.8%) になっている。

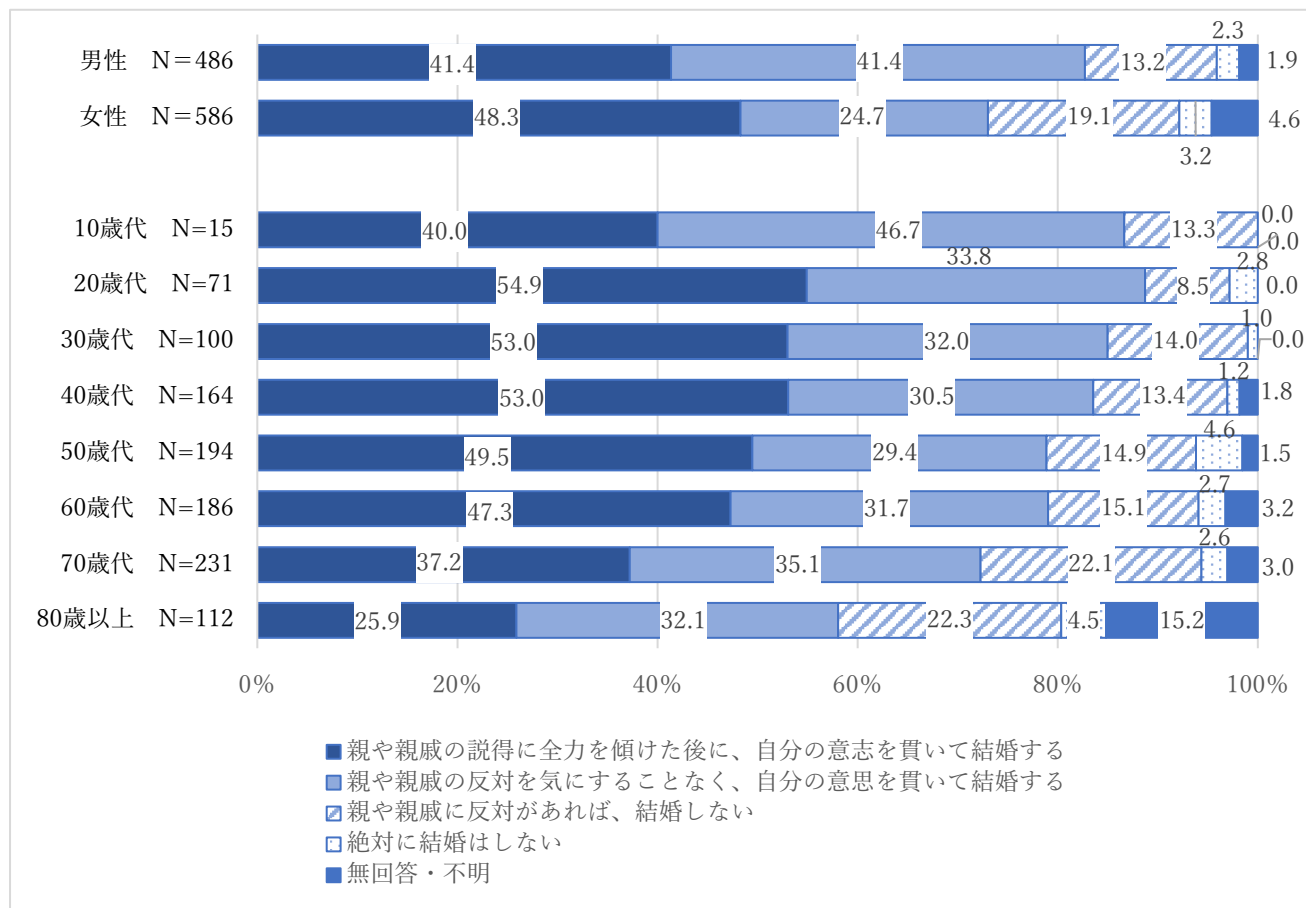


問 23 もし、あなたが同和地区の人と結婚しようとしたとき、親や親戚が反対をしたら、あなたは どう しますか。次の1～4の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1. 親や親戚の説得に全力を傾けた後に自分の意思を貫いて結婚する」「2. 親や親戚の反対を気にすることなく、自分の意思を貫いて結婚する」を合わせた比率は 77.3%(前回75.1%)、「3. 親や親戚に反対があれば結婚しない」「4. 絶対に結婚しない」を合わせた比率は 19.4%(前回21.7%)であった。



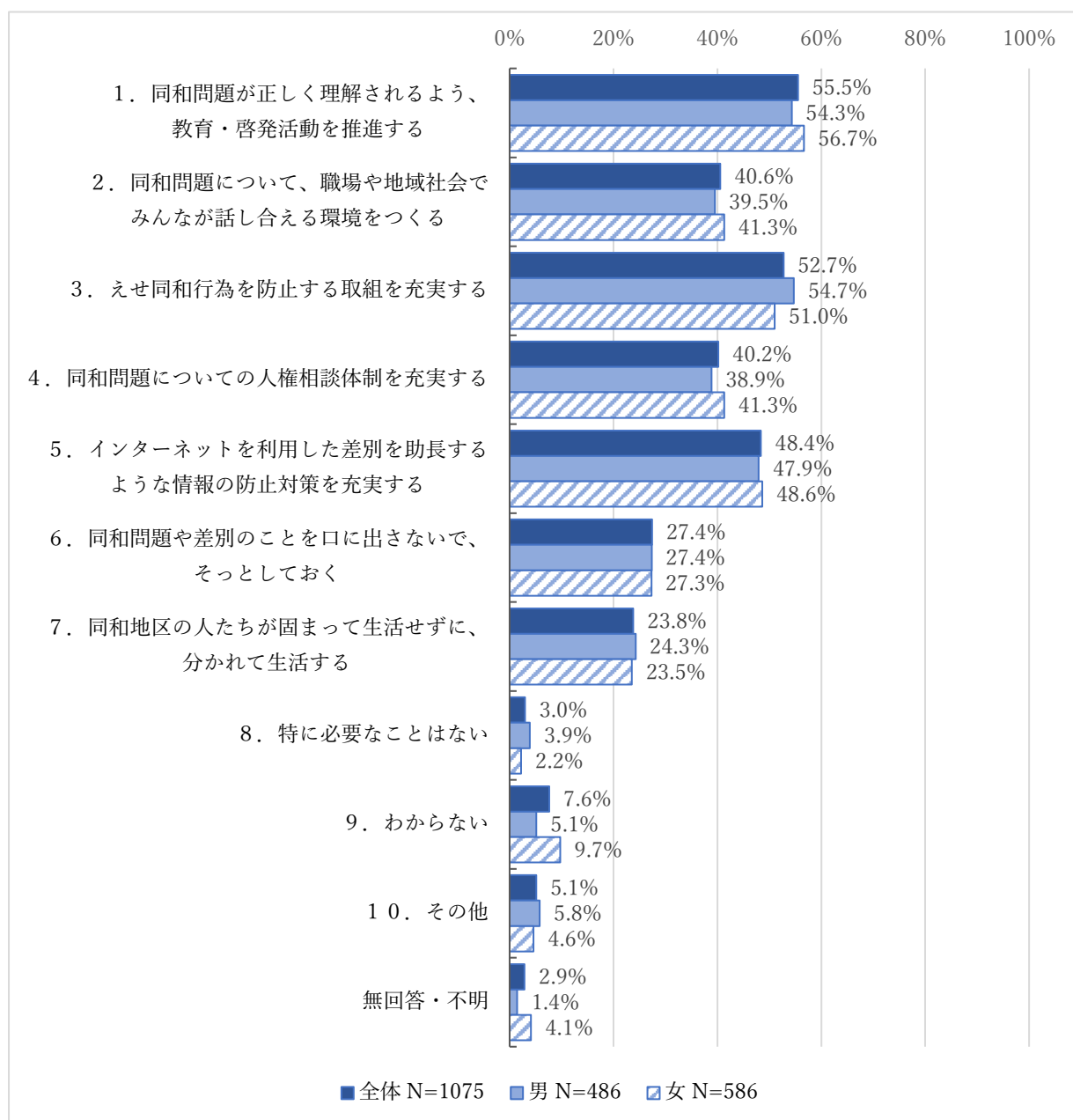
「反対があれば結婚しない」、「絶対に結婚しない」を合わせた回答率は、男性 15.5%(前回 17.2%)、女性 22.3%(前回 25.2%)となっている。年代別では、80 歳以上が最も高く(26.8%)、年齢が下がるにつれ低くなる傾向にある。



問 24 部落差別を解消するために、必要なことはどのようなことだと思いますか。
あてはまる番号をすべて記入してください。

同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動を推進する」が 55.5% (前回 62.5%) と最も高く、次いで「3. えせ同和行為を防止する取組みを充実する」が 52.7% (前回 55.6%)、次いで「5. インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が 48.4% (前回 51.9%) となっている。

また、「6. 同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく」「7. 同和地区の人たちが固まって生活せずに、分かれて生活する」といった回答率は 20% を超えている。



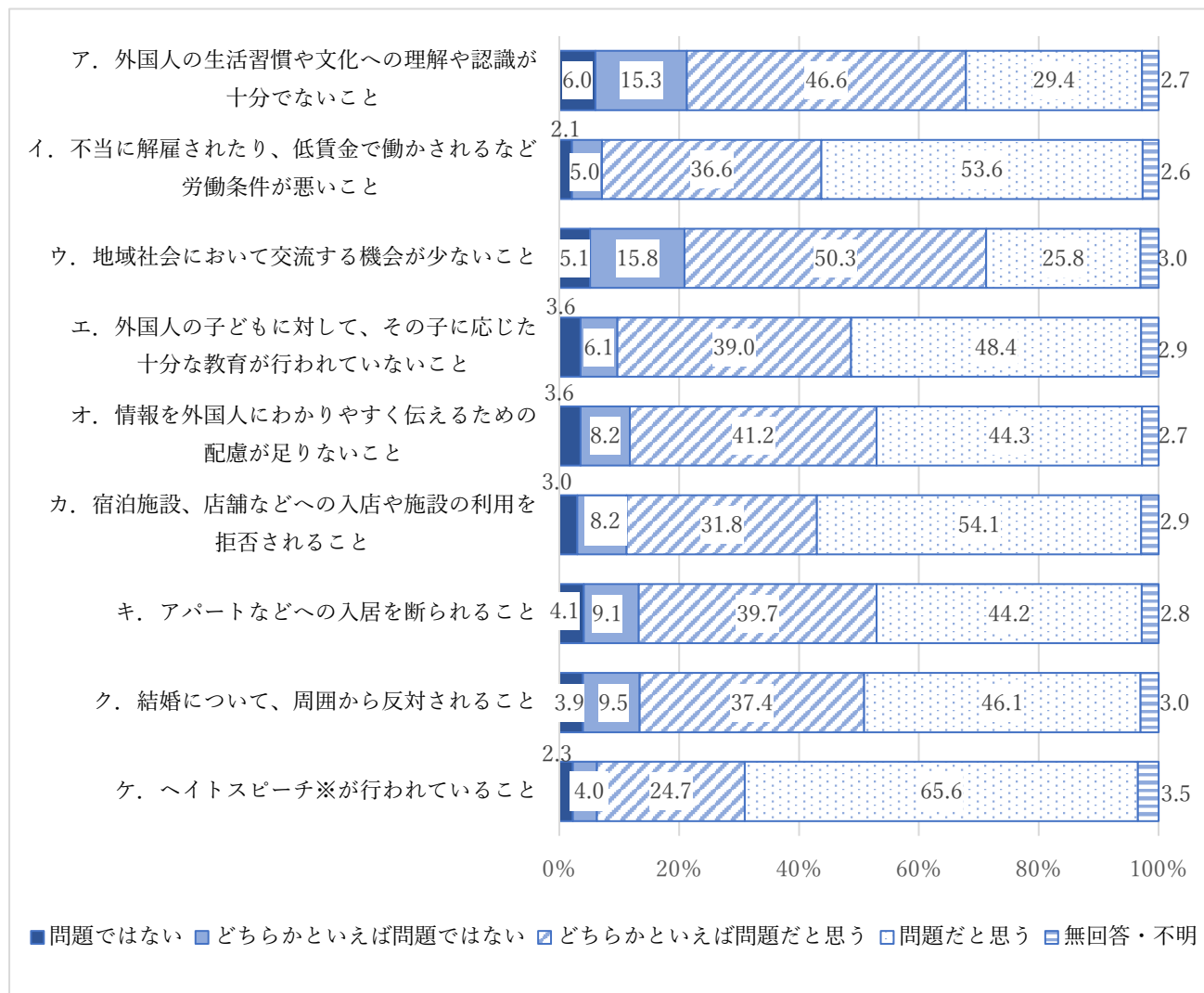
単位：％

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=71】	30歳代 【N=100】	40歳代 【N=164】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=186】	70歳代 【N=231】	80歳以上 【N=112】
1.同和問題が正しく理解される よう、教育・啓発活動を推進する	33.3	60.6	61.0	57.9	53.6	54.3	55.0	53.6
2.同和問題について、職場や地域社会でみんなが話し合える 環境をつくる	40.0	39.4	41.0	39.6	36.6	41.9	43.7	39.3
3.えせ同和行為を防止する取組 を充実する	60.0	52.1	48.0	51.2	64.9	57.5	48.9	37.5
4.同和問題についての人権相談 体制を充実する	33.3	35.2	39.0	40.9	42.3	38.7	41.6	40.2
5.インターネットを利用した差別 を助長するような情報の防止 対策を充実する	40.0	54.9	47.0	48.2	47.4	52.2	51.9	34.8
6.同和問題や差別のことを口に 出さないで、そっとしておく	40.0	29.6	39.0	29.9	26.3	23.1	22.9	28.6
7.同和地区の人たちが固まって 生活せずに、分かれて生活する	20.0	7.0	28.0	28.0	30.9	20.4	22.9	20.5
8.特に必要なことはない	6.7	1.4	4.0	2.4	3.1	2.7	3.5	2.7
9.わからない	0.0	8.5	9.0	6.7	6.7	7.5	8.2	8.9
10.その他	6.7	2.8	3.0	5.5	6.2	7.0	4.8	3.6
無回答・不明	0.0	2.8	0.0	1.2	0.0	2.2	3.0	14.3

外国人の人権について

問 25 日本に住んでいる外国人に関する次のア～ケのことがらについて、どう思いますか。
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ケ.ヘイトスピーチ※が行われていること」が90.3%（前回88.3%）で最も多く、次いで「イ.不当に解雇されたり、低賃金で働かされるなど労働条件が悪いこと※」90.2%、次いで「エ.外国人の子どもに対して、その子に応じた十分な教育が行われていないこと」が87.4%（86.6%）であった。

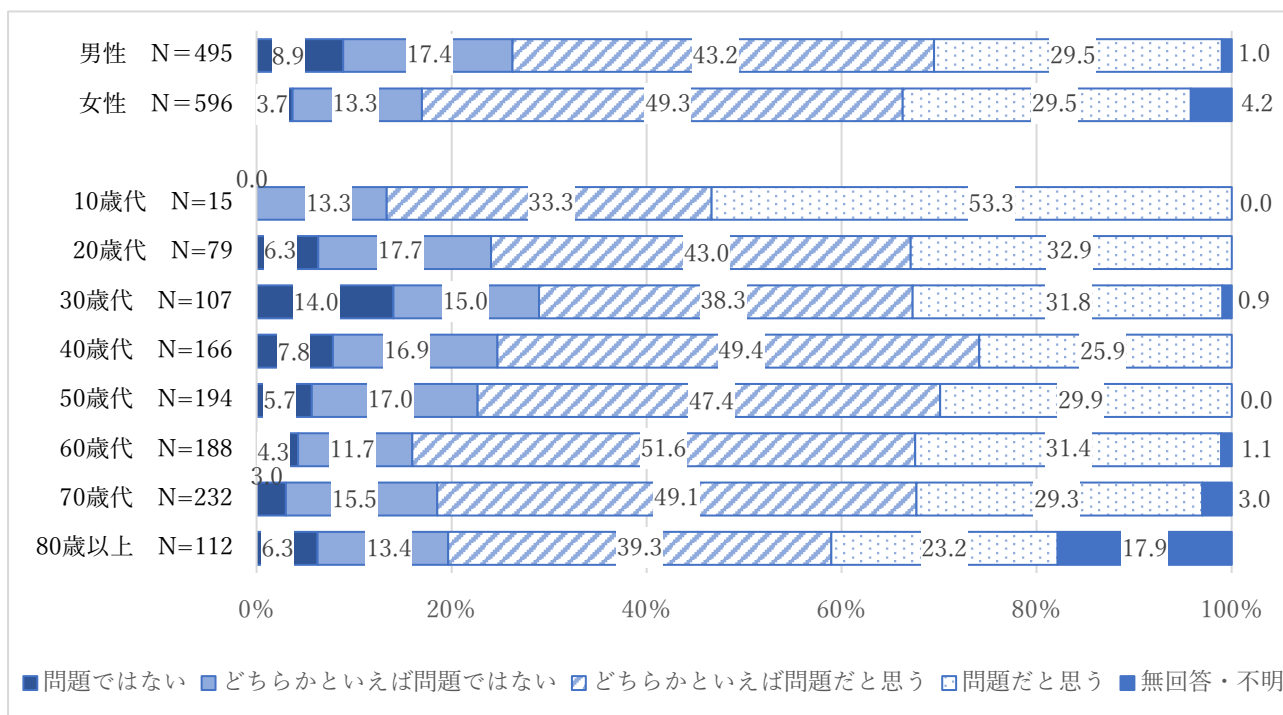


※ヘイトスピーチ:デモやインターネット上で、特定の国の出身の人々を、その出身であることのみを理由に、一方的に我が国の社会から追い出そうとしたり、危害を加えようとしたり、著しく侮辱したりする内容の言動のこと。

※項目「イ」の前の文言:「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」(84.4%)。

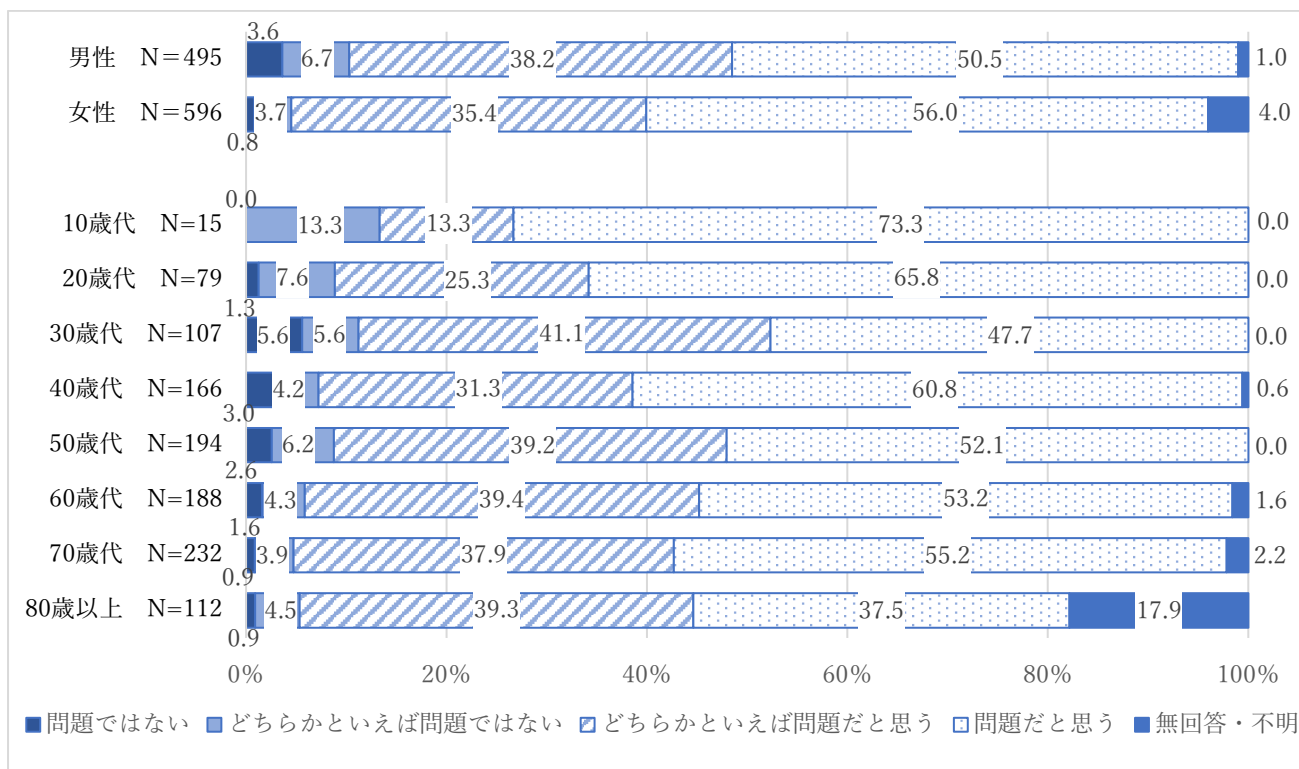
ア. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 72.7%（前回 62.4%）、女性 78.8%（前回 70.7%）となっている。年代別では、80歳以上（62.5%）を除く年齢層で 70%を超えている。



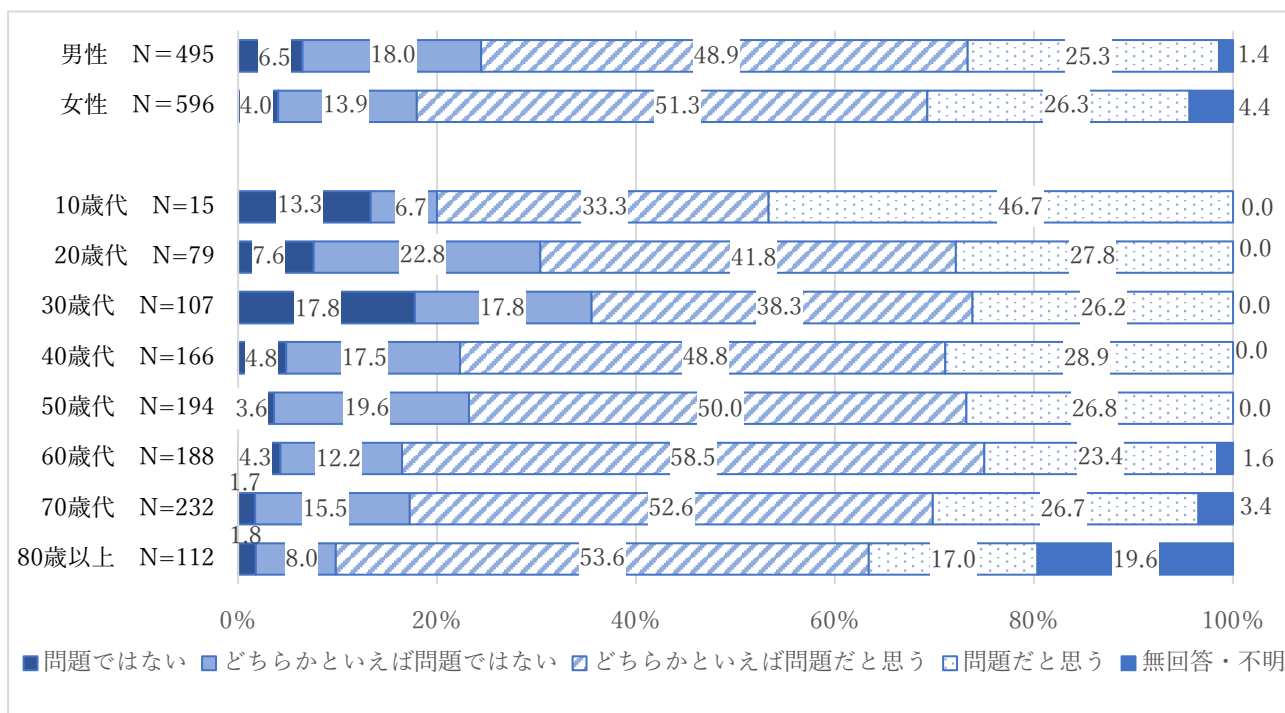
イ. 就職活動や職場において不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 88.7%（前回 79.4%）、女性 91.4%（前回 89.3%）となっている。年代別では、80歳以上（76.8%）を除く年齢層で 80%を超えている。



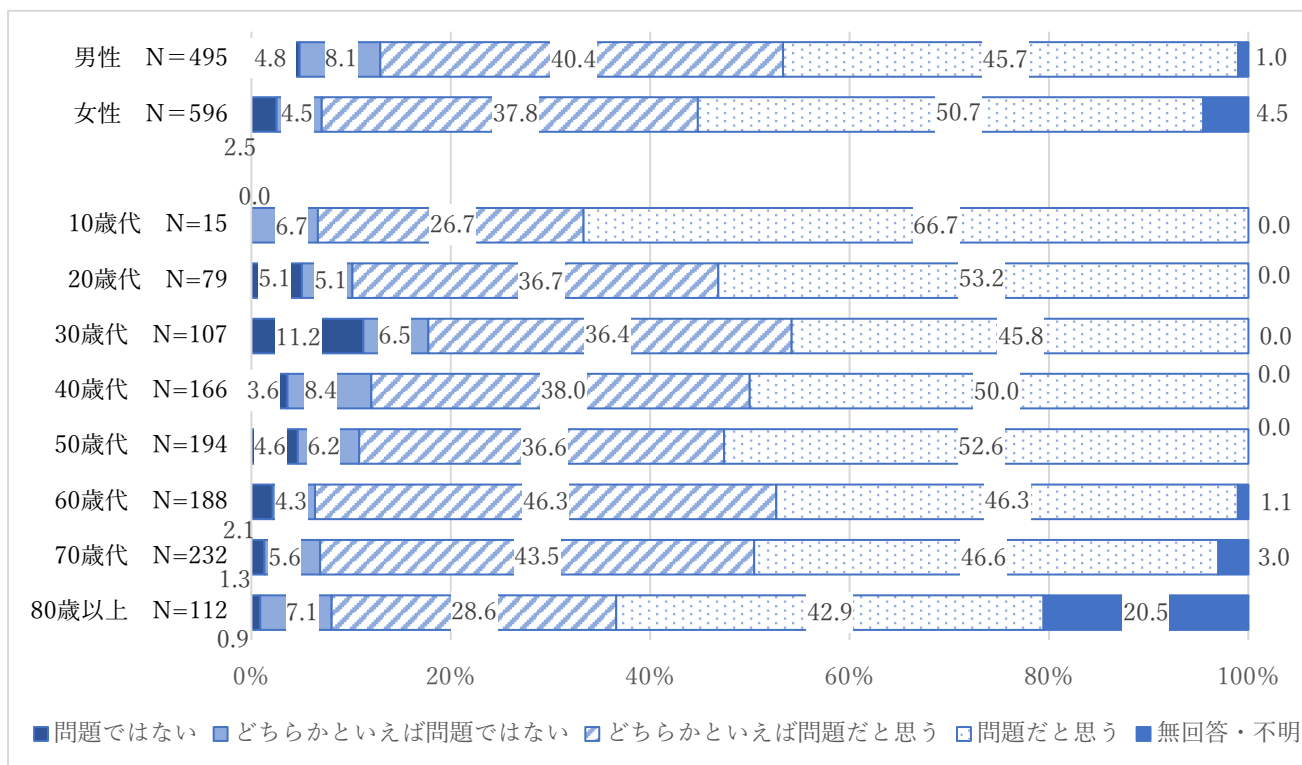
ウ. 地域社会において交流する機会が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 74.2%（前回 71.4%）、女性 77.6%（前回 78.8%）となっている。年代別では、20 歳代（69.6%）、30 歳代（64.5%）を除く年齢層で 70%を超えている。



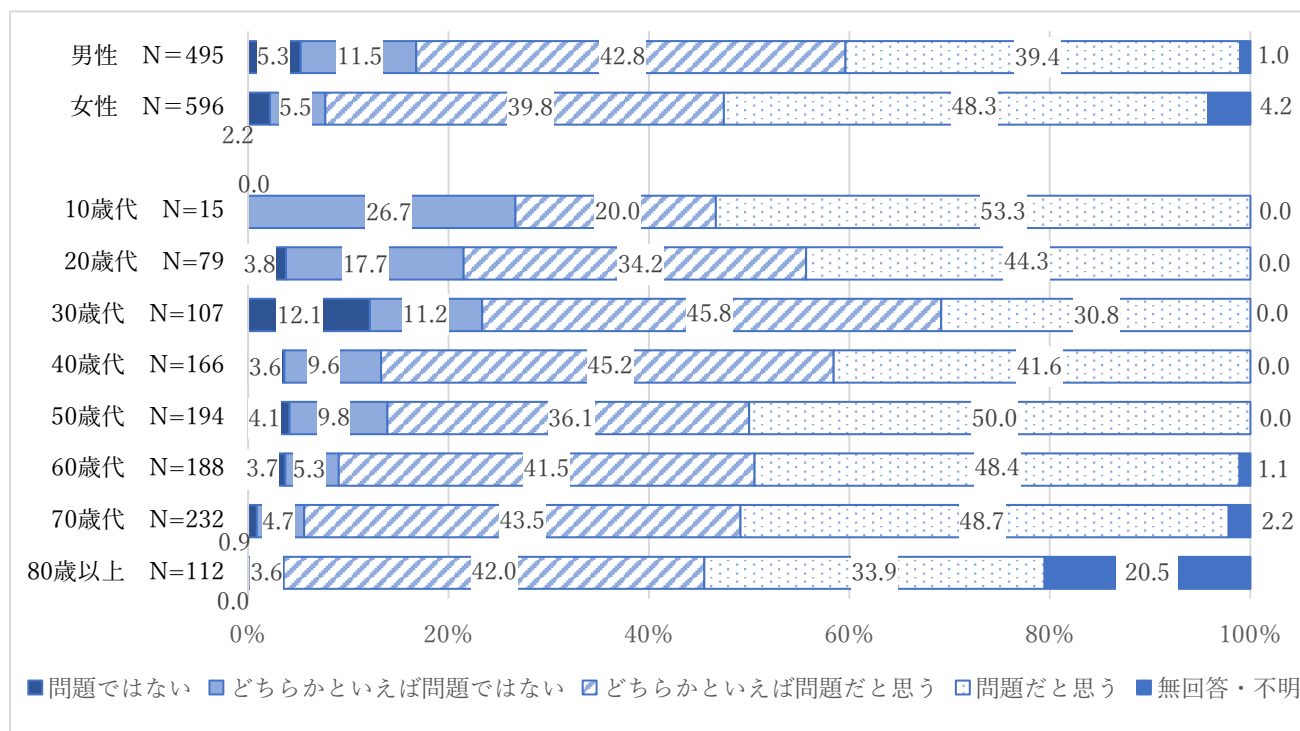
エ. 外国人の子どもに対して、その子に応じた十分な教育が行われていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 86.1%（前回 84.3%）、女性 88.5%（前回 89.1%）となっている。年代別では、80 歳以上（71.5%）を除く年齢層で 80%以上となっている。



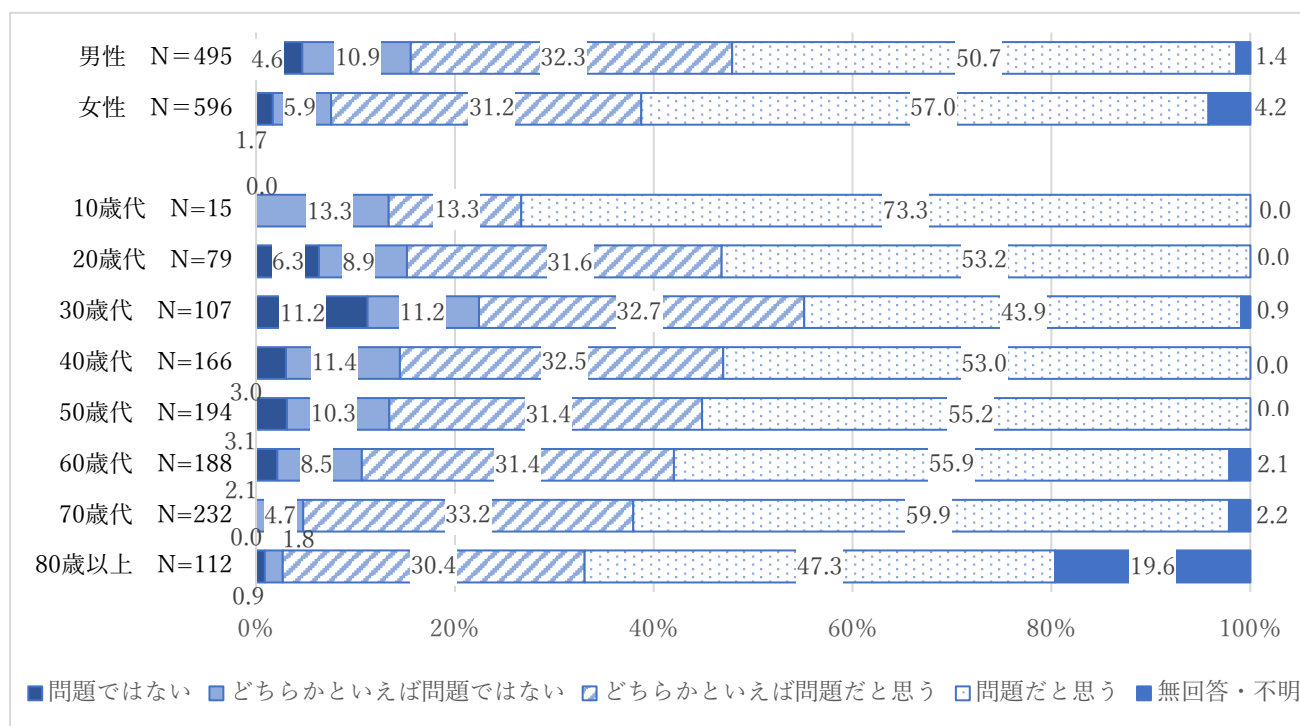
オ. 情報を外国人にわかりやすく伝えるための配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.2%（前回 82.5%）、女性 88.1%（前回 92.9%）となっている。年代別では、全年齢層で 70%を超えている。



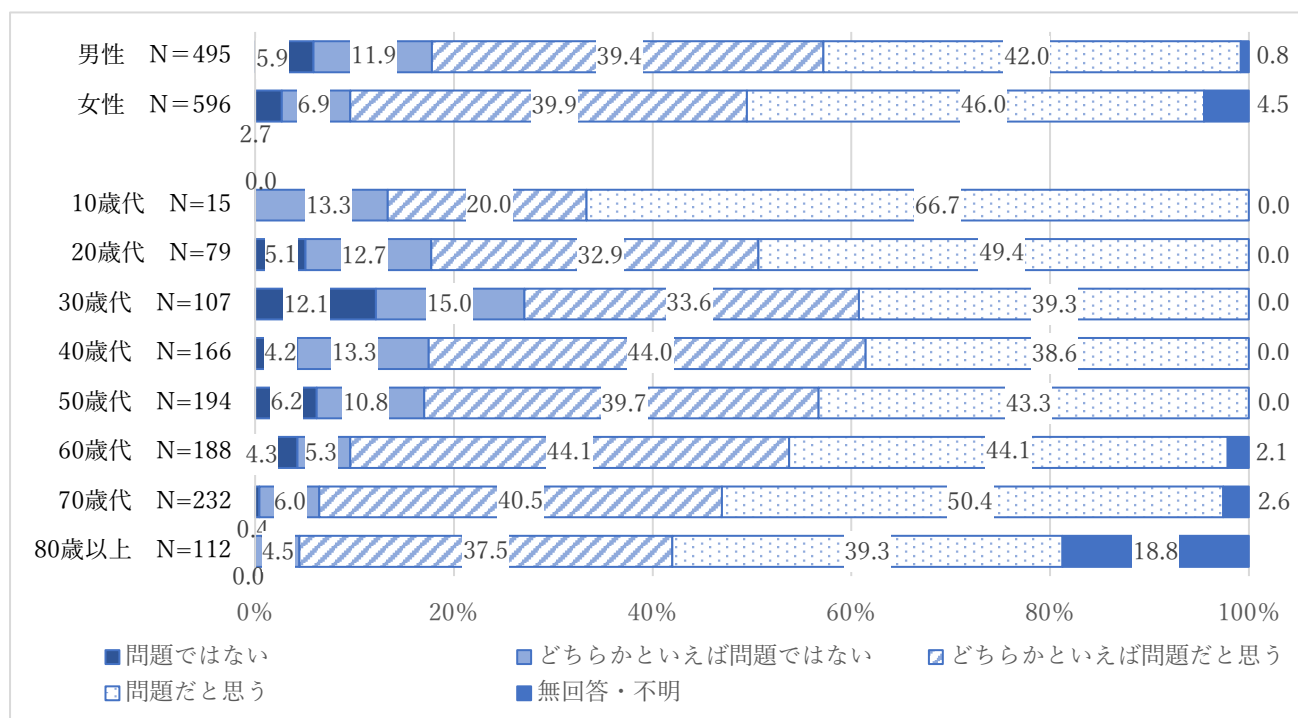
カ. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 83%（前回 86.3%）、女性 88.2%（前回 93.1%）となっている。年代別では、30歳代（76.6%）、80歳以上（77.7%）を除く年齢層で 80%を超えている。



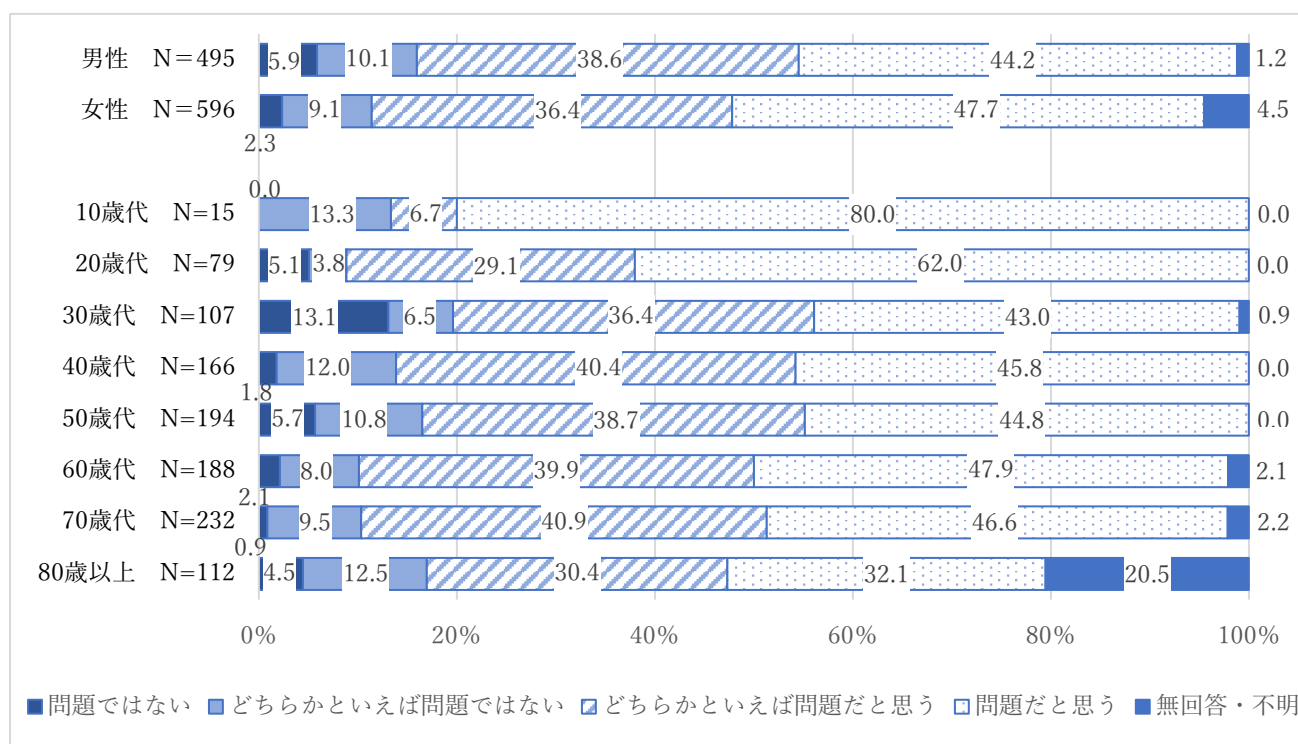
キ. アパートなどへの入居を断られること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 81.4%（前回 84.4%）、女性 85.9%（前回 91.3%）となっている。年代別では、30歳代（72.9%）、80歳以上（76.8%）を除く年齢層で 80%を超えている。



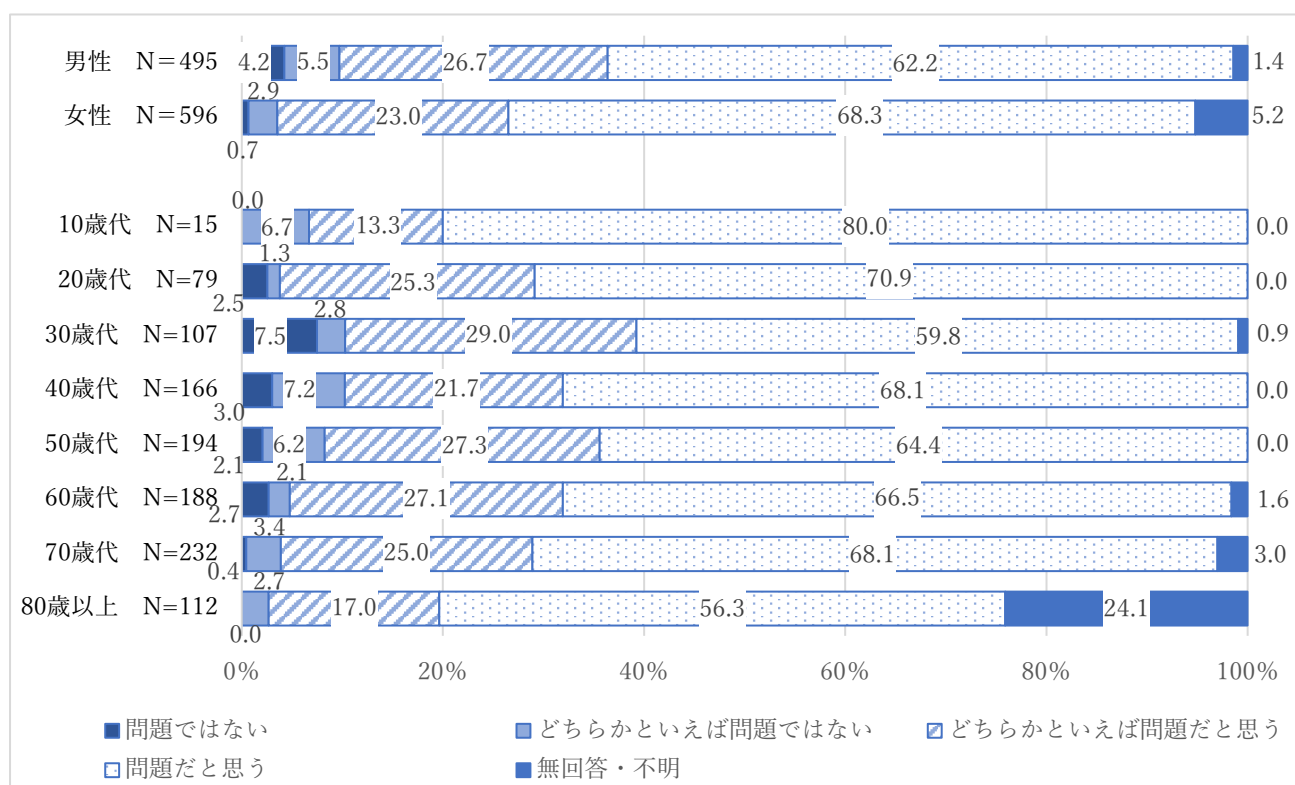
ク. 結婚について、周囲から反対されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.8%（前回 79.2%）、女性 84.1%（前回 86.9%）となっている。年代別では、30歳代（79.4%）、80歳以上（62.5%）を除く年齢層で 80%を超えている。



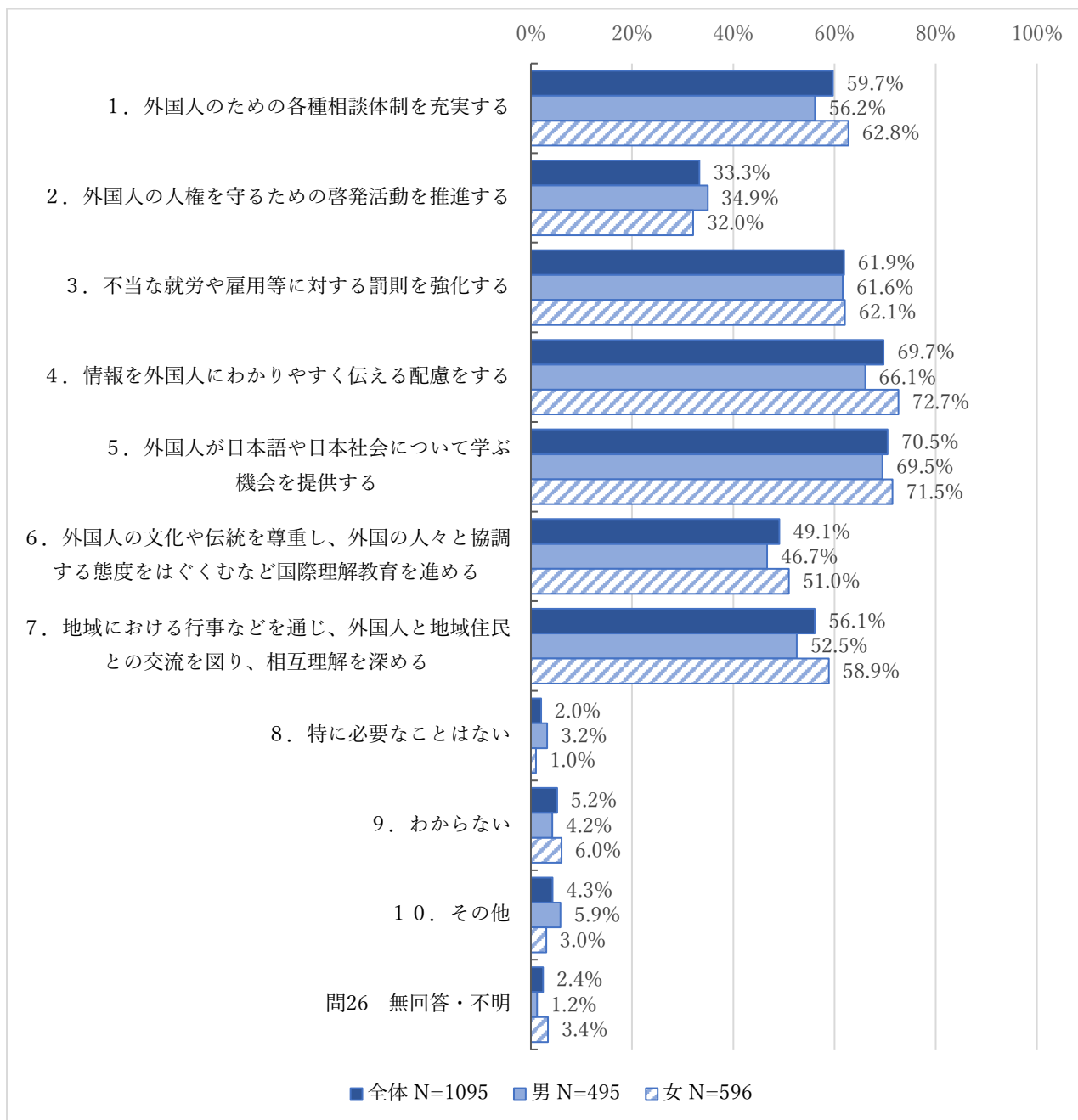
ケ. ヘイトスピーチが行われていること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 88.9% (前回 87.7%)、女性 91.3% (前回 89.7%) となっている。年代別では、30歳代 (88.8%)、40歳代 (89.8%)、80歳以上 (73.3%) 以外の年齢層で 90% を超えている。



問 26 日本に居住する外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号をすべて記入してください。

「5. 外国人が日本語や日本社会について学ぶ機会を提供する【新設】」が70.5%と最も多く、次いで「4. 情報を外国人にわかりやすく伝える配慮をする※」が69.7%、次いで「3. 不当な就労や雇用等に対する罰則を強化する※」が61.9%となっている。



※選択肢「4」の前の文言:「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」(68.9%)

※選択肢「3」の前の文言:「外国人の就職機会を確保する」(64.1%)

単位：％

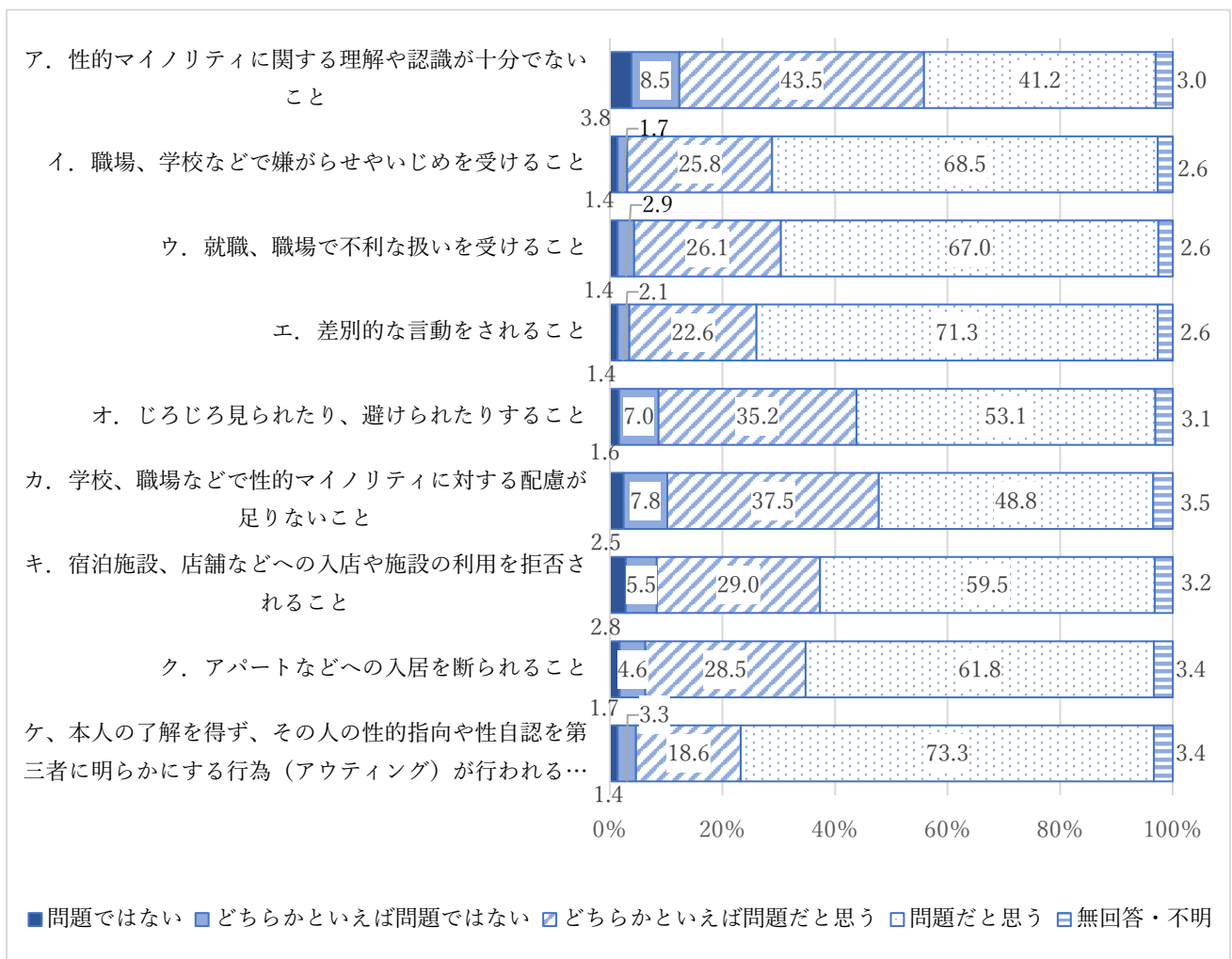
区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 外国人のための各種相談体制を充実する	46.7	41.8	55.1	55.4	62.4	62.8	66.8	60.7
2. 外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	13.3	27.8	26.2	26.5	28.9	36.2	40.9	43.8
3. 不当な就労や雇用等に対する罰則を強化する	53.3	57.0	55.1	61.4	63.4	67.6	67.2	50.9
4. 情報を外国人にわかりやすく伝える配慮をする	73.3	58.2	55.1	62.0	73.7	73.4	79.3	68.8
5. 外国人が日本語や日本社会について学ぶ機会を提供する	73.3	62.0	69.2	67.5	72.2	73.4	75.9	63.4
6. 外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	40.0	49.4	44.9	49.4	47.4	50.5	51.7	48.2
7. 地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	33.3	45.6	45.8	53.0	49.0	56.4	72.8	57.1
8. 特に必要なことはない	0.0	2.5	5.6	3.6	2.6	1.1	0.0	0.9
9. わからない	0.0	7.6	4.7	4.2	3.1	4.3	6.0	9.8
10. その他	6.7	7.6	3.7	7.8	6.2	2.7	1.7	1.8
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.0	0.5	1.1	1.7	14.3

性的マイノリティの人権について

問 27 性的マイノリティ※に関する次のア～クのことからについて、どう思いますか。

1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

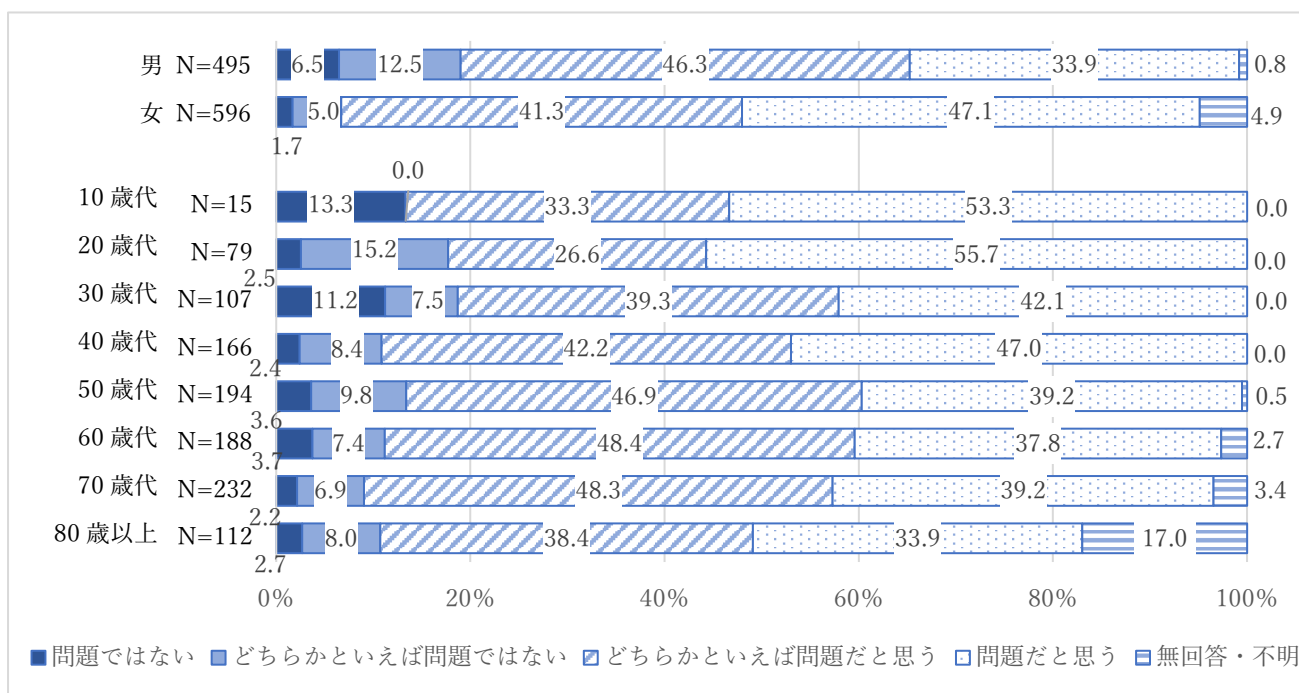
「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ケ. 本人の了解を得ず、その人の性的指向や性自認を第三者に明らかにする行為（アウティング）が行われること【新設】」が91.9%と最も高く、次いで「イ. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」が94.3%（前回91.7%）、次いで「エ. 差別的な言動をされること」が93.9%（前回91.9%）であった。



※性的マイノリティ: LGBT など、同性が好きな人、異性も同性も好きな人、身体上の性と自認する性が一致しない人等の総称。

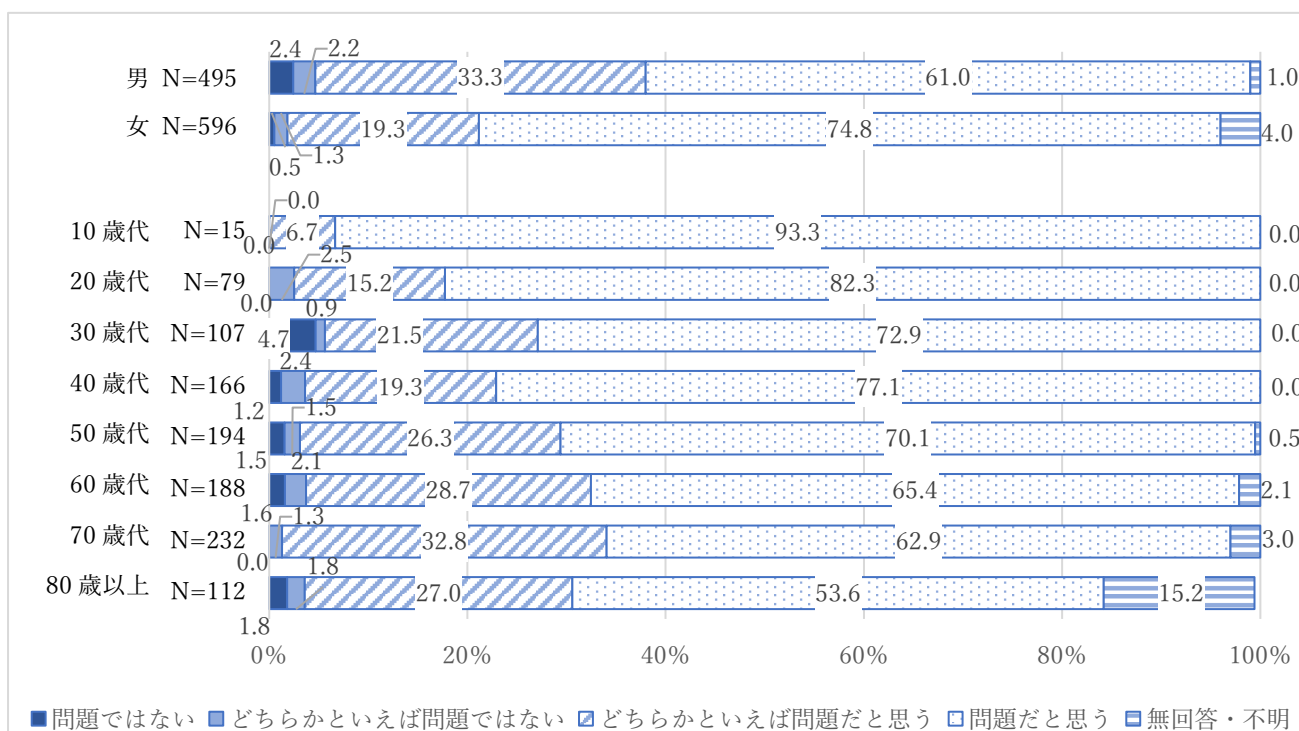
ア. 性的マイノリティに関する理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 80.2%（前回 74.5%）、女性 88.4%（前回 85.1%）となっている。年代別では、80 歳以上（72.3%）を除く年齢層で 80%を超えている。



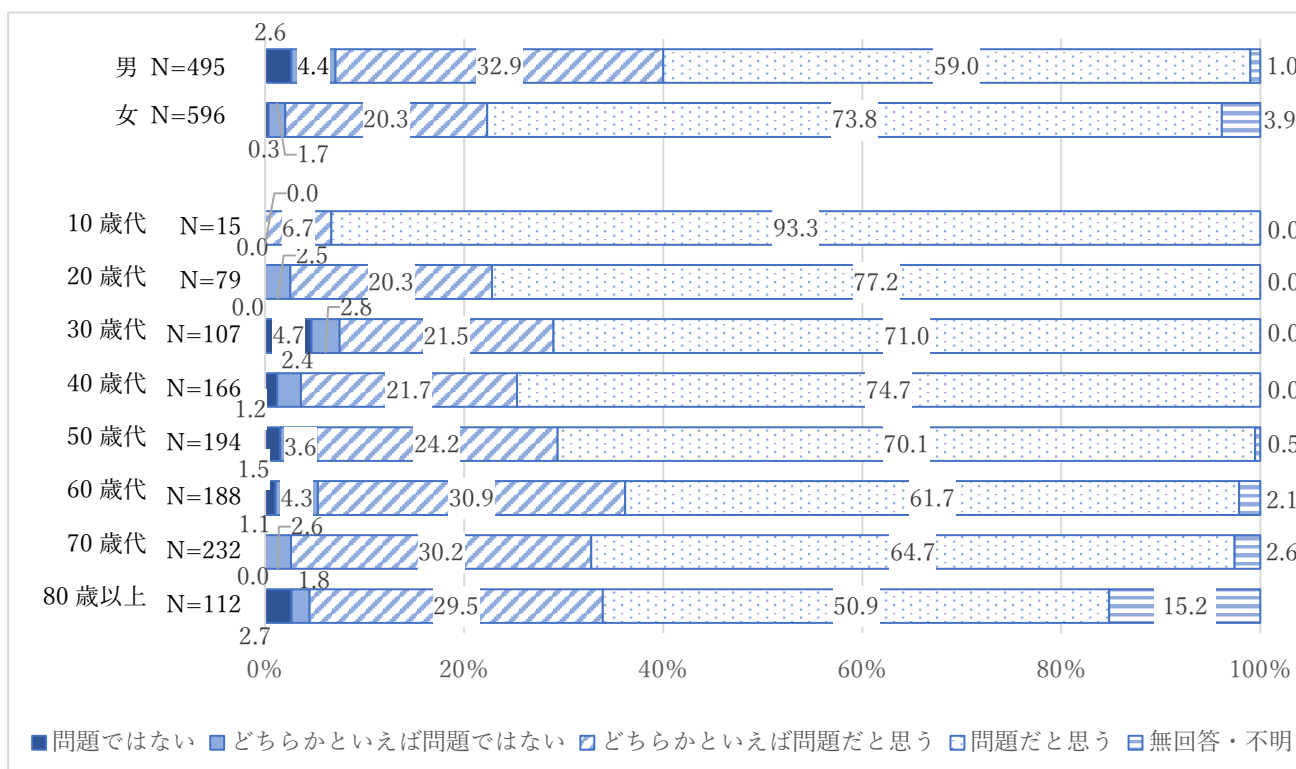
イ. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 94.3%（前回 90.4%）、女性 94.1%（前回 94.1%）となっている。年代別では、80 歳代以上（80.6%）を除く年齢層で 90%を超えている。



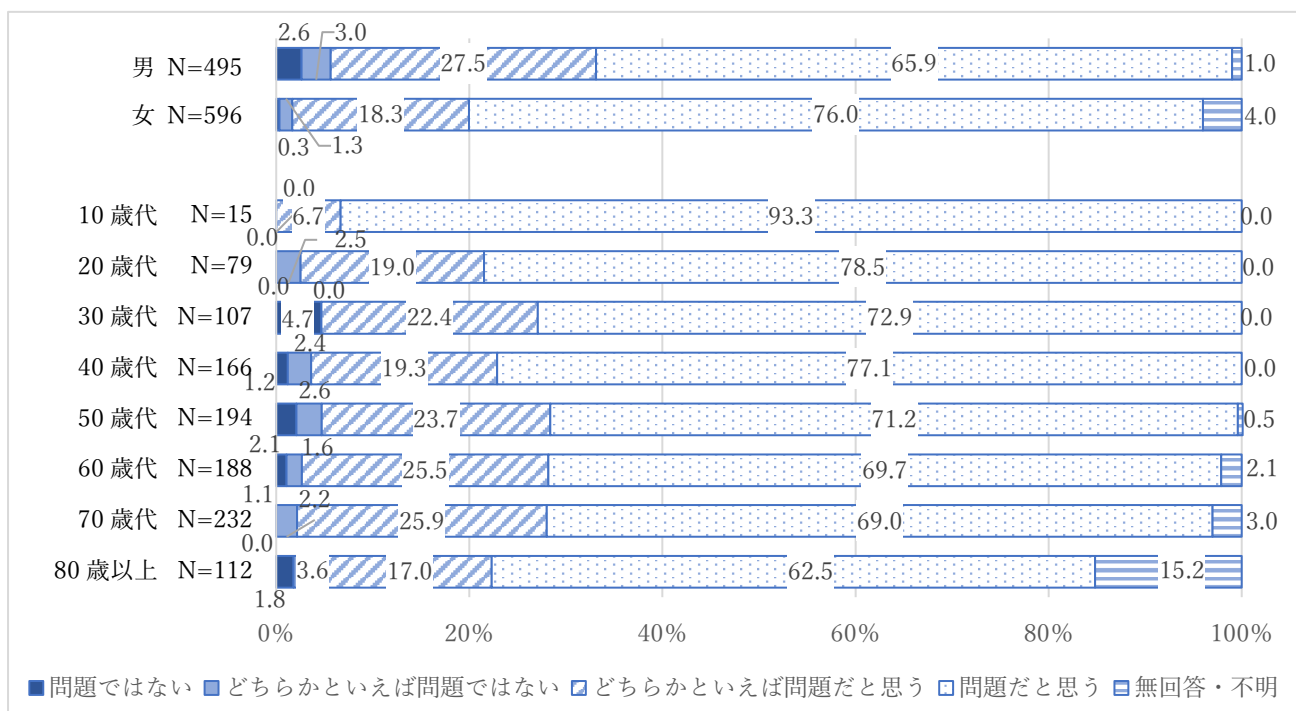
ウ. 就職、職場で不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 91.9% (前回 89.9%)、女性 94.1% (前回 94.1%) となっている。年代別では、80 歳以上 (80.4%) を除く年齢層で 90% を超えている。



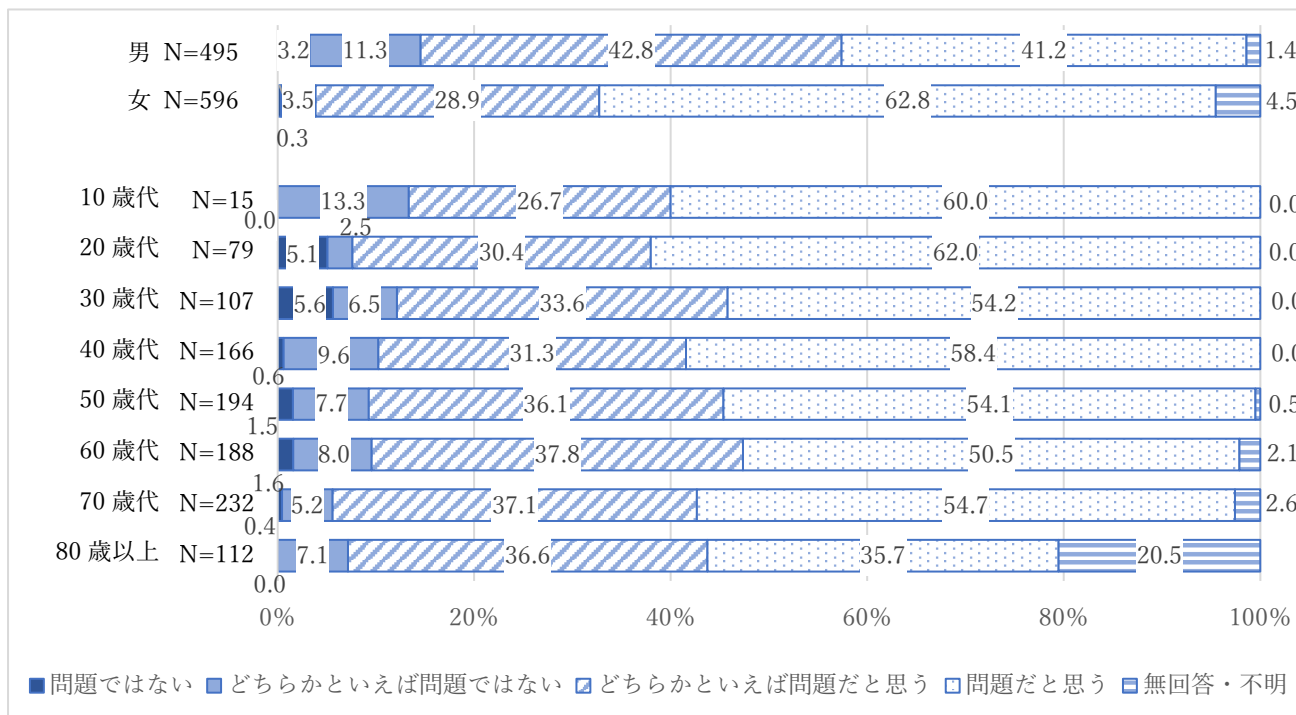
エ. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 93.4% (前回 90.6%)、女性 94.3% (前回 94.1%) となっている。年代別では、80 歳以上 (79.5%) を除く年齢層で 90% を超えている。



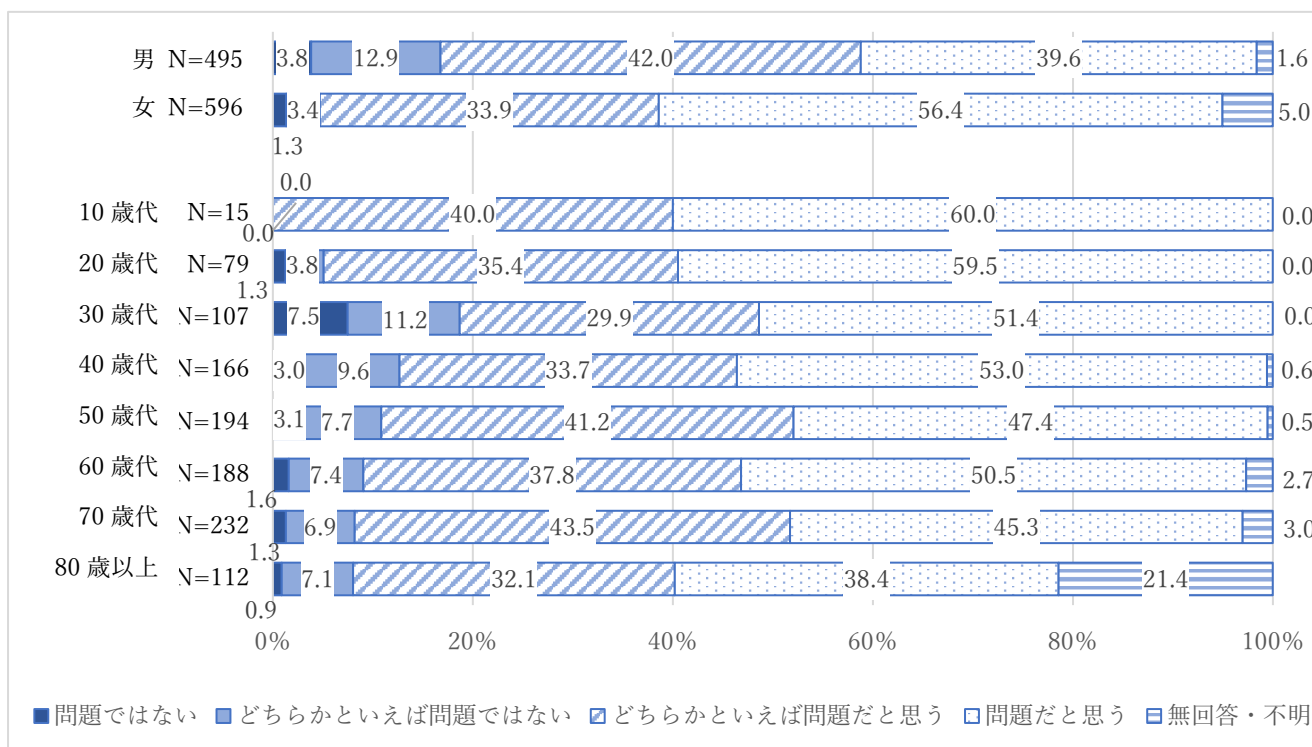
オ.じろじろ見られたり、避けられたりすること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84%（前回 82.6%）、女性 91.7%（前回 91.1%）となっている。年代別では、80歳以上（72.3%）を除く年齢層で 85%を超えている。



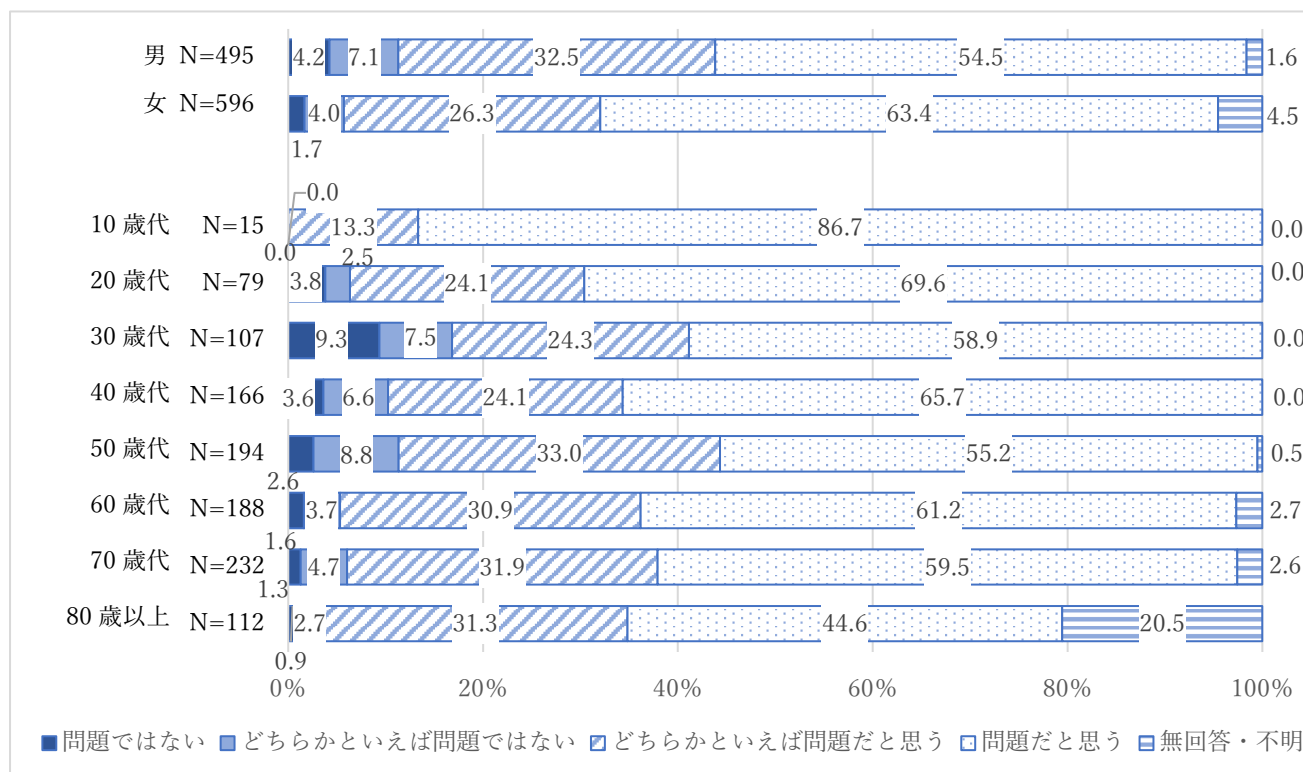
カ. 学校、職場などで性的マイノリティに対する配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 81.6%（前回 82.3%）、女性 90.3%（前回 88.5%）となっている。年代別では、80歳以上（70.5%）を除く年齢層で 80%を超えている。



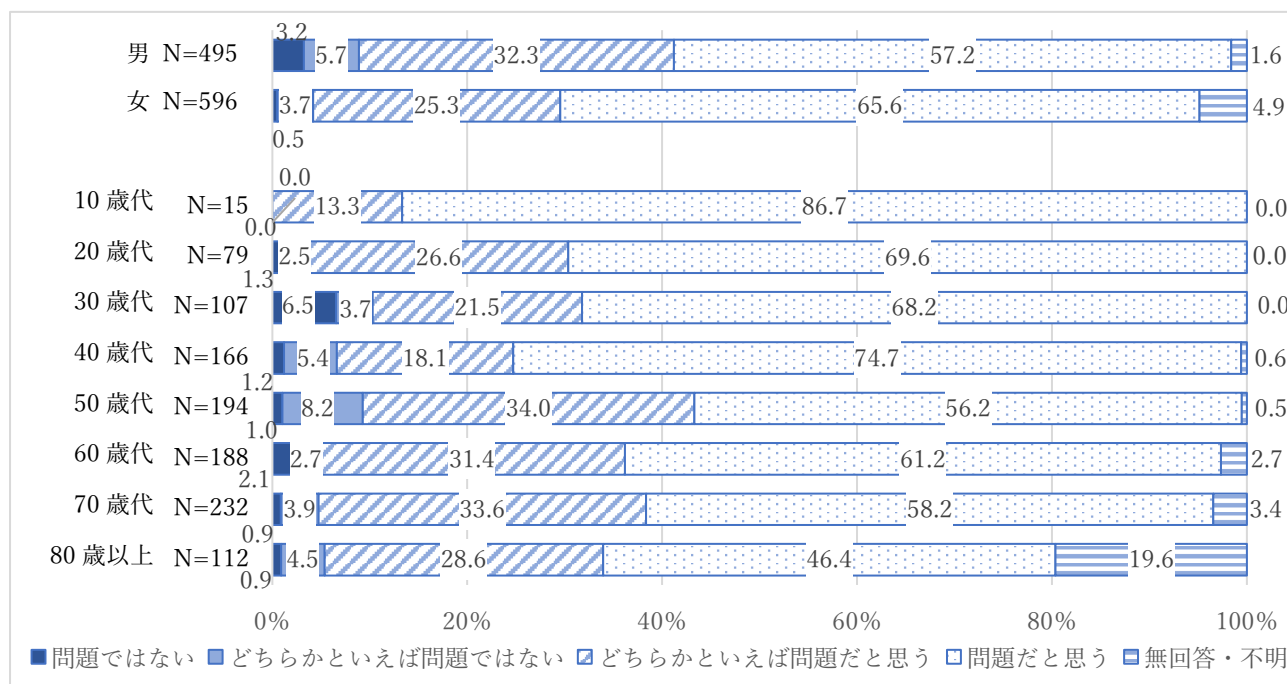
キ. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87%（前回 83.2%）、女性 89.7%（92.2%）となっている。年代別では、80 歳以上（75.9%）を除く年齢層で 80%を超えている。

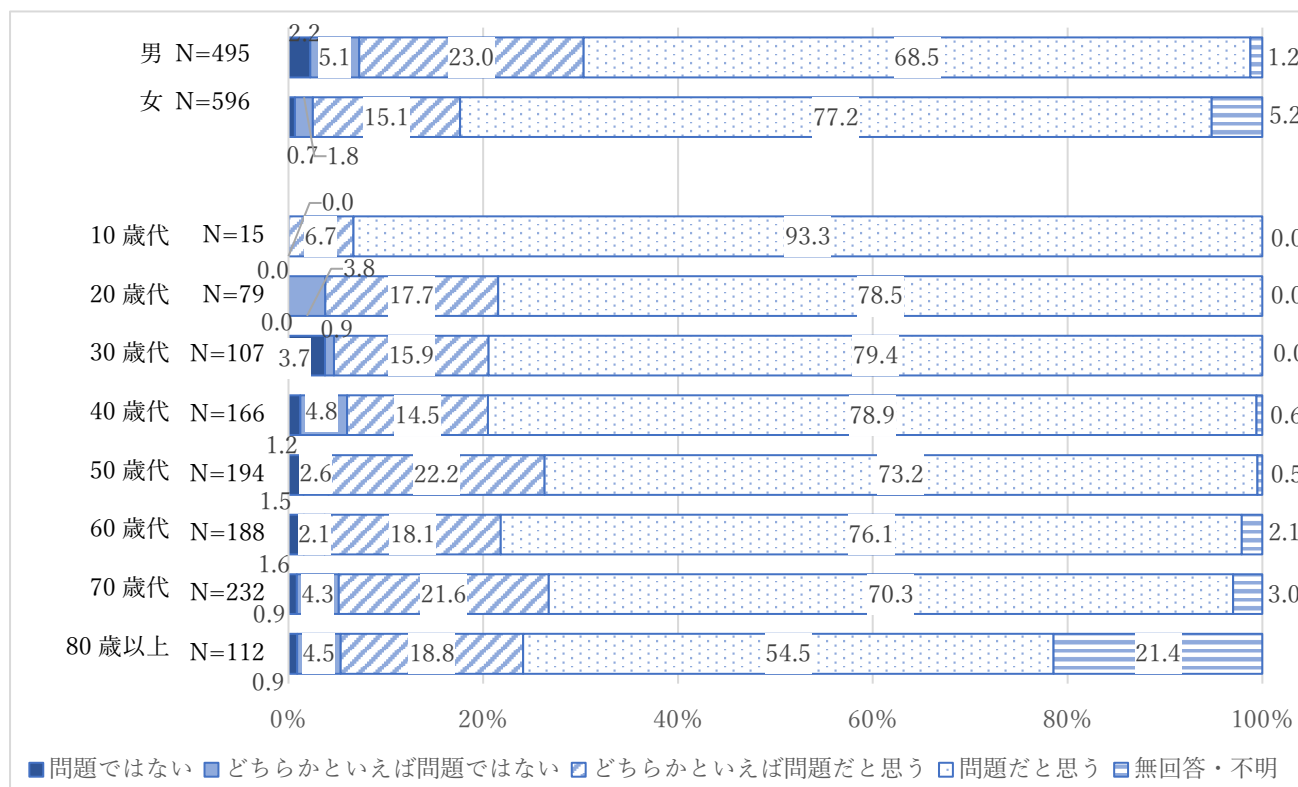


ク. アパートなどへの入居を断られること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89.5%（前回 85.4%）、女性 90.9%（前回 93%）となっている。年代別では、80 歳以上（75%）、30 歳代（89.7%）を除く年齢層で 90%を超えている。

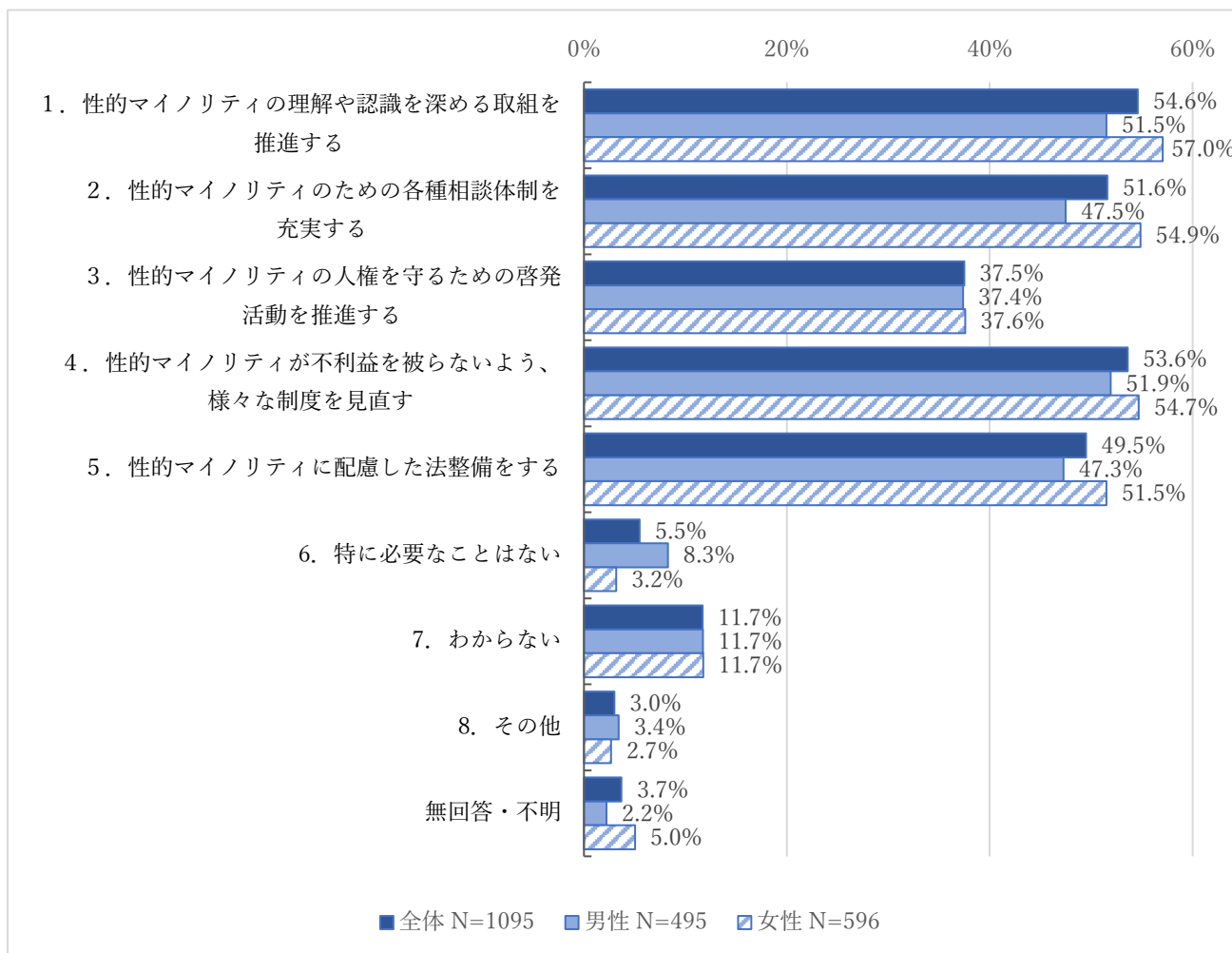


ケ. 本人の了解を得ず、その人の性的思指向や性自認を第三者に明らかにする行為が行われること【新設】
「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 91.5%、女性 92.3%となっている。年代別では、80 歳以上 (73.3%) を除く年齢層で 90%を超えている。



問 28 性的マイノリティの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号すべてを記入してください。

「1. 性的マイノリティの理解や認識を深める取組を推進する」が 54.6% (前回 63.1%) と最も高く、次いで「4. 性的マイノリティが不利益を被らないよう、様々な制度を見直す」が 53.6% (前回 62.8%)、次いで「2. 性的マイノリティのための各種相談体制を充実する」が 51.6% (前回 51.5%) となっている。



単位：％

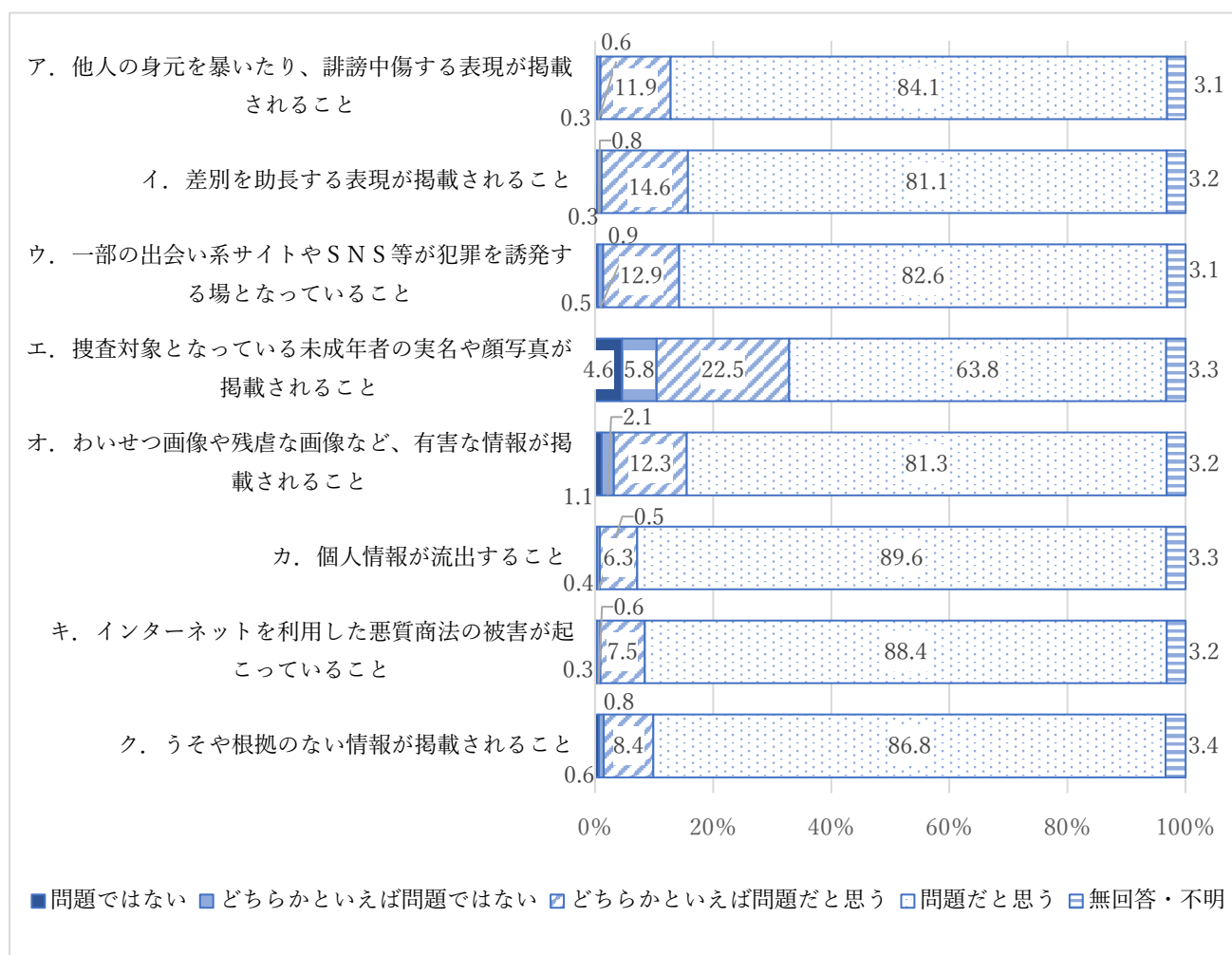
区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. 性的マイノリティの理解や認識を深める取組を推進する	53.3	58.2	53.3	59.0	63.4	57.4	50.9	33.9
2. 性的マイノリティのための各種相談体制を充実する	40.0	50.6	52.3	54.8	53.1	53.2	52.2	41.1
3. 性的マイノリティの人権を守るための啓発活動を推進する	46.7	30.4	35.5	38.0	35.6	39.9	40.5	34.8
4. 性的マイノリティが不利益を被らないよう、様々な制度を見直す	46.7	51.9	51.4	55.4	53.6	59.6	53.9	43.8
5. 性的マイノリティに配慮した法整備をする	40.0	50.6	50.5	48.8	53.6	54.3	49.1	36.6
6. 特に必要なことはない	0.0	5.1	8.4	6.6	4.1	7.4	4.7	2.7
7. わからない	0.0	8.9	11.2	7.8	9.8	9.6	15.1	21.4
8. その他	0.0	3.8	4.7	5.4	4.1	1.1	2.2	0.9
無回答・不明	0.0	2.5	0.0	0.0	0.5	2.1	3.9	22.3

インターネットにおける人権について

問 29 インターネット上での次のア～クのことからについて、どう思いますか。

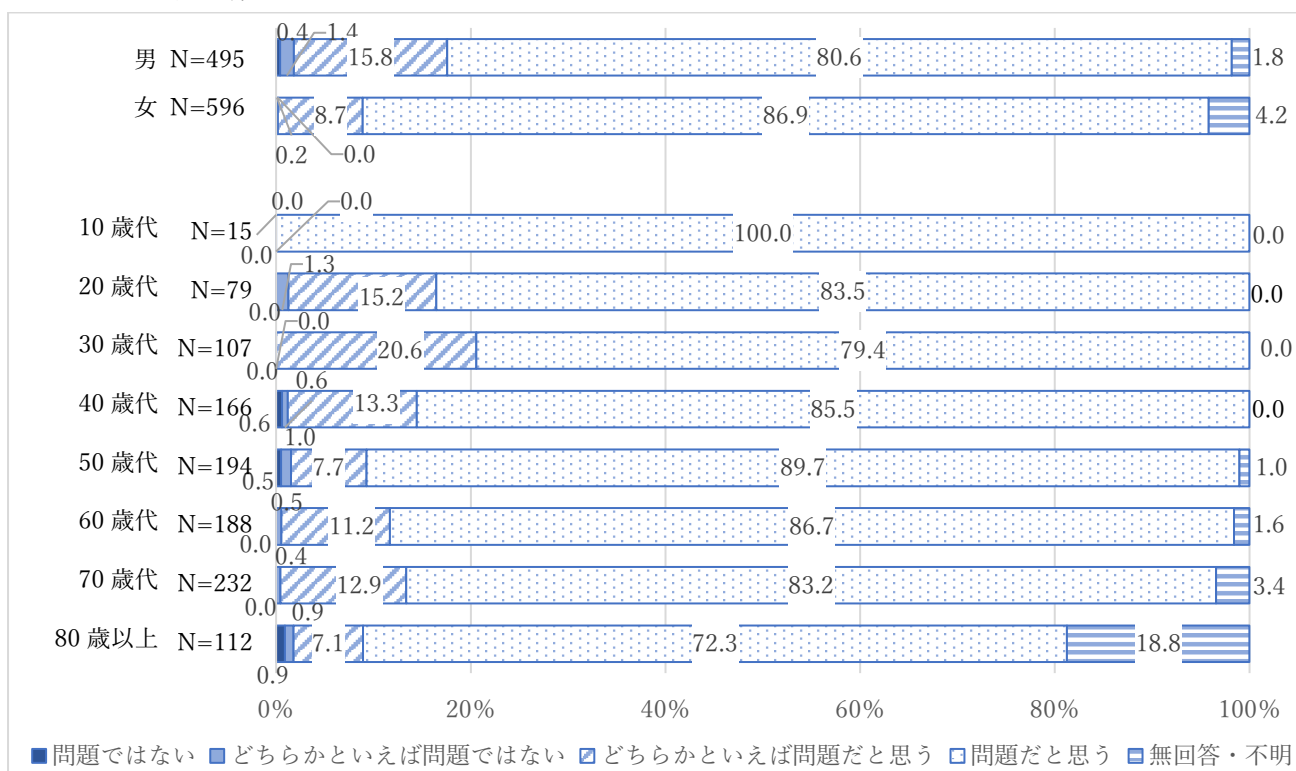
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、一部を除いてほとんどのことから9割を超え、特に「問題だと思う」の比率が高くなっている。「問題だと思う」のみの比率でみると「カ. 個人情報が流出すること」が89.6%（前回 88.2%）と最も高く、次いで「キ. インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること」が88.4%（前回 85.9%）、次いで「ク. うそや根拠のない情報が掲載されること【新設】」が86.8%であった。



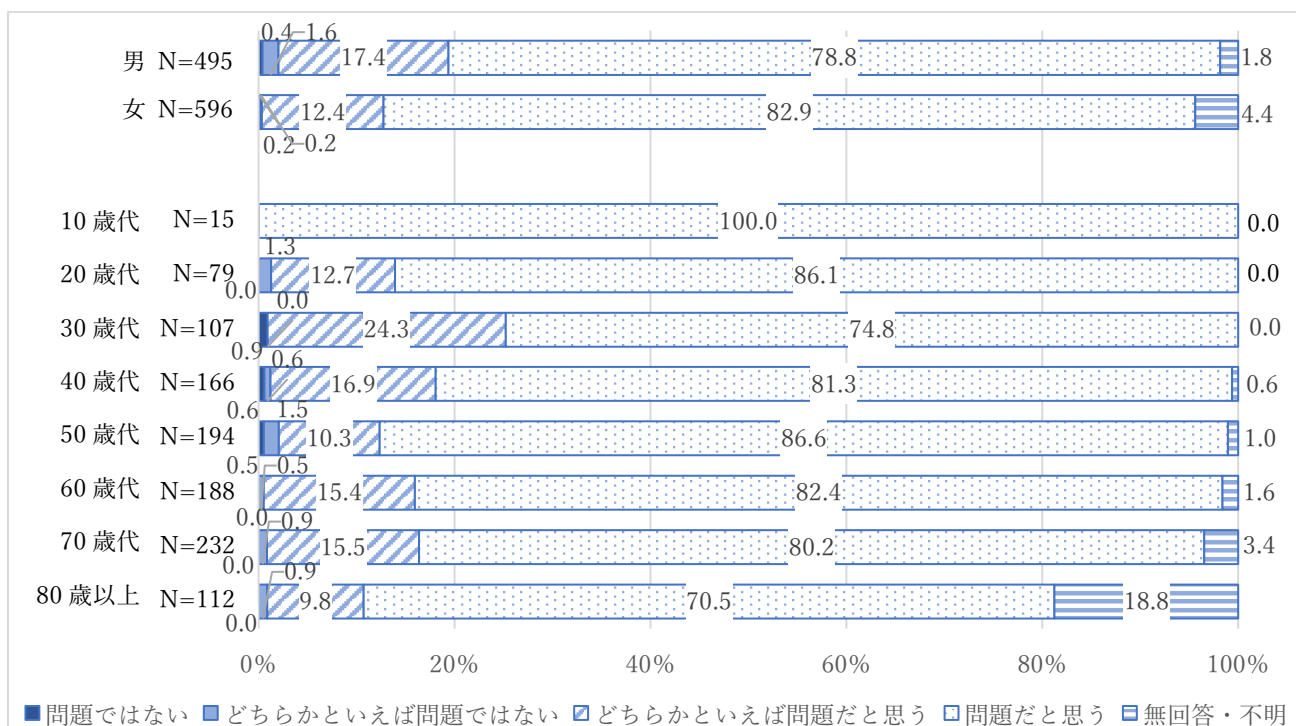
ア. 他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.4%（前回 96.8%）、女性 95.6%（前回 95.9%）となっている。年代別では、10、30 歳代で 100%、80 歳以上では 79.4% で、その他の年齢層では 95%を超えている。



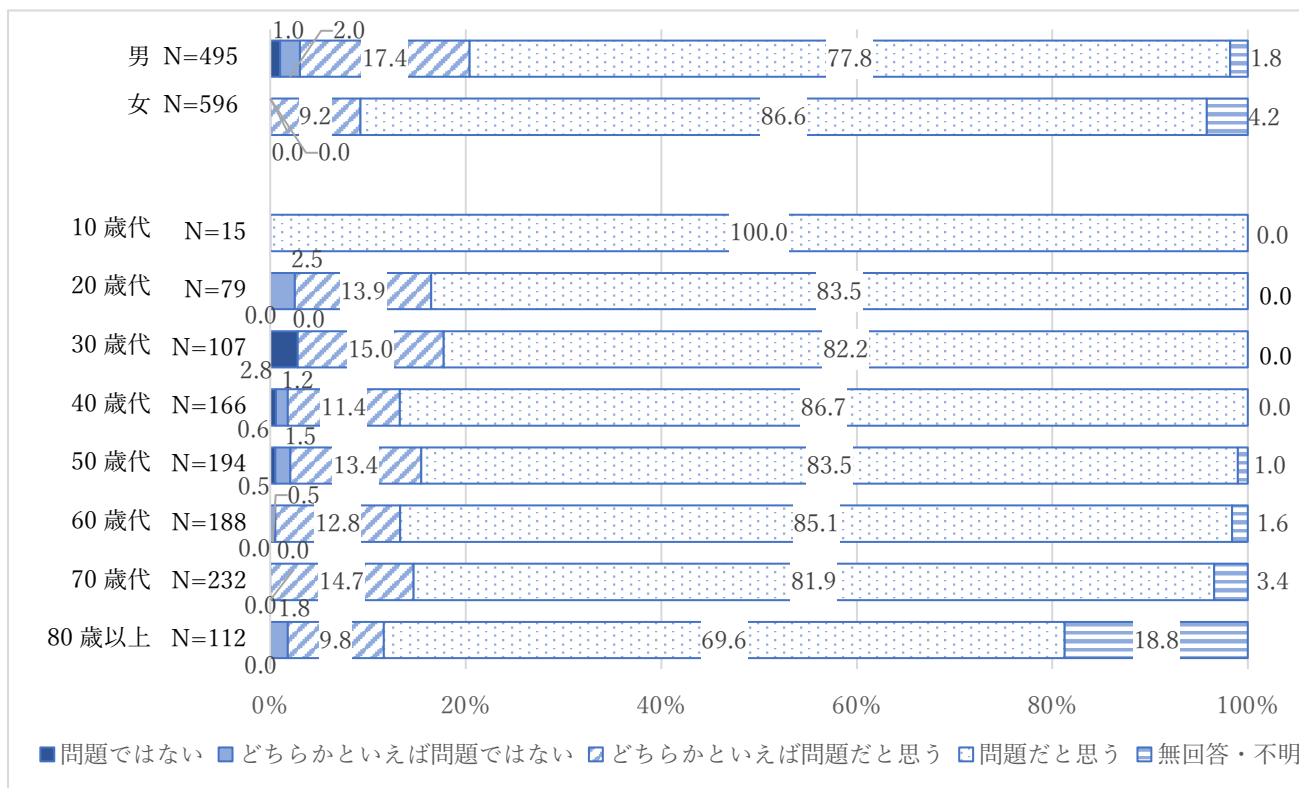
イ. 差別を助長する表現を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.2%（前回 95.7%）、女性 95.3%（前回 94.9%）となっている。年代別では、80 歳以上（80.3%）を除く年齢層で 95%を超えている。



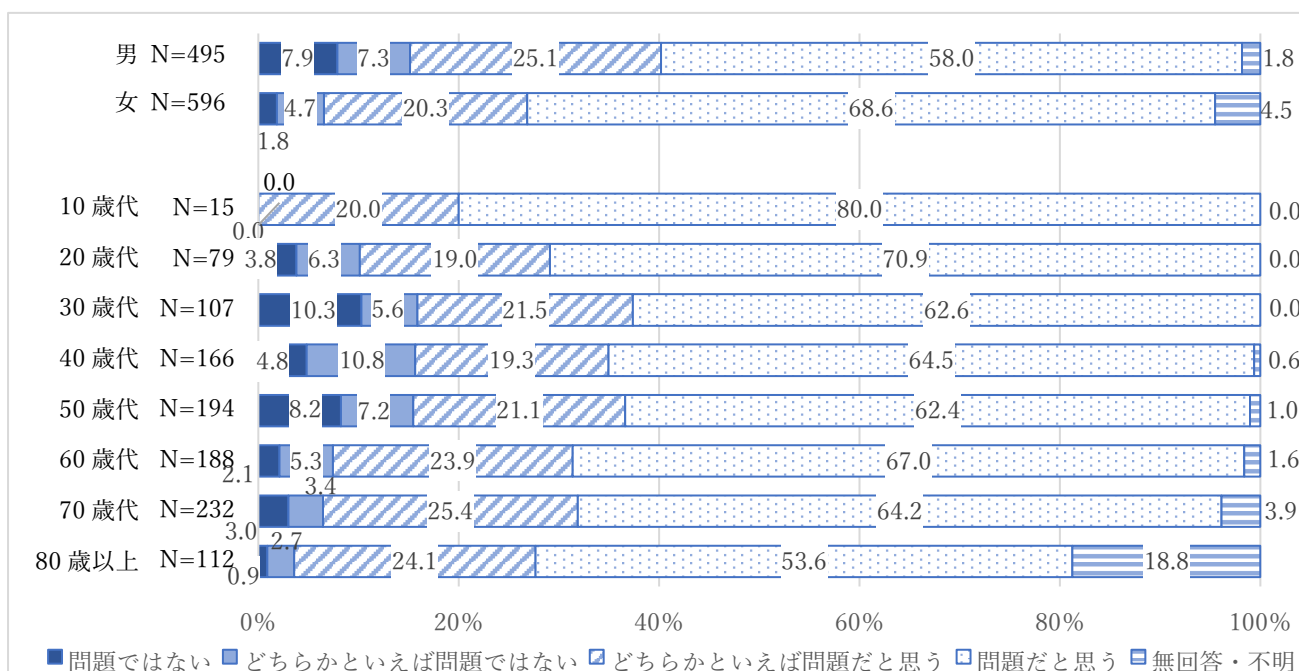
ウ. 出会い系サイト、SNS等が犯罪を誘発する場となっていること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.2%（前回 92.4%）、女性 95.8%（前回 95.2%）となっている。年代別では、80 歳以上（79.4%）を除く年齢層で 95%を超えている。



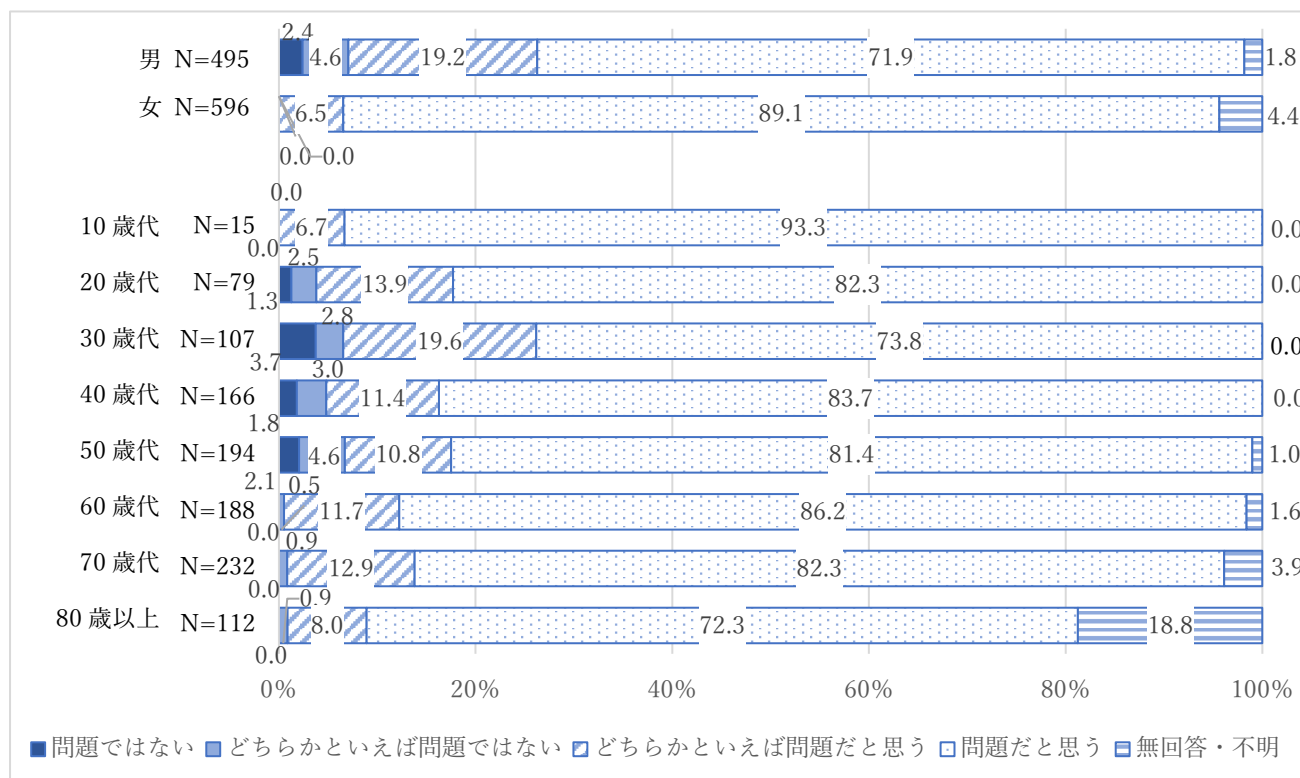
エ. 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 83.1%（前回 77%）、女性 88.9%（前回 83.4%）となっている。年代別では、80 歳以上（77.7%）を除く年齢層で 80%を超えている。



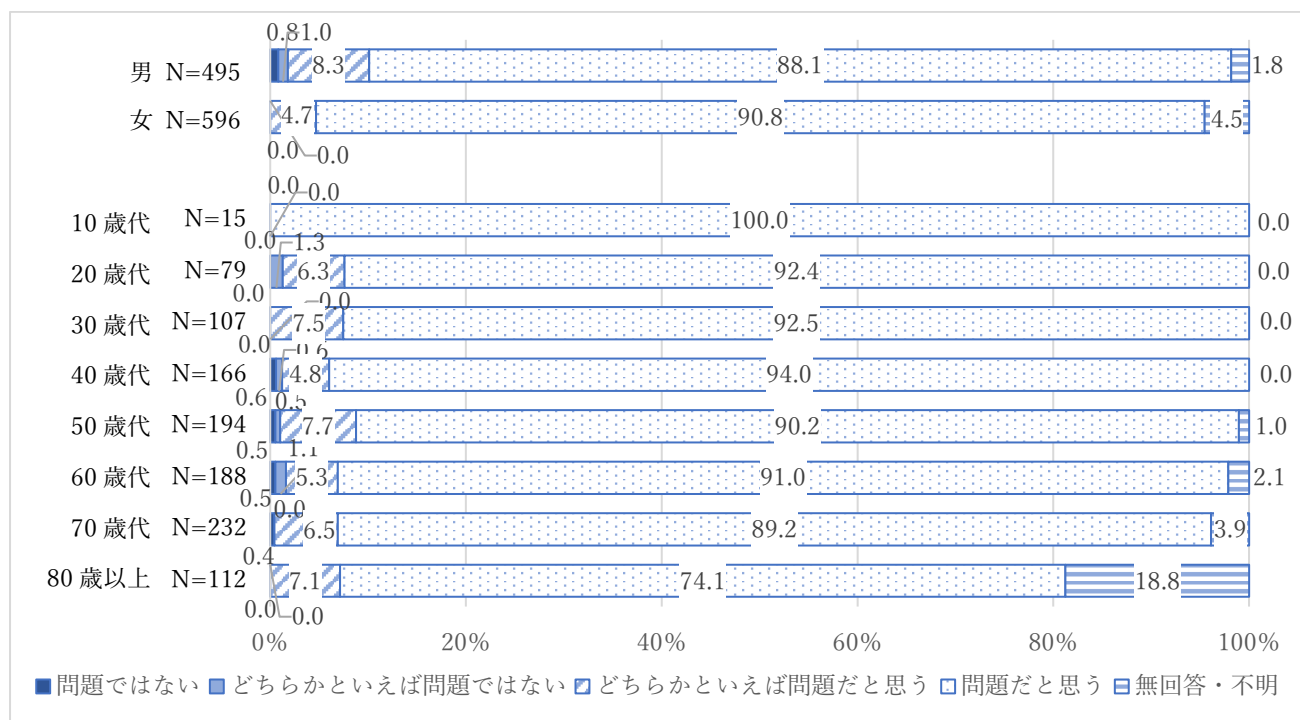
オ. わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 91.1%（前回 92.8%）、女性 95.6%（前回 94.5%）となっている。年代別では、全年齢層で 90%を超えている。



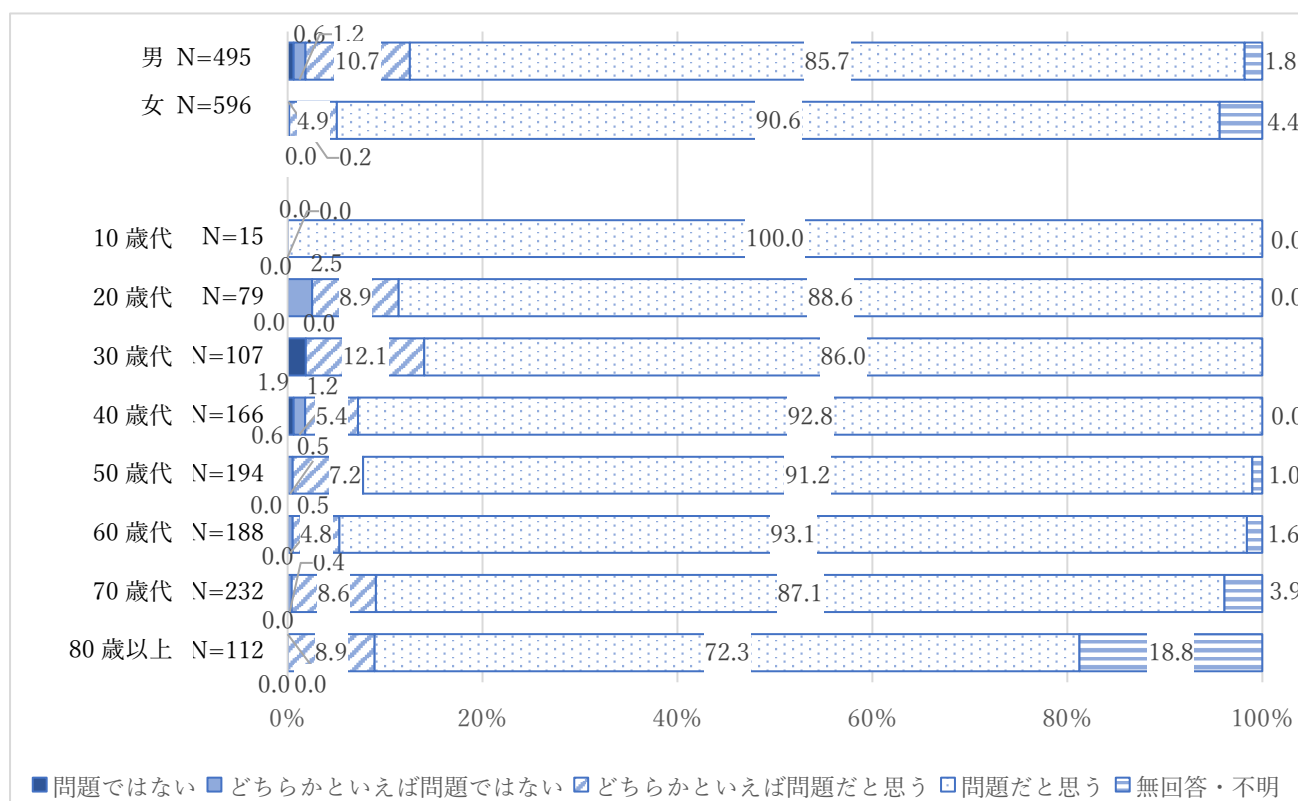
カ. 個人情報が流出すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.4%（前回 96.7%）、女性 95.5%（前回 96.1%）となっている。年代別では、80歳以上（81.2%）を除く全年齢層で 95%を超えている。



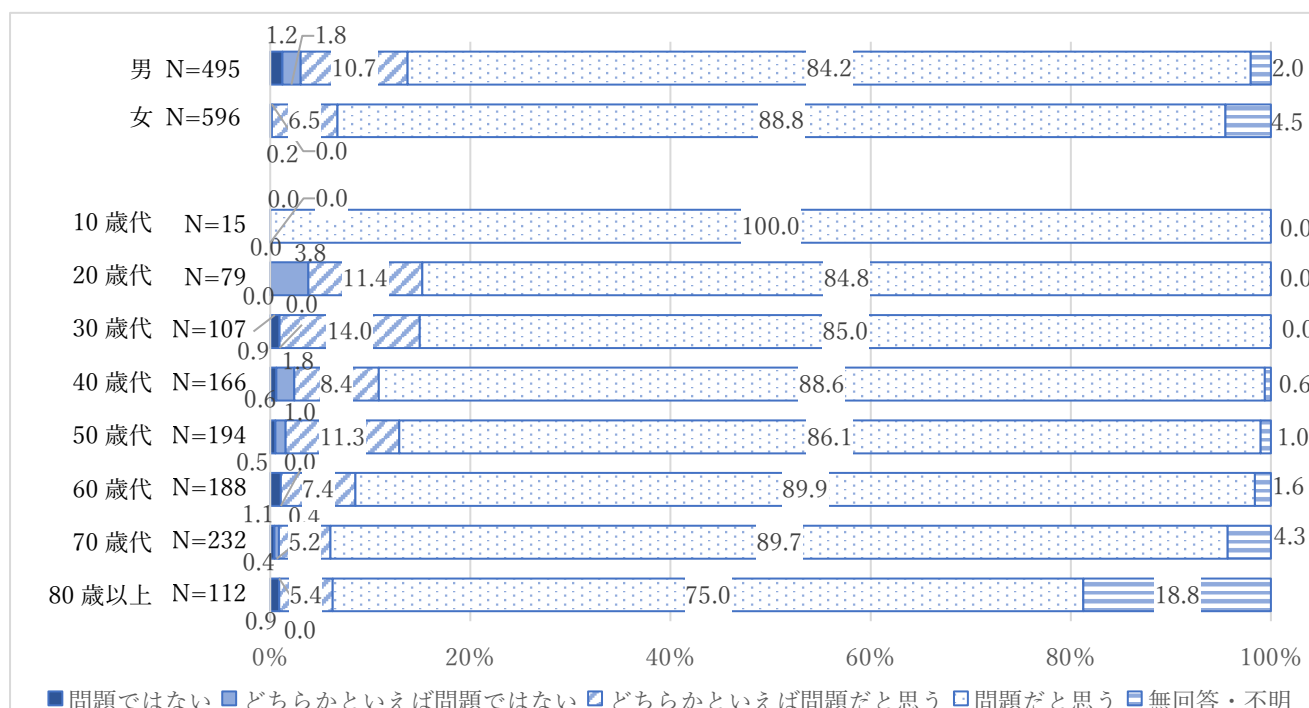
キ. インターネットを利用した悪徳商法の被害が起きていること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.4%（前回 95.8%）、女性 95.5%（前回 95.4%）となっている。年代別では、80歳以上（81.2%）を除く全年齢層で 95%を超えている。



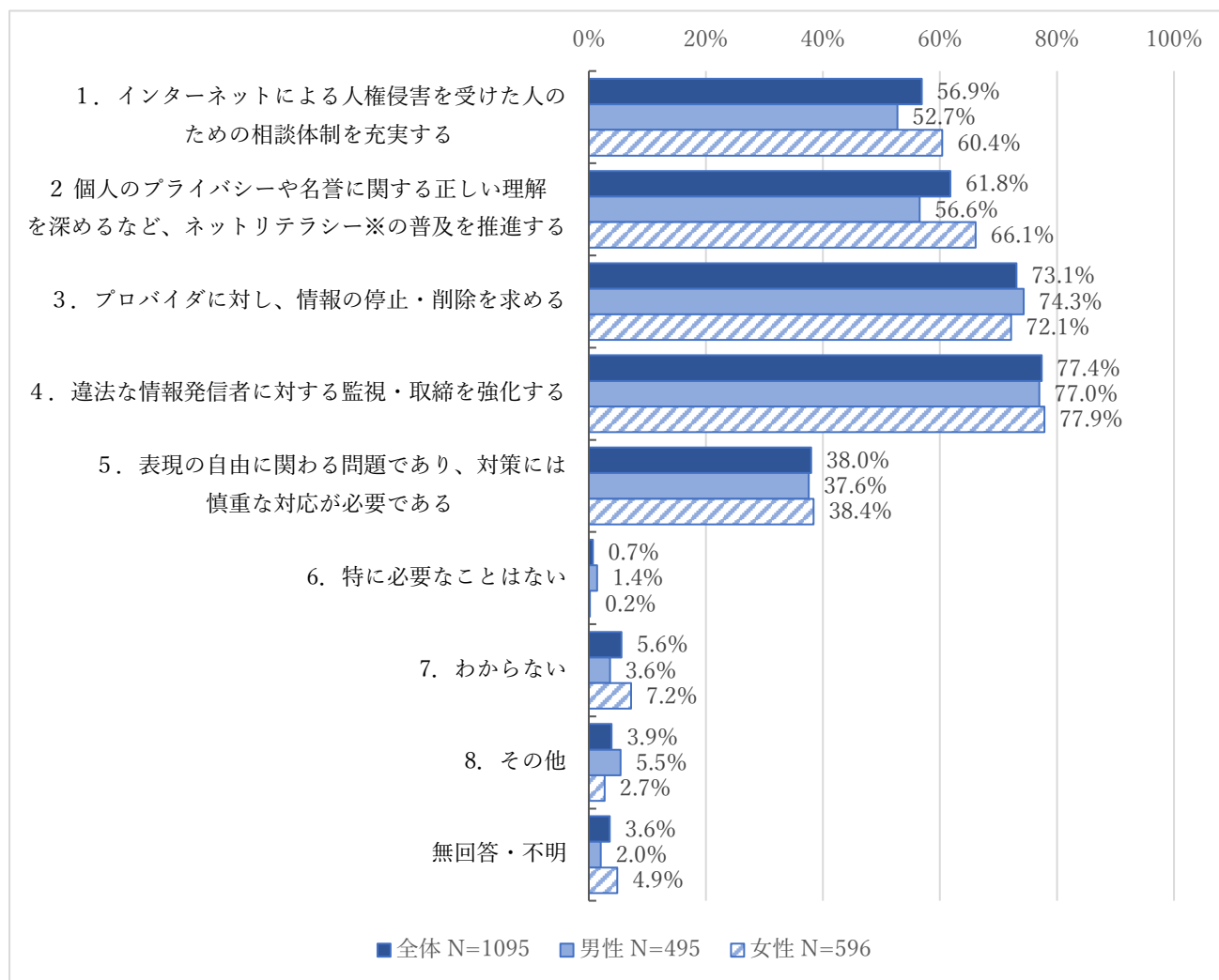
ク. うそや根拠のない情報が掲載されること【新設】

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 94.9%、女性 95.3%となっている。年代別では 70歳未満では 95%を超え、70歳代では 94.9%、80歳以上では 80.4%であった。



問 30 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまる番号すべてを記入してください。

「4. 違法な情報発信者に対する監視・取締を強化する」が77.4%（前回82.1%）と最も高く、次いで「3. プロバイダに対し、情報の停止・削除を求める」が73.1%（前回76.2%）、次いで「2. 個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるなど、ネットリテラシー※の普及を推進する」が61.8%（67.4%）となっている。



※ネットリテラシー：「インターネット・リテラシー」を短縮した言葉で、インターネット上の情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断・運用できる能力

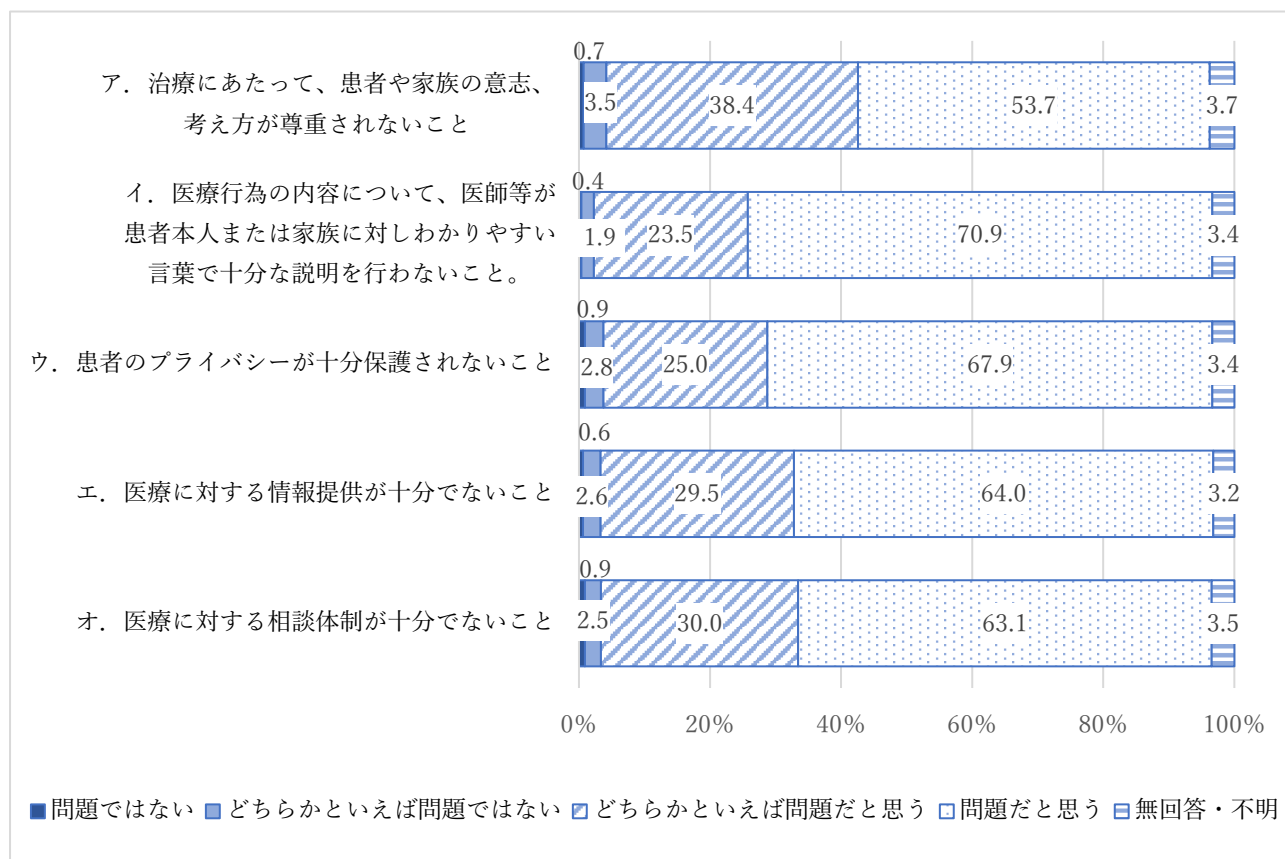
単位：％

区分	10歳代 【N=15】	20歳代 【N=79】	30歳代 【N=107】	40歳代 【N=166】	50歳代 【N=194】	60歳代 【N=188】	70歳代 【N=232】	80歳以上 【N=112】
1. インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	53.3	44.3	56.1	55.4	59.3	59.0	63.4	48.2
2 個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるなど、ネットリテラシーの普及を推進する	80.0	69.6	68.2	67.5	66.5	60.6	58.6	40.2
3. プロバイダに対し、情報の停止・削除を求める	73.3	62.0	67.3	75.3	79.9	79.3	76.3	54.5
4. 違法な情報発信者に対する監視・取締を強化する	53.3	68.4	75.7	83.1	83.5	81.9	79.7	58.0
5. 表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	40.0	41.8	53.3	32.5	35.6	37.2	40.9	28.6
6. 特に必要なことはない	0.0	0.0	1.9	0.6	1.0	0.5	0.4	0.9
7. わからない	0.0	7.6	3.7	1.2	2.6	5.3	8.2	13.4
8. その他	6.7	3.8	4.7	6.0	6.2	2.7	2.2	1.8
無回答・不明	0.0	3.8	0.0	0.6	0.5	1.6	3.9	19.6

患者の人権について

問 31 医療現場における患者の人権について、次のア～オのことがらについてどう思いますか。
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。【新設】

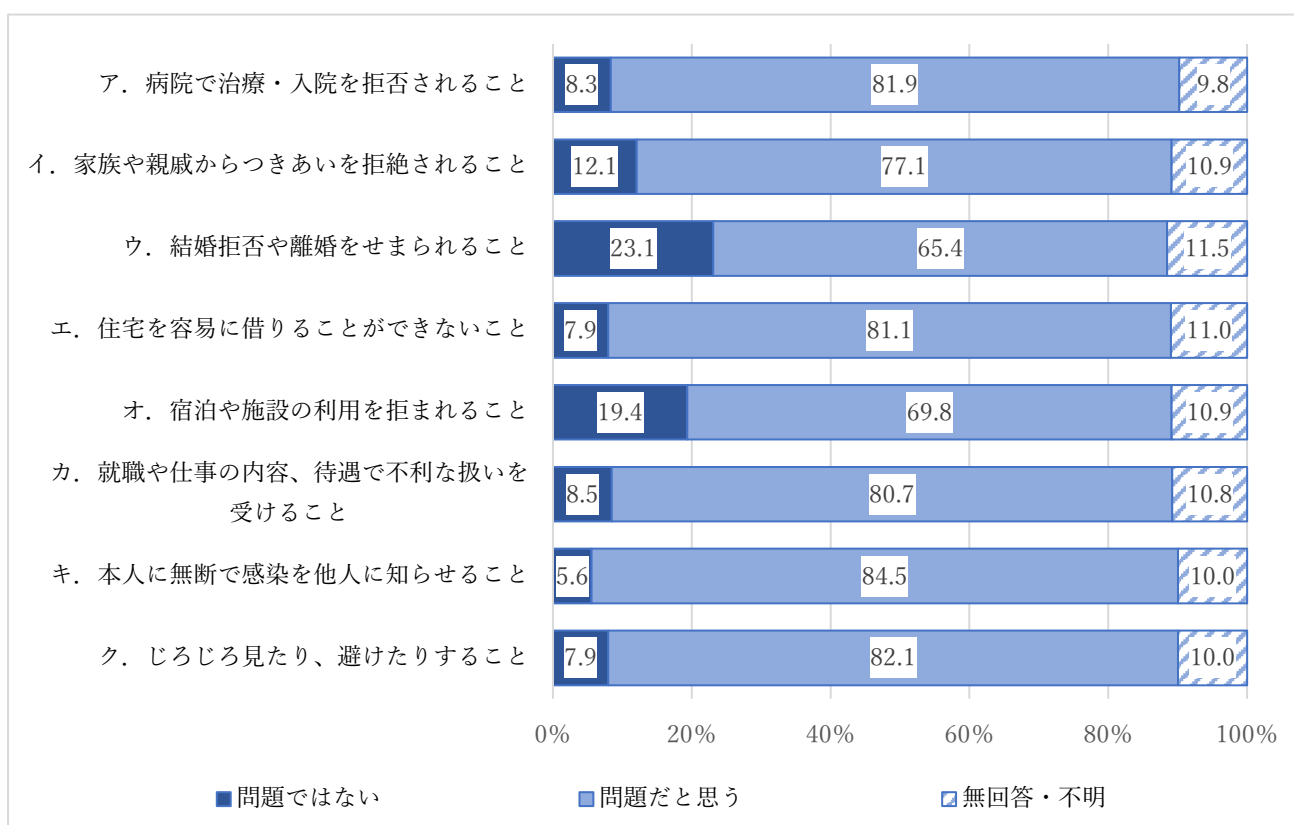
すべてのことがらについて、「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率は90%を超えている。



問 32 HIV 感染者、新型コロナウイルス感染者、ハンセン病※回復者やその家族・関係者（医療従事者）に関する次のア～クのことについてどう思いますか。

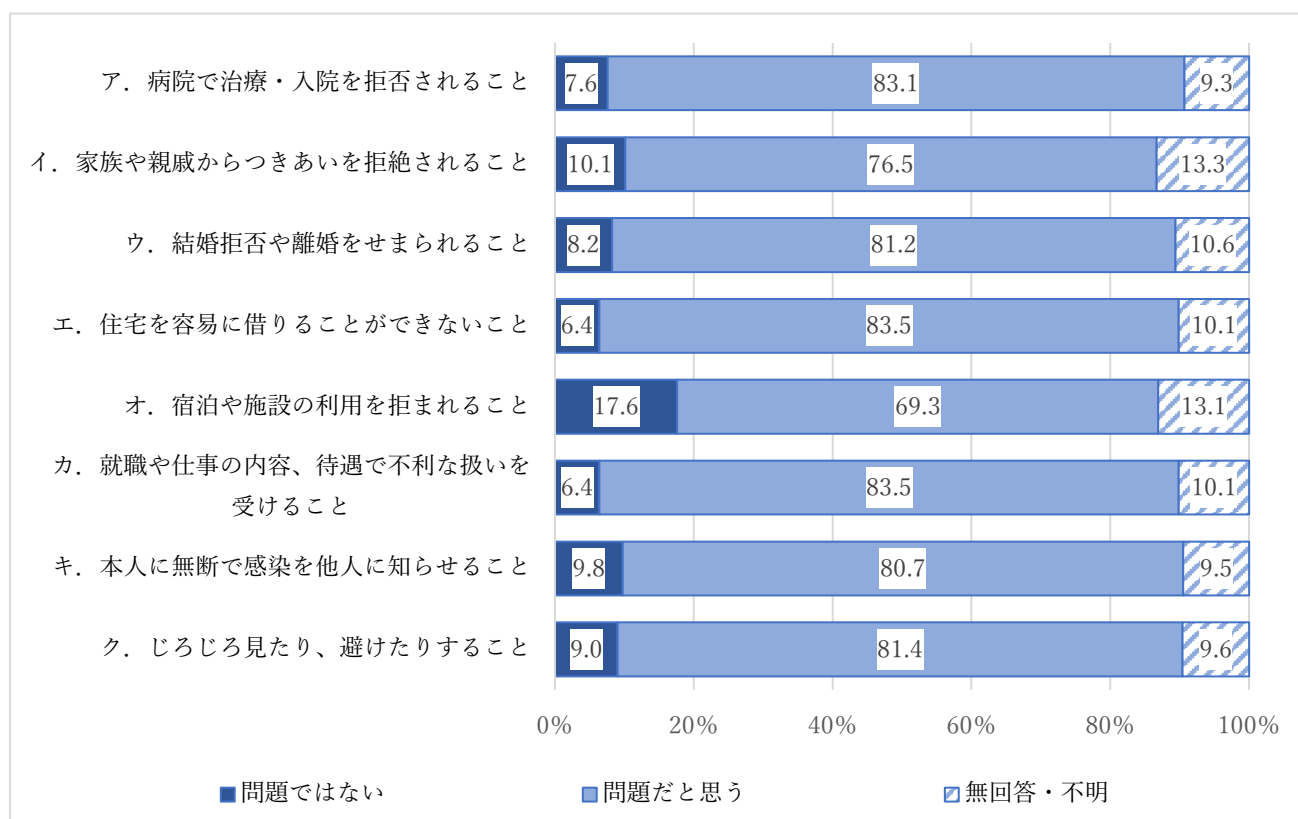
■HIV 感染者について

「問題だと思う」のことがらを比率すると、「キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること」が 84.5%（前回 90.2%）と最も高く、次いで「ク. じろじろ見たり、避けたりすること」が 82.1%（前回 87.9%）、次いで「ア. 病院で治療・入院を拒否されること」が 81.9%（前回 90.2%）であった。



■新型コロナウイルス感染者について

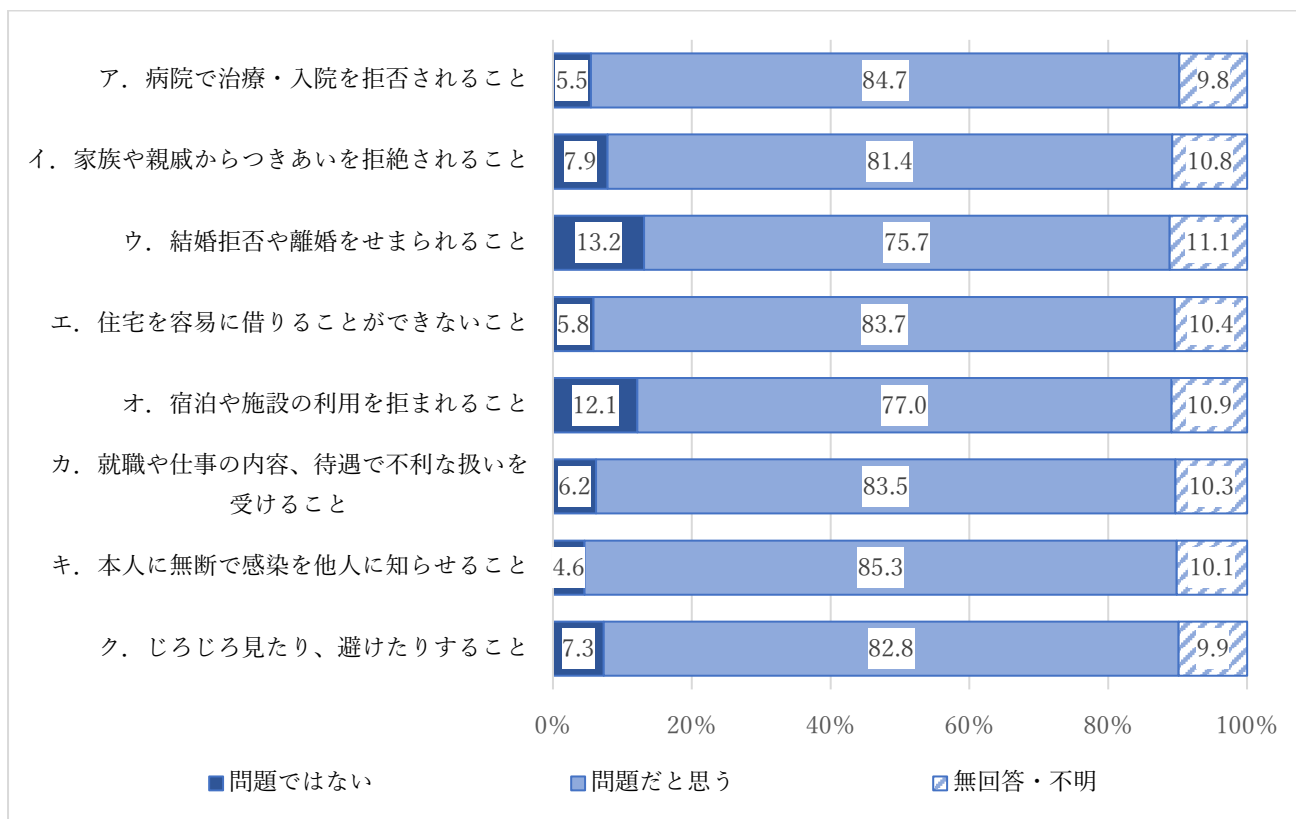
「問題だと思う」ことがらを比率すると、最も高かったのは、ともに 83.5%で「エ. 住宅を容易に借りることができないこと」（前回 84.2%）、「カ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」（前回 85.6%）で、次いで「ア. 病院で治療・入院を拒否されること」が 83.1%（前回 84.8%）、次いで「ク. じろじろ見たり、避けたりすること」が 81.4%（前回 85.6%）であった。



※イ・オは、感染中の本人を除く。

■ハンセン病回復者について

ハンセン病回復者について「問題だと思う」ことがらを比率すると「キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること」が85.3%（前回 87.3%）で最も高く、次いで「ア. 病院で治療・入院を拒否されること」が84.7%（前回 87.6%）、次いで「エ. 住宅を容易に借りることができないこと」が83.7%（86.5%）であった。



※ハンセン病:「らい菌」と呼ばれる細菌によって引き起こされ長期間の潜伏期間を経て症状が現れる。放置すると神経障害や身体の変形を伴う重篤な状態へと進行することがあるが、伝染性は高くない。

人権問題の啓発活動について

問 33 これまで、学校・職場・地域などで、次のア～オにあげる人権学習を受けたことがありますか。
あてはまる番号すべてを記入してください。

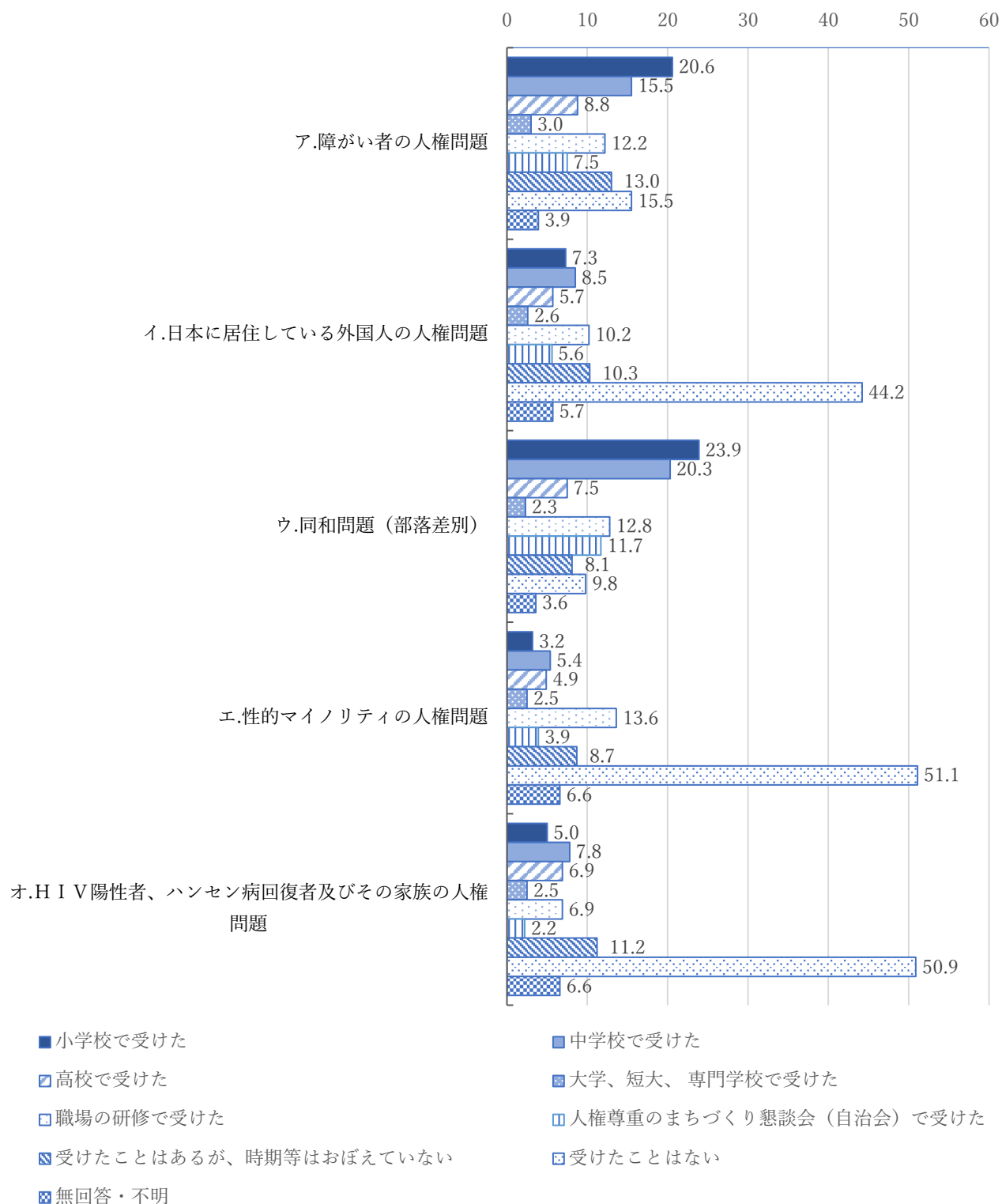
「ア.障がい者の人権」「ウ.部落差別（同和問題）」は、小学校および中学校で受けた比率が高く、また、ほとんどの人がどこかの段階で受けていた。

「イ.日本に居住している外国人の人権問題」「エ.性的マイノリティの人権問題」「オ.HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題」は、受けたことがない人が約半数であった。

また、小学校、中学校以外では、「5.職場の研修で受けた」が高い傾向にある。

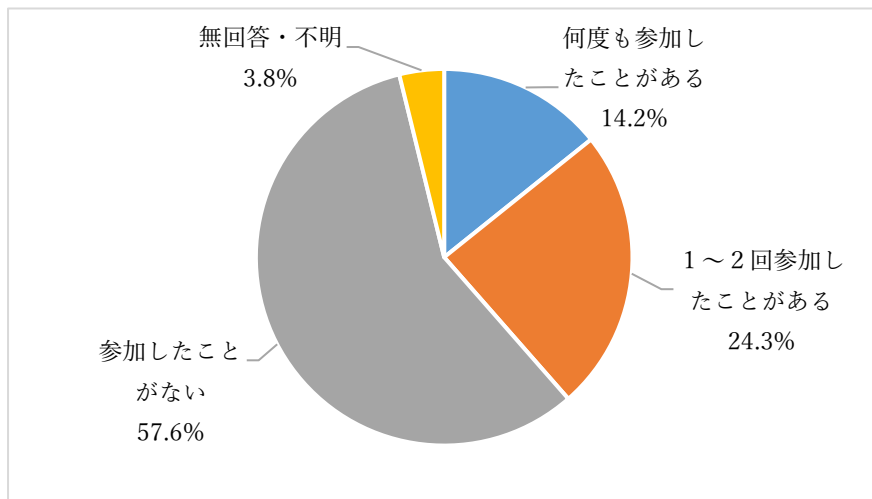
区分	1.小学校 で受けた	2.中学校 で受けた	3.高校で 受けた	4.大学、短 大、専門学 校で受け た	5.職場の 研修で 受けた	6.人権尊重 のまちづくり 懇談会（自 治会）で 受けた	7.受けたこと はあるが、 時期等は おぼえて いない	8.受けた ことはな い
ア.障がい者の人権問題	20.6	15.5	8.8	3.0	12.2	7.5	13.0	15.5
イ.日本に居住している 外国人の人権問題	7.3	8.5	5.7	2.6	10.2	5.6	10.3	44.2
ウ.部落差別 （同和問題）	23.9	20.3	7.5	2.3	12.8	11.7	8.1	9.8
エ.性的マイノリティの人 権問題	3.2	5.4	4.9	2.5	13.6	3.9	8.7	51.1
オ.HIV陽性者、ハンセン 病回復者及びその家 族の人権問題	5.0	7.8	6.9	2.5	6.9	2.2	11.2	50.9

※項目「7」の前の文言：「はっきりおぼえていない」（23.7%）

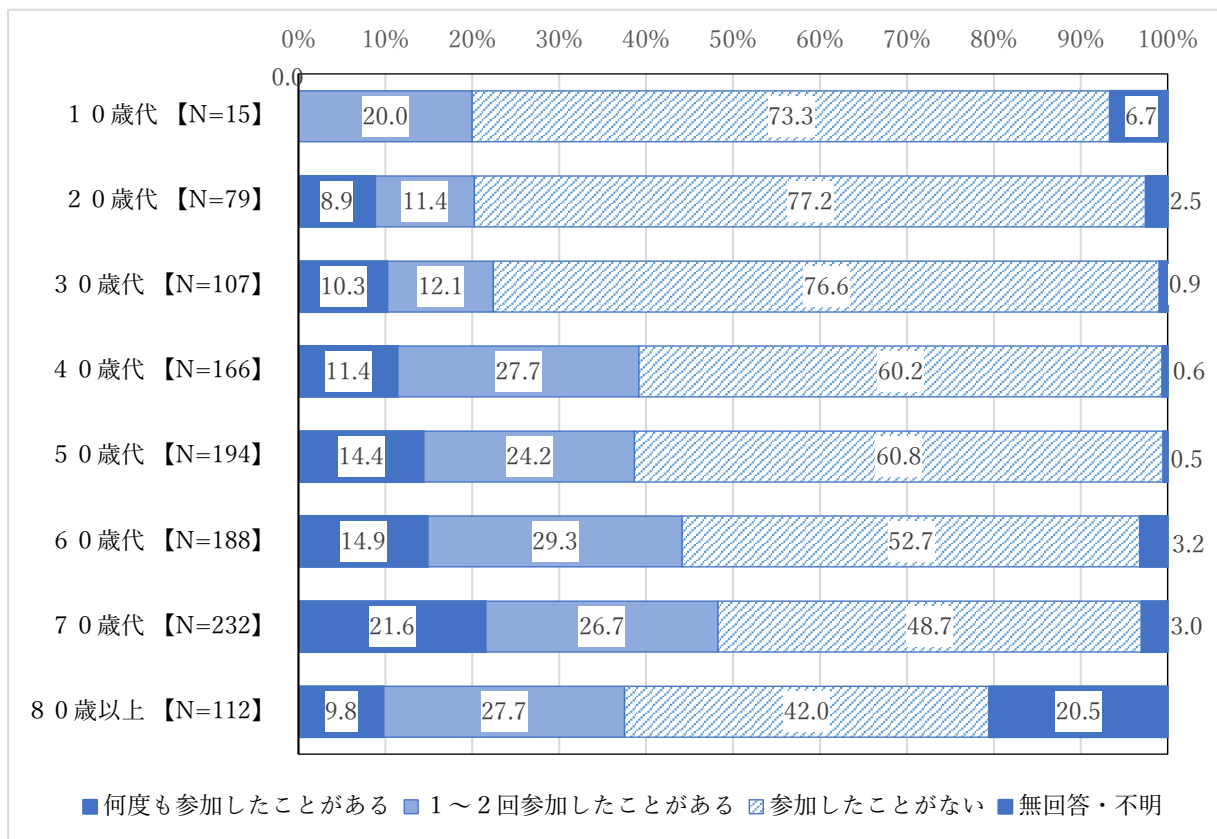


問 34 あなたは、過去5年間で、市の主催や地域、職場等で開催された人権学習※にどのくらい参加しましたか。【新設】

「何度も参加したことがある」「1～2回参加したことがある」は 38.5%、「参加したことがない」は 57.6%であった。



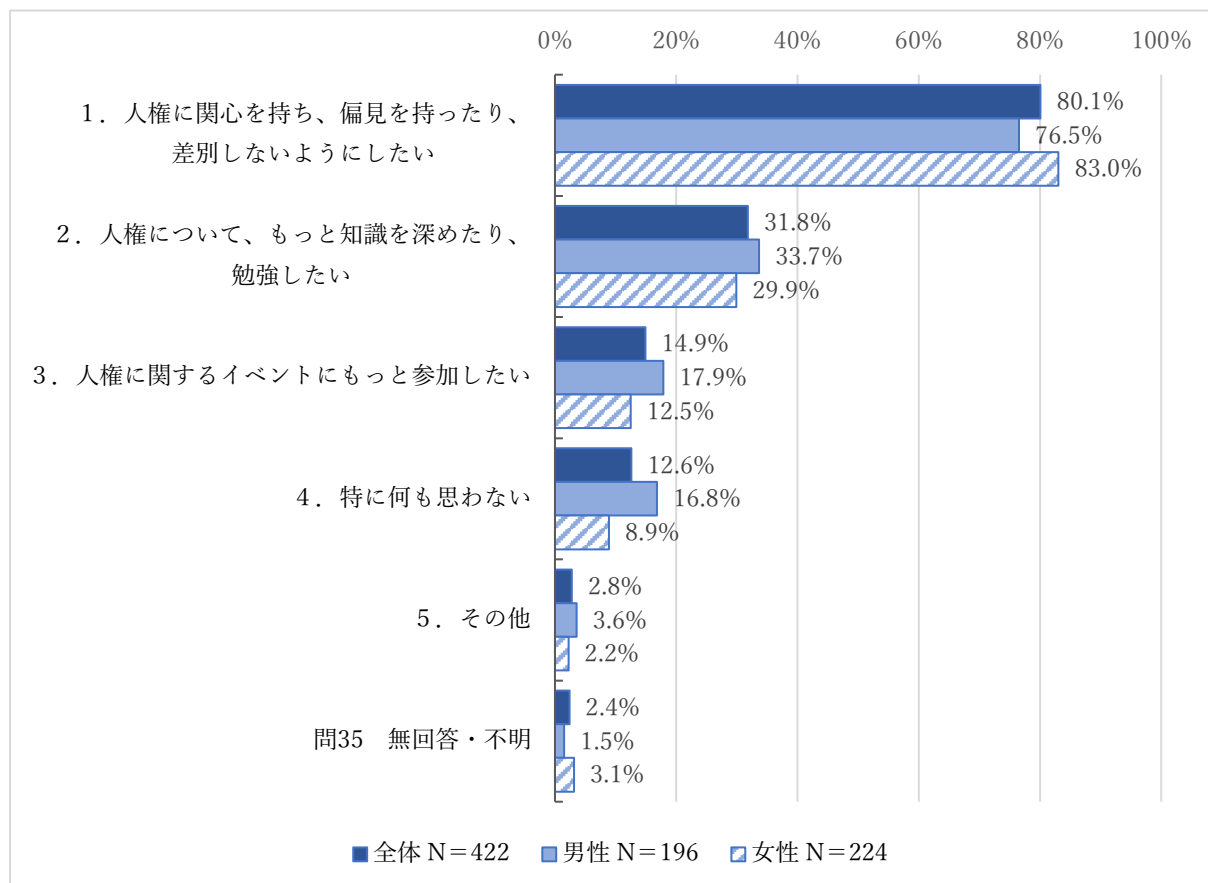
年代別では、70歳代の参加が48.3%で最も多く、次いで60歳代が44.2%、50歳代および40歳代が40%弱、10歳代から30歳代の参加率は低く、約20%であった。



※「人権フェスティバル」「人権尊重のまちづくり市民講座」「男女共同参画市民のつどい」「人権尊重のまちづくり懇談会(各自治会で開催)」「住みよいまちづくり推進講座(各学区まちづくり協議会で開催)」等

問 35 人権学習に参加して、何か行動しようと思いましたか。
あてはまる番号をすべて記入してください。【新設】

「1.人権に関心を持ち、偏見を持ったり、差別しないようにしたい」が80.1%で最も高く、次いで「2.人権について、もっと知識を深めたり、勉強したい」が31.8%、次いで「3.人権に関するイベントにもっと参加したい」14.9%となっており、学習への参加が人権意識の高揚につながったことがうかがえる。

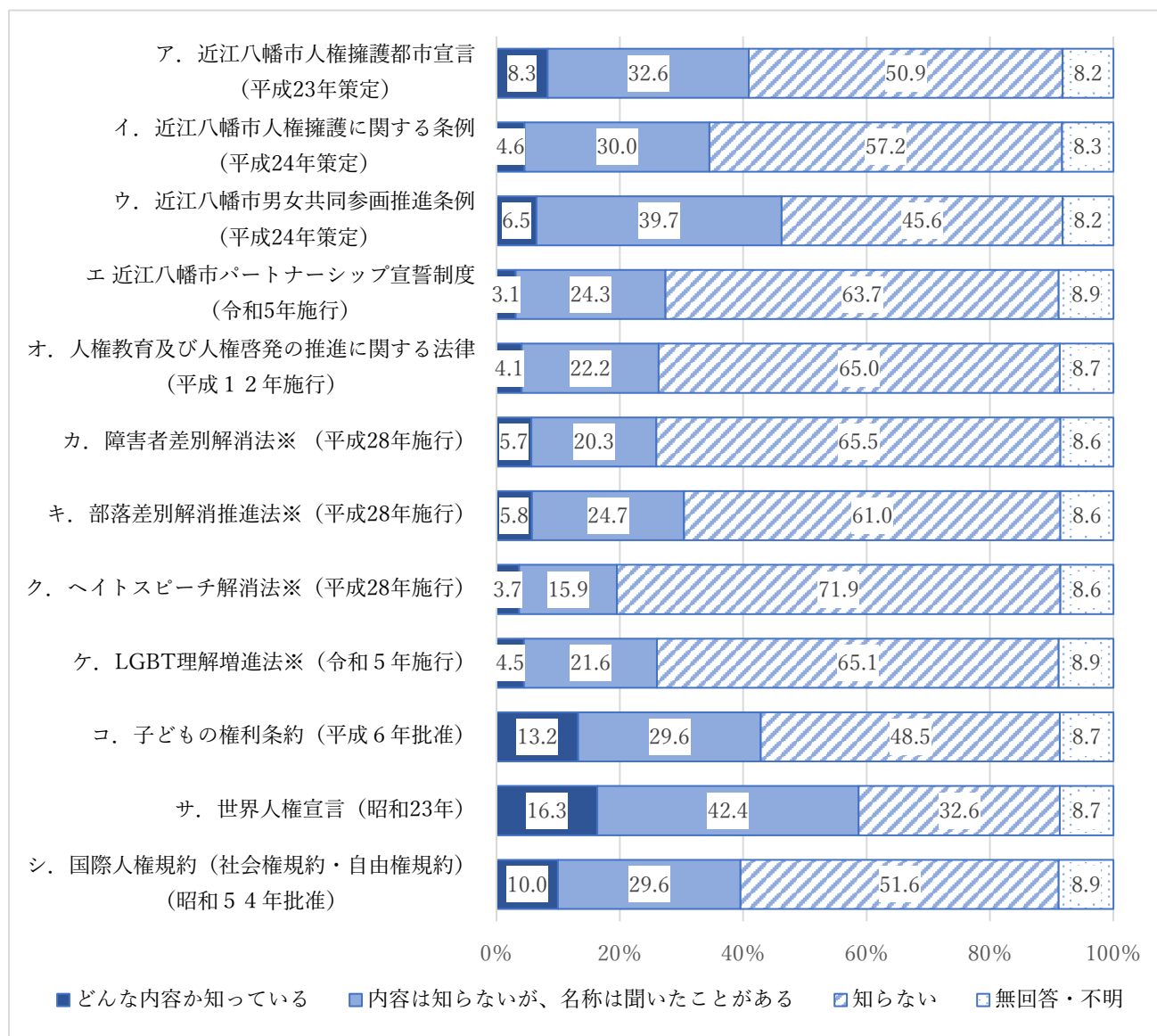


問 36 次のア～シの人権に関する法律、条例等について、どの程度知っていますか。

1～3の中からあてはまる番号を記入してください。

「どんな内容か知っている」「内容は知らないが聞いたことがある」を合わせた比率でみると、「サ. 世界人権宣言」が 58.7% (前回 68.5%) と最も高く、次いで「ウ. 近江八幡市男女共同参画推進条例」が 46.2% (前回 63.1%)、次いで「コ. 子どもの権利条約」が 42.8% (前回 55.9%)、次いで「ア. 近江八幡市人権擁護都市宣言【新設】」が 40.9% であった。

また、比較可能な法律、条例について、前回調査の「どんな内容か知っている」「内容は知らないが聞いたことがある」を合わせた比率と比較すると、すべての項目で前回調査を下回っていた。



※カ. 障害者差別解消法: 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

※キ. 部落差別解消推進法: 部落差別の解消の推進に関する法律

※ク. ヘイトスピーチ解消法: 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律

※ケ. LGBT 理解増進法: 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律

問 37 近江八幡市の人権施策・人権教育に関するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。
(回答は一部抜粋)

■女性の人権について

- ・ DV シェルターをもっと備えてほしい。
- ・ この手のアンケートで、男性差別について取り上げられない事に疑問があります。しかし、普段生活している上で、女性が差別されたり不利益を受けている事を見るので、当然かとは思いますが、このような状況が、男性が差別する側、女性が差別される側という無意識的な意識を生むのではないのでしょうか。

■障がいのある人の人権について

- ・ 身障者に優しいまちづくりをしてください。
- ・ 障がい者に対する啓発活動やサポートを充実させて欲しい。
- ・ 健常者も障がい者も平等に参加できるスポーツイベントを実施してほしい。
- ・ 近江八幡市は障がい者に対する働く場所づくりや支援体制はとても少なく弱いと感じます。

■部落差別(同和問題)について

- ・ 私の周囲では部落問題はもう解消されたと思う。話題に出す事自体が差別解消の足かせになっていると思う。
- ・ 過度に部落に関する人権教育をしすぎている感じがする。40 代の私にとっては、自分が中学生の頃、部落地域と言われる場所に住む人達が、人を傷つけたりいじめたり、嫌がらせを沢山してきたのを沢山の当たりにした。
- ・ 何も知らなかった私が近江八幡に移り住んでから、いろいろな知識が入りましたが、本当に知る必要があったのだろうか?と疑問に思う事があります。寝た子をさます・・・と。特別扱いする事はない。
- ・ 部落問題などは、子供(33才)が話すには「いつまで差別とか言っているの?僕らそんなこと関係無く付き合えるよ」と言っています。子供の親友は部落の人と言われている人ですが、とっても良い子です。一部の方が悪い事をされて、それをずっと何十年も言われるのも他の人達がかわいそうだし、大変だと思います。

■外国人の人権について

- ・ 近江八幡市に移住して 10 年ほどになるが、アパート住まいで、自治会もなく、孤立している状態なので、施策については知らないことばかりです。外国の方々も同じ様な状態ではないのでしょうか?
- ・ 外国人の文化を尊重するのと同様、外国人にも、日本の、地域の、ゴミ捨てや交通のルールを分かって、守って頂きたいと思いました。
- ・ 私の母国は中国です。20 才から日本に働きに来ました。日本はとてもきれいな国でおもてなし、サービスがいい、国民が優しい、食べ物が美味しい、日本が大好きになりました。30 才の時帰化しました。これ

からずっと日本で頑張って生きたいです。

■人権啓発・学習について

- ・ 市として計画的に取り組まれていると思うが、学習会に参加している顔ぶれは決まっておき参加者が極めて少ない。この傾向は年々ひどくなっていて憂うべきこと。
- ・ 各施策について全体を一度に説明することは難しいので、広報紙の半ページぐらいでワンポイント解説を繰り返していくと良いと思う。
- ・ 人権問題は複雑で種類も多いのでまず取り組みのパンフレットを配布して差別はいけないことと知ってもらうだけでも意義があると思う。
- ・ 人権に関する研修会をリモート参加可能にするなど、誰でも参加しやすい体制にしてほしいです。
- ・ 市立図書館において人権に関する本を今よりも多く所蔵して、少しでも多くの人権問題について本を通じて学ぶことができるようにしてほしい。
- ・ 人権問題に関して、一番の課題は、「知らなかった。聞いたことがない」といった知見不足によるものだと思う。“人権とは何か、“人権とはこういうものである”といった教育、アナウンスではなく、「こういったことが近江八幡市、滋賀県で身近に起こっています」といった事例集を混ぜて教育、啓発活動を進めてほしい。
- ・ 女性、子ども、高齢者、障がい、部落・外国人、性的マイノリティーなど、個別に問題意識を持つことも必要だが、インターネットなど不特定多数を対象としたことにも問題意識を持つべき。誰でも被害者、加害者になる可能性があるということを発信することも大事。
- ・ 過去に参加した研修で、自由に意見が述べられないような威圧的な発言をされる方があって、研修会に嫌悪感を抱いたことがある。その考えは差別だと激しく批判されるような場では不安で発言することはできなくなる。穏やかにけんか腰ではない話し合いの場を作ることを重視した人権研修会を実施できるとよい。
- ・ ハンセン病のことは、映画「あん」、移民の人権問題に関してはドラマ「やさしい猫」、膠原病や高齢者の雇用問題などに関してはドラマ「幸せは食べて寝て待て」、など映像作品で知り、考えるきっかけをもらうことが多かった。勉強となるとなかなかできないものなので、たとえば人権に関する映像作品を市民が借りられて上映会も開催できる仕組みがあれば良いと思う。
- ・ 小学校在学中に、社会的マイノリティへの差別をなくせるような教育が受けられると良いと思います。
- ・ 新しい時代に向かって、道徳学習として人を尊重する社会活動に方向転換しても良いのではないだろうか。

■人権全般・その他

- ・ あらためて自身の意識が低いことに気がきました。
- ・ 人権をあまり意識していないので、この問題に鈍感です。知らず知らずのうちに他人を差別する様なことをしていないか若干気になります。

- ・ これを機に自分なりに意識を持つと良いと思う。日々生活していくなかで人間関係はとても大切な事。嫌な事も沢山あると思うけど、思いやりを持って接する事を心がけたいと思う。
- ・ 人権問題、言葉は美しいが、一番大切な事は人との交わりだと思う。
- ・ 人権について深く考えたり、行動をおこさなくてもいい、自然にふるまって人権侵害をおこさない社会にならないかと思う。
- ・ わざわざ条例で決めないといけない事なのかと、いつも不思議に思う。人々が考えている事や好き嫌いは有る。当たり前の事が法律で決めないと出来ない世の中になったことが、悲しく感じる。
- ・ あまり神経質にならず、自然のままでよいと思う。人間関係で避けることが出来ない問題なので。
- ・ 常識人のマナーとして気軽に取りくむことが大事だ。
- ・ 他人を自分と同等と見なして、常に人の意見にも尊重して付き合う事が必要。
- ・ 迫害や差別は許せるものではないが、過剰な保護施策はやめるべきだと思う。
- ・ 逆差別もかなり多い。自分達が弱者だから、そちらがするのが当然、こちらの意見が通るのが当然といわんばかりで、必要最小限の事すらしない。対応する側に対する敬意のない言動。
- ・ 自分にも人権などで問題が起きても、どこに相談したら良いのかわからない。どこかで相談しても仕方がないとあきらめている部分もあります。
- ・ 近江八幡市は「運転免許と車を持たない人には人権がない町」のように感じます。移動の自由や安全に生活する権利、健康に生きる権利が実質的に制限されていると感じます。交通弱者の視点が欠けたまちづくりは、将来の高齢化社会に深刻な影響を与えかねません。
- ・ 着座、起立の選択ができる宣言唱和を徹底してほしい。「自分の状態選択できる」ことも人権尊重になる。同様に国家を歌う時も配慮が必要ではないかと思う。
- ・ 人に対して、ありえない行動をしたり、暴言を吐いたり、見たり言われたりしたので、市内にとどまらず日本の国の課題だと思う。一人ひとりが幸せで暮らしやすい世の中になったらいいなと思います。
- ・ みんな平等な社会であってほしいものです。
- ・ 元気な老人達に、体にやさしい仕事を。
- ・ 近江八幡市で人権教育を充実させて頂きたいと思います。
- ・ 差別のない明るい生活環境、仲良く暮せる社会、住みよいまちづくりに期待する。
- ・ 人権を守れる社会づくりへの取組、ありがとうございます。
- ・ 私の昔の時代から思うと今は随分教育的にもすすんでいて、いろいろな方が住み良い市になっている様に感じられます。世代間を越えて、住みよいまちづくりをすすめて頂きたいと思います。

人権擁護に関する意識調査

～報告書～

令和 8 年 3 月

調査・編集・発行 近江八幡市市民部人権・市民生活課

〒523-8501

滋賀県近江八幡市桜宮町 236 番地

TEL 0748-36-5881

FAX 0748-36-5882

Email 011402@city.omihachiman.lg.jp